

ら、克く御聽取あつて歸任の上は従業員一同と共に大に志氣を振作し、全幅の熱意を傾倒して事業進展の爲に邁進あらんことを切望して已まない次第であります。

(昭和十年三月一日 宇垣總督)

營林署長會議に於ける總督訓示

惟ふに森林は其の國土保安上至要なるは固より産業上國民生活上缺くべからざる木材供給の保續、農業及工業發展の原動力たる水利水力の涵養其の他國力の進展、民生の福祉之に倚賴するところ甚だ多し。輒近半島の林業は先進地模倣の時代を脱し、著しく獨創的研究行はるゝに至り、山林の經營就中造林、木材の搬出或は其の工藝的利用等凡てに互り進歩の跡見るべきものあるは慶祝に堪へざる所なりと雖も、今後尙研究改善を要する事項及未解決の問題尠からず。例へば半島森林の半を占むる潤葉樹林の利用増進、新工業原料の研究或は永遠に互る林利保續の爲、斫伐造林の質的量的兩面の再檢討等之なり。紋上の如き趨向に鑑み、之が根本方針確立に資せんが爲、客年本會議の席上に於て各位所管内國有林野の實態を調査し、本年の本會議迄に概略たりとも之を判然せしめんことを希望し置けり。各位は夫々携帶せられたる右調査の結果に基き、將來の森林經營方法に關し充分なる協議と檢討とを重ね、以て半島營林事業の進展に寄與

せられんことを望む。

國有林野の管理保護に付ては當務職員の拮据勉に依り漸次舊態を革め、殊に所謂治山は治心よりを要諦とする地元民の指導は着々其の歩を進め、之が效果見るべきものあるに至れるを信ずと雖、未だ全く所期の目的を達せりと謂ふ能はず、而も近時交通の發達及森林資源の開發促進等に伴ひ森林被害誘發の危険益多きを加へ來れる現狀なるに鑑み、今後は更に一層管下の實情を洞察探究して常に適實なる方途を講じ、以て國有林野の管理保護上萬遺憾なきを期せらるべし。

北鮮開拓事業は現下統治上の重要施策に屬し、幸從來の業績は頗る良好にして之を事業着手當時と對比せば、早くも隔世の感を抱かしむるに至れるは眞に欣快に堪へず。然れども事業の前途は尙甚だ遼遠にして頗る多事多難なるものあるを認めらるゝを以て、各位は更に深く事業の使命及其の重要性を體認し、之が目的達成の爲、猶格段の努力を拂はれざるべからず。各位宜敷躍進、朝鮮の先導者たるの意氣を以て、此等喫緊なる諸問題の研究改善に努め、奮勵努力以て我國産業の發展と國運の興隆に寄與せられんことを衷心より希望す。

(昭和十一年二月十三日 宇垣總督)

營林署長會議於ける總督訓示

茲に營林署長會議を開催するに當り、一言所懐を述べたいと思ひます。

我が半島の七割三分を掩有する林野の整否は、治水其の他國土を保安する上に重大なる關係を有するのみならず、我が國林産需要の恒久的充足に影響する所が尠くないのであります。近時世界經濟界の動向を觀まするに、各國共舉つて原料の自給政策に營々たるの狀態でありまして、我が朝鮮に於ける用材の需給狀態は今日の所辛ふじて其の均衡を保持して居ますが、各種工業の進歩特に製紙、人絹、ステール、アルファイバ、其の他化學工業の發達と共に、今後急激なる需要の増加を見ますことは殆ど疑を容れざる所と思はれるのであります。内地に於ては既に用材及パルプを合し一億圓内外の輸入を爲して居り、一方滿洲國の森林も調査の結果に依りますと、その蓄積に必しも多くの期待を懸け得ざるものと思はれ、我が國林産資源の缺乏の虞は益増大せんとする趨勢にあるのであります。曩に開催したる産業經濟調査會及治水調査委員會に於て用材林の造成と治山對策確立の急務が高調せられたのは故なきに非ずと謂ふべきであります。就ては職を國有林經營の任に奉ずる諸君は、朝鮮に於ける林野の治水的機能及生産能力の現狀に鑑み、特に造林の促進、林産物の集約的利用等經營の合理化、積極的改善に留意すると共に、森林

の保護が營林事業の遂行上不可缺の事項たるに思を致し、今後一層之が完成を期し、所謂國家百年の大計を樹つるに遺憾なきやう格段の注意を拂はれたいのであります。

北鮮開拓事業は創始以來當務職員の努力に依り着々業績を挙げつゝありますが、本事業は單に地方開發上重要施設たるに止まらず、實に鮮滿一如の理想を顯現する上に於て重大使命を有するものでありますから、諸君は此の點に關し更に一層認識を深め、事業の成果を收むるに萬遺憾なきを期せられたく切に希望する次第であります。

(昭和十二年二月十六日 南總督)

道林務主任官會同に於ける政務總監訓示

林政機關統一後に於ける第一回道林務主任の會同を機とし、聊か所懐を述べんとす。

惟ふに山林の經營は百年の長計にして、其の興廢は民生の安危經濟の消長に密接の關係を有す。然るに朝鮮に於ては林政の振はざりしこと久しく、制度慣習適切ならざるものありし結果、山林多くは荒廢に歸し、本府始政以來官民の努力多大なりしに拘らず、之が振興は前途尙遼遠なりとす。即ち一千六百萬町歩に亙る廣大なる林野を擁しながら、國利民福に資すること極めて薄く、其の林産物は鮮内の需要に充すに足らず、用材燃料等に缺乏を告ぐるのみならず、洪水旱魃の災

禍頻りに至り、其の結果として被る所の損害年々巨額に達し、民衆の生活を脅威し、産業の發展を阻礙すること洵に少しとせず。是に於て本府は一層林政を刷新し、山林の振興を圖るの急務なるを認め、客歲從來多岐に互る林政機關を統一し、更に其の擴張充實を圖り、本府に山林部を新設して林政を統轄し、又地方に三十六の營林署を設置して國有林の經營に當らしめ、同時に地方廳の林業職員を増加して地方林業の進展を期し、之に伴うて豫算金額を増加し、一面國有林に在りては存廢區分の遂行施業計畫の確立を圖り、植樹造林を盛にし、益林産利用の増進に努め、進みて農耕適地の開放と火田の整理に著手し、他面民有林野に在りては砂防事業を續行し、造林獎勵の爲補助金を増加し、更に森林病蟲害除却の爲並森林組合助成の爲新に經費を計上し、又多年の懸案たりし特別縁故森林讓與の方針を決定し、關係法令の發布を見るに至りたる等、茲に林政上一紀元を劃せり。

而して本年度に於ける上掲の諸企畫は僅に其の緒を啓きたるに過ぎざるを以て、逐年之が遂行に努むると共に、將來須要とする施設に付ては夫々考慮を費さんとす。即ち昭和二年度豫算に於て先づ民有林野に關し、地方廳林業職員増置、砂防事業擴張並造林補助事業促進の爲經費若干を増加計上し、同時に民有林取締吏員設置及特別縁故森林讓與令施行の爲經費若干を新に計上したるが、此等の諸事業は孰れも須要缺くべからざるものにして、林政の振否は之に繫ること頗

る大なり。

地方林政の局に當る各位は深く意を茲に致し、能く本府の方針を體し、民有林野改善に關して指導監督其の宜しきを制し、又廣く山林愛護の思想を喚起し、濫伐暴採を戒め、以て所期の成果を齎し、益朝鮮の林政に貢獻せられんことを望む。

(昭和二年二月二十一日 湯淺政務總監)

道林務主任官會同に於ける總督訓示

茲に道林務主任官會同を開催し、親しく地方林業の實情を聽取し、併せて所懐を述ぶるの機會を得たるを欣幸とす。

由來朝鮮の山林は荒廢甚しくして、林産豊ならず、動もすれば其の需要に應じ難き憾なりたるのみならず、延いて旱魃洪水の素因を爲し、比年災禍至り、民衆の生活を脅威し、産業の振興を阻礙すること少からざる實情に在り。本府は此に見るあり、始政以來夫々企畫する所あり。各位の努力と相俟て面目漸く一新せんとするの氣運に際したるが、更に明年度に於て重要な各般の施設を爲し、林政の刷新並に林業の發達に資する所あらんとす。即ち砂防事業を擴張して、荒廢林野復舊の進捗を圖り、森林主事の増員、森林組合補助費の増額に依りて保護取締の勵行と指導獎

勵の徹底とを期し、縁故林の處分に關し若干の經費を増額して事務の進捗を圖り、火田整理委員會を設置して火田の處理並に火田耕作者の善導に關する具體的方策を樹立し、近く之が實行に着手せんとす。之が細目に付ては別に指示する所あるべきも、施設の成果を收むると否とは繋りて各位の雙肩に在るを以て、各位は其の職責の重大なるを念ひ、本府の方針に遵由して實行上些の遺算なきを期し、夙夜匪懈益林政の進展に寄與せられんことを望む。

(昭和四年三月十八日 山梨總督)

道林務主任官會同に於ける政務總監訓示

茲に道林務主任官を會同し、所懷を述ぶるの機會を得たるを欣幸とす。

抑林業は國家百年の大計にして其の適否は單に林産の需給に關する所大なるのみならず、國土の保安産業の助長等、民衆生活の根本の培養に重要な關係を有するを以て、之が經營上の施設は勿論に付すべからざること、言を俟たず。由來朝鮮の山林は其の面積の廣大なるに拘らず、因襲の久しき濫伐暴採殆ど風を成せる結果、荒廢を極め、旱魃洪水其の災を逞うし、産業及交通の發達を阻礙する所少からざるものありしなり。是に於て本府設置以來各般の施設を講じて銳意改善を策し、各位及先任者亦克く本府の趣旨を體し指導獎勵に盡瘁せられたる結果、既往の實績

は之を昨秋開催せる朝鮮博覽會の出品成績に徴するも、亦其の顯著なるを證すべし。然れども上級は林業發達の初程に屬するものにして、之が全功を收めんが爲には未だ小成に安ずるを許さず、即ち造林の獎勵、砂防の促進、林野の保護取締、其の他各般の施設は、寧ろ今後の經營に俟つもの頗る多く、殊に立木地の保護取締は、林相改善上最も緊要の事に屬するを以て、大に民衆の愛林思想を喚起し、又克く林業團體の機能の發揮に依り濫伐暴採の弊を矯め、林産物の消費節約に努むると共に、他面積極的植林の實行と相俟ち、荒廢せる林相の改善を圖らざるべからず。指導の任に在る各位は常に其の職責の重大なるを念ひ、専ら本府の方針に遵由し一層奮勵益林政の進展に寄與せられんことを望む。

(昭和五年三月十二日 兒玉政務總監)

道林務主任官會同に於ける政務總監訓示

道林務主任官協議會の開催を機とし、茲に所懷の一端を述べ、以て各位の注意を促す所あらんとす。

惟ふに荒廢せる林野の復舊を圖り、以て治水の効果を收め、産業の興隆に資するは朝鮮林政の本義にして、余の常に顧念して已まざる所なり。本府始政以來、愛林の思想、年を逐うて發達し、造林

に、林野保護に成績見るべきもの無きに非ずと雖、未だ其の緒に就きたるに過ぎずして、將來各位の努力に俟つ所尙多し。

由來林業の成果は永年の後に至り始めて、之を收め得べきものにして、而も假に施設經營其の方途を誤るとするも、當面格段の支障を見ざるもの多きを以て、當業者は往々眼前の利益に趨りて終局の目的に背馳するの經營を爲し、獎勵の局に當る者動もすれば功を急ぎ、机上の成績を見るに汲々として、後年の実績如何を考慮せざるの傾向あり、爲に累を將來に及ぼし、斯業の進展を阻害する結果を招くの虞なしとせず、各位は常に技術と經濟との調和に立脚し、且克く民度民力を察し、周到の用意を以て、指導獎勵の方策を樹立し、一般民衆に理解を與へ、殊に今日の如き財界不況の時期に於ては、施設の適否に付一層慎重の考慮を拂ひ、銳意事業の合理化に努め、經營費の節減を圖り、施設の實行に當りては、常に責任の恒久なるに念を致し、誠心誠意、堅忍不拔の精神を以て、目的の達成を期し、益林業の健全なる發達に寄與する所あるべし。

(昭和六年九月十四日 今井田政務總監)

道林務主任官會同に於ける政務總監訓示

茲に道林務主任官會議を開催するに當りまして、所懐の一端を述べ、各位の御留意を乞ふことと

致します。

森林は用材燃料飼料又肥料等各種生産力を有するの外、間接には治水灌漑水力發電等の根源を培養し、又國土保安並に國民性涵養上緊密なる關係を有するを以て、林政は實に國家經濟上、國民生活上極めて重要な位置を占めて居ります。是を以て本府始政以來官民協力一致銳意森林の復舊に努め來つた結果、今や相當の成績を收むるに至りましたことは洵に同慶の至りでありまして、此の間に於ける各位の奮勵努力に對し衷心感謝する次第であります。然しながら森林の復舊、林業の振興は一朝一夕の業にあらずして、將來一層各位の工夫努力に俟つものが多いのであります。

近時内外經濟界の異常なる状態は特に農山漁村の經濟に影響する所甚しく、國を擧げて農山漁村の經濟更生に力を致してゐるのであります。従つて林業の經營に付ても造林方法の合理化を圖り、收益の増進を期するの外更に進みて農林兩全の方策を講じ、以て農山漁村の經濟進展に資するの要切なるものあるを認められまして、曩に民有林指導方針大綱を制定して造林及伐採の合理化を圖ると共に、舊來の惡弊を矯正せしむることとし、又民有林野の保護制度を革新擴充すると同時に、林野所有者の負擔輕減を圖り、更に既成森林の利用開發と特種樹種の増殖獎勵とに依り、廣く林利の増進を策する方針を以て着々實行に努めつゝあるのであります。又荒廢林

野の復舊は治水上緊要の事業でありまして、治山方策の確立を急ぐの必要を認め、曩に砂防事業令を公布して砂防事業の圓滑なる實施に資すと共に、地方公共團體の財源培養を圖ることゝ致したのであります。

以上本府に於て畫策せる各般の施設は、地方林業の振興に重大なる關係を有するのであります。其の所期の成績を擧ぐると否とは繋つて各位の雙肩に在るのであります。又本會同に於て諮問事項其の他の議題となれる事項は何れも地方林政上重要な事項でありますから、此の際慎重審議を重ね本府方針の實行上萬遺憾なきを期せられたいのであります。

今や内外非常重大の時局に直面し、國民の自奮更生の意氣漸く熾ならんとする秋に方り、舉國一心國民生活並に國家産業の充實發展を圖ることは刻下喫緊の要務でありまして、地方林政の要衝に當る各位が林業振興と農山漁村の更生とに更に一層の努力を拂はれんことを特に希望して已まない次第であります。

(昭和九年五月二十八日 今井田政務總監)

道林務主任官會同に於ける政務總監訓示

茲に道林務主任官會議を開催し、親しく地方林政の要局に在る各位の意見を聴取するに當り、所

懐の一端を述べて各位の御留意を乞ふことゝ致します。

森林が産業振興上重要な資源たるのみならず、國土の保安、水源の涵養乃至國民の保健、情操の醇化等、國民生活の形而上下に互つて極めて支配的存在であることは多言を要せざるところであります。朝鮮に於ける特殊事情を考覈致しまする時に、森林に關する行政措施の當否が如何に治民の効果を左右するものであるかを看取するお互に於ては、常に此の重大意義に立脚し、國利の培養、民福の増進に大眼目を置いて方針施設を劃切ならしめ、より大衆の自覺を促して官民協力の下に全半島の綠化工作を完成せねばなりません。

是を以て始政以來或は記念植樹を普く行ひて民衆の愛林思靈を涵養し、若は殖林の助成、林野保護の改善、林利の開發等に意を致し來りました處幸にして、治山愛林の觀念次第に啓培せられ、殖林事業も相當顯著なる成績を示すに至り、小用材、薪炭等の生産逐次増加を見つゝあるは洵に同慶に堪えざる處でありまして、此の間各位不斷の努力に對し衷心感謝する次第であります。

輓近農山漁村の振興、自力更生運動は着着其の實效を收めつゝありますが、更に向後十箇年を期し農家更生計畫の全面的普及を企圖致すことゝ相成つたのであります。全土面積の七割四分を占むる山林の經營は、更生計畫の實施と密接なる關係を有すること論を俟たぬのであります。から、林業の奨勵に付ては常に農山漁村更生計畫に基く各般の施設と緊密なる聯繫を保ち、遺憾

なきを期せられたいのであります。

曩に民有林野保護制度を革新擴充し、又民有林指導方針を確立して弊習の矯正と造林並伐採の合理化を圖り、以て民需の充足を企圖する外更に林産副業獎勵の方針を定めて農山村の經濟振興に資し、或は林業試験事項の統制に依り實地に即したる林業技術の指導普及を期待する等、一般の方策を樹立し着々實行に努めつゝあるものであります。今更に林野を所有せざる農家に對し其の必需資料たる燃料肥料及飼料等の農用林産物を安易に收得せしむる爲、農用林地の設定を計畫致しまして銳意農林兩全の方途に遺漏なからしめんと企圖してゐるのであります。各位は能く大局に處し且つ地方の實狀に顧み、實施成績の舉揚に努められたいのであります。砂防事業は開始以來豫期以上の成績を收め、既に四萬六千四百町歩の施工を完了致したのであります。仍全鮮に涉り十九萬六千町歩の禿裸林野を残し其の禍害の及ぶ所極めて大にして、昨夏南鮮に於ける大水害の如きは其の著例でありまして、砂防事業の完成は全く焦眉の急務なるを認め、今回第二期砂防事業計畫を樹立し其の實行を見ることとなつたのであります。本事業は多額の經費を要するのでありますから、専ら少費多效の實を擧ぐるやう注意せらるゝと共に、窮民の救濟並に勤勞好愛精神の振作等、副次的效果に付ても格段の考慮を拂はれたいと思ふのであります。

以上は地方林政に関する所見の一端に過ぎませぬが、今や國民は重大時局に當面して擧て自奮自勵以て物心兩面に互る更生の途上に在る時に方り、農山村振興の一指標たる地方林政の重きを擔當せらるゝ各位の職責は誠に重且大であります。今後とも一層の努力を盡されまして所期の成果を收められるやう、特に希望して已まない次第であります。

(昭和十年四月二十四日 今井田政務總監)

北鮮開拓事業實行事務打合會同に於ける 總督訓示要旨

諸君の大多數に初めて御目に掛る様であります。私は總督の宇垣であります。私一昨年就任した後に種々と著手した事業があります。其の内で重要施設としてやりましたことは、所謂北鮮の開拓であります。此の北鮮開拓施設の内でも重要な仕事に屬する火田民の指導又は森林の保護、此等の第一線に立つて居られる處の諸君に、茲に御目に掛ることは非常に欣快に存する所であります。

種々と各方面からの報告を承つて見ます。に該施設を始めまして以來出火は殆ど絶無に近くなつたとか、或は放火も大に減少したと云ふ様に、著々として見事なる成績が擧りつゝあると云

ふことは、茲に出席されて居る所の諸君の働きが頗る其れに預つて力あると信じます。大いに満足致して居る所であります。

併し乍ら火田民其の者は御承知の通り智識の程度が低く、理解の極めて乏しい者が多いのであります。此の者共の心理状態に思ひを致しますると、果して立派な成績が上つてゐる所の此の状態が永續するや否やと云ふことに就ては、尙疑ひを残すべき餘地が存じてゐると思ふのであります。どうか諸君は今後共一層緊張されて油断なく現に收めつゝある所の成績を益良好ならしむる様に十分に御注意を願ひ度い次第であります。

尙此の機會に特に注意を致して置き度いと云ふことは、諸君が仕事を執られる上に於て、どうか各方面即ち地方の他の官署警察官之等の者とよく聯繫を密接に取られて此の仕事がせられる上に遺漏の無い様に御注意になることが極めて必要であらうと思ひます。又火田民其のものは先刻も申上げた通り智識の程度が低いので、理解に乏しいのであるから、之と接觸する上に於ては飽く迄親切に面倒を見てやり世話をしてやる、此の熱誠を以て彼等を指導される様に切に望んで已まないものであります。

諸君の集られた此の機會に於て特に以上の事を申し述べて注意を喚起し、今後一層の努力と奮起を煩し置く次第であります。どうか氣を付けてしつかりやつて下さい。御頼み致します。

(昭和八年二月 宇垣總督)

北鮮開拓事業實行事務打合會同に於ける

總督訓示要旨

私は會議の様子を詳しく存じませんが、一昨日竝に本日一寸拜聽し、又局課長からも様子を聽き先づ最初に私から感謝の意を表し度いことは、皆様の非常なる御骨折により山農の指導並森林の保護の上に着々偉大の効果を擧げて居ることでありませぬ。

顯著なるもの一二を例示すれば、第一に北鮮開拓事業實施地域内に於て山火が非常に減少して居ることでありませぬ。其の成績は過去に比して隔世の感ある如き好結果を示して居ます。第二に轉々と水草を追ふてゐた所の山農が現地に着し、逐次皇化に潤ふことが顯著に認められることあります。之は朝鮮統治上は勿論人道から觀ても誠に慶ばしい事でありませぬ。如斯成績顯著なものがあり、又一昨日來會議の様子を見ても、前年の會議に比して皆様の研究が周到となり、提出意見及報告が非常に實際化して居ることでありませぬ。

斯くの如く擧げ來れば尙幾多の結構な成績があるのであるが、之れは皆様の努力工夫の結晶であると思ひ、此の機會に厚く謝意を表して置きます。歸應後は上官及所屬の職員に普く總督が

謝意を表したことを傳へて貰い度いのであります。

業務上の事は私が彼は言ふことはないが、疑問の點は充分質して隔意なく充分研究討議を重ね事業の進展に資して戴き度い。唯一言附加したいのは山林に對する私の考へで、今茲に縷々述べることは省きますが、昨年江原道溫井里の山林大會で話したこともあるから御承知のことと思ひますが、あの様な考を持つて居るものであります。殊に朝鮮は全面積の八割が山林であります。この利用を適當に圖れば朝鮮の富の力は大に増進し、又人口が千萬や千五百萬殖えても裕に收容し樂土化し得ると思ひます。今日迄山林の利用が等閑にされて居たとは思ひませんが、其の利用に對する研究に眞劍味が足らなかつたのではないかと思ひます。之を諸君にのみ求むることは出来ませんが、最も山林に親しまれて居られるのであるから、昨秋私が話した事をよく翫味し、諸君の力で能ふ限り目的遂行の出来る様充分御盡力を願ふ次第であります。未だ餘日もあることですから、吳々も充分研究を積まれ、更に事業の一大進展を圖り、來年はより良き結果を承はりたいのであります。

(昭和九年二月 宇垣總督)

北鮮開拓事業實行事務打合會同に於ける

總督訓示要旨

私は最後まで出席して御話を聴くだけの餘裕……時間がなく、此の會同に此の席に出るのは之が最後だと思はれますので、一言御挨拶を申述べます。

諸君の勤務されて居る土地は、僻遠で氣候亦不順なる高地帯であつて不便を忍びつゝ職に就かれて居るにも拘はらず、各位の報告に依つて之を觀まするに、諸君の努力が漸次其の効果を顯はしつゝあることを知りまして満足すると共に、其の努力と工夫に對する勞を多とするものであります。然しながら未だ事業は其の中途にあるのであるから、今後に於て層一層の工夫を積み、れ研究を重ねられ力を竭して、北鮮開拓の大業に邁進せられんことを御頼みする次第であります。

北鮮開拓事業の意義に付ては、今更私が喋々する必要もなく、諸君も既に御承知のことと思ひますから、之は別とし、御目に懸りました序を以て、私が北鮮開拓を考へ之を實行に移した當時の氣分を御話して置くことも何かの参考となることと思ふから、この點に、付暫く御話して置きたいと思ひます。

御承知の通北鮮開拓事業地域は、朝鮮北方の高地帯二百數十萬町歩の廣大なる地域に亙る富源を包藏しながら充分に開拓されず、交通不便の關係上何等の價値をも發揮されずに放置されてあつたので、之を開拓して朝鮮の富の増進を圖らんとしたのが第一の着意であつた。又朝鮮の中部以南には現在人口が非常に稠密で困つて居るが、北部は之に反して極めて稀粗であるから、是等中部以南の人口稠密なる所から、民衆を北部の粗な地方に移して人口を調和按配しようとするのが第二の目的であり、更に北鮮地方を開拓して今後朝鮮が大規模に滿洲に進出する足場を作ること……之が朝鮮本位に考へた第三の目的であります。

次に此の三つの目的の外に今一つ主要なことは、高原地帯を開拓して其の處に民衆の安住樂土を建設して模範を示し、内地の行詰まれる農村問題の解決に資せんとするのであつて、この第四の目的に就ては今少し敷衍して申述べて見たいと思ひます。

内地では既に農業が行詰り人口が行詰りとなつて居る。この行詰りを解決する爲に未だ利用せられてゐない所の高原地帯の開発を必要と思ふのであるが、私の知つて居る狭い範圍の内でも九州で申せば阿蘇の山麓地方の大部分、霧島山麓、筑豊の高原地帯、更に中國では山陰、山陽兩道の境に在る高原地帯、大山の山麓、四國では雲邊寺山一帶、伊豫と土佐との境を成す山脈の大高原、近畿の大臺ヶ原、東海東山兩道に跨る富士の裾野、八ヶ嶽、或は日本アルプス高原、更に關東では淺

間、榛名赤城日光の山麓、其の他東北々海道の高原地帯等未だ手を附けられずに棄て置かれてある處が澤山ある。之等の高原地帯を開拓すれば、人口の二百萬や三百萬人は裕に收容し得らると思ふのでありますが、未だ之等が手が附けてないので、北鮮高原地帯を開拓し立派な成績を擧げて内地に模範を示し先鞭を附けてやりたいと云ふのが私の頭の中に畫いた一ポイントであります。

この高原地帯の開発を思い付いたのは何も私の新發明でなく、前にも斯の如き考を懐いた人があります。又歐米でも相當高原地帯が開拓せられて立派に成功して居ると云ふことを聞いて居ります。それで北鮮の高原も必ずや吾々の工夫努力に依つて立派に樂土として開拓され得ることと思ひます。これが出来れば内地の高原地帯も亦開拓され得ると思ふので、私が着意した第四の目的は即ち是であります。

高原地帯に於ける歌米の開拓状況を見ると、作物は色々のものが栽培されるが、主として馬鈴薯、燕麥及玉蜀黍等が良く出来るやうである。北鮮の農事試験場支場の報告に依つても之れ等の種類が良く出来るやう承知してゐるのであるが、今後諸君に工夫を望む處のものは、單に燕麥玉蜀黍等が良く出来て之を食べて生きて行けると云ふ丈では眞の安住樂土ではない、それを美味しくして食べ、充分な營養價値を持たせるやう工夫が必要である。故に手易く充分營養價値の

あるものを攝取し得るやうに生活の改善をして行かねばならぬ。それには有畜農業を營み、各農家に家畜を飼育せしむることが適當して居るやうであります。

元來食物には鹽砂糖其の他に脂肪分が必要であるから、高原で家畜を飼ひ牛或は山羊からオートミールを作り、或は乳からバターも作ればチーズも作ると云ふ風にして行つたならば、立派な營養を攝つて行けることと思ふ。併し色々の報告を見ても斯の如き方面の生活改善と云ふことに頭が働いて居るやうに見受けられるが、斯様に高地帯農業に家畜の飼養を取り入れて行くことは平地農村で米や麥を食べるよりは美味しくして食べて行けると思ふ。現に玉蜀黍のオートミールが出来、私も之を食べて見たことがあるが、立派な御馳走である。山農を斯の如き生活状態に導くには、一年や二年で出来るものではない。十年三十年百年掛つて斯の如き點に頭を働かして充分引立て、行くやう御配意を願ひたい。又試験の結果北鮮には甜菜が出来、それから砂糖も採れる様であるから、之は自給自足し得るもので只一つ足りないものは鹽であるが、之さへあれば營養も充分攝れると思ひます。

斯の如くして北鮮地帯の開発が成功したならば、之を内地に示し内地の高原地帯開發の模範とし、之に據り内地の人口及農村問題は或程度まで緩和することが出来ると思ふのであります。尙北鮮地帯には冷氣が早く來て凶作となる場合が多く、現に昨年の冷害に因る凶作で困つて居

る様である。之に就て私が近頃考へたのであるが……尤も實驗の結果ではない人の話に依ると、稗と云ふものが寒さの早く來る高地帯でも良く出来るから、之を植ゑることが適切であらうと思ふ。昔から日本は勿論東洋で五穀と云ふのは米、麥、粟、稗及豆を指したもので、其の中主として常用せられてゐる米及麥に付ては、到れり盡せりの研究が積まれてあるが、稗に對しては私が聞いて居ないのかも知れぬが、研究されたことを聞かない、私がこの冷害につき話をした處が、内地のある古老から稗がよからうと云ふことを聞いて、早速研究して貰つて居る次第であるが、北鮮地方でも斯うした方面に考を廻らす必要があらうと考へます。

私の話は大体以上で止めて置きますが、終に臨み今日迄の諸氏の勞を多とし感謝すると同時に、繰返して申しますが、今後も充分意を用ゐて工夫研究し山農民を充分指導して戴きたい。何かしつかりやつて戴きたい。御頼み致します。

(昭和十年二月 宇垣總督)

北鮮開拓事業實行事務打合會同に於ける 總督訓示要旨

恰度一年振りにお目に懸ります。

業務上の事に就ては各主任の方から詳細打合を致すことと思ひますから、其の方には觸れぬことに致しますが、折角お目に懸つた機會でありますから、一言御挨拶を申し上げます。朝鮮統治の重大事業である北鮮開拓事業も、各位の獻身的努力に依つて着々効果を擧げつゝあります。殊に山農の指導と森林の保護は餘程面目を革めて來た様に見えます。之は各位の働の然らしむるところで茲に感謝の意を表する次第であります。

實は先年來北鮮開拓事業地域内に兩三回に互り巡視に出掛けたのであります。一昨々年巡視した當時通過しました沿道には、大抵日に二、三箇所位出火して森林を焼き拂つてゐるのではないかと思はれるものがあつたのであります。昨年秋咸南の長津から平北の厚昌を抜けて江界へ二日間あの附近を通過したが、その間に於ては左様な形跡は目に觸れなかつた。又江界熙川の途中昭和七年に巡視した際は沿道が火田民に荒されて居る狀況は實に慘憺たるものであつたが、昨年其の跡を通過すると未だ充分ではないが、土地は安定し彼處此處に稚樹は生へ青い草が見えて愉快な氣持で通つたのであります。左様な意味に於て次第に面目を變へて來た事は、的確に諸君の努力の賜であつて、各位の働に對し感謝する次第であります。

一方本府に於ては如何なる事をしてゐるかと申しますと、北鮮開拓計畫に依る森林鐵道惠山滿浦に至る鐵道や道路も敷設開鑿を實施中で、是等のものは茲二三年後には最終點に達する見込

で漸次北鮮の交通は至便になつて來るのであります。之に伴つて開拓地域に移民をせねばならないので、現に數千の人数を北鮮地方に入れる計畫を樹てゐる。従つて北鮮開拓地域内は交通は便になり、新に人口は増加して面目を一新することになるであらうから、今から之に對し善慮すべき途を考へて置いて頂きたい。

官の方は斯の様な具合であるが、民間としても木材の伐出利用、鑛石の發掘各種の加工事業等北鮮地方に於ても相當に着眼されて居るのであります。亞麻に付ては帝國製麻會社が咸南豊山で仕事を始めて居り、之に拮抗して日本製麻も北鮮地帯に目を着けて此の春から調査員を出したいと同會社の重役が話して居た。其の他赤星が惠山鎮に偏つた方面に緬羊の牧場を作り、又或る化學工業研究家が燕麥から無水アルコールを造ることに成功してゐるから、今後製造工程に確信を得たならば之が産地たる北鮮に無水アルコールの製造工場を作つて見たいと話してゐたと確かな人から聞いて居ます。又北鮮方面で昨年の秋から金浦の神谷と言ふ人がビートを植ゑて製糖事業を志し、之が計畫を進めてゐるのも根據ある話であります。

左様に民間業者も着々と何か夫々企圖して居る様であるから、今後數年……遅くとも七八年の後には北鮮地方は確に隔世の觀ある如き變化を來すものと豫期し、又期待してゐる次第であります。

民間業者と官と夫れに第一線に働いてゐる諸君と、此の三者が一致協力して北鮮開拓地域内の状況を立派にせねばならぬと思ひます。斯うして始めて北鮮開拓事業に着手した重大意義を明かに現し、北鮮に日本の大陸進出の足場を作り得るのであります。大陸進出の一手段として先づ北鮮に移民をして人口増加を計り、之を善導して生活の新規準に達せしむることが總て躍進への準備であります。

然るに外に目を放つと既に新聞等に報道されて居る様に、日本の軍事外交の手は滿洲のみに止まらず、北支内蒙及外蒙チャハルに伸びて居るのであります。軍事外交の力の伸びた後には、必ず經濟産業が附いて行つて後固めをしなければならぬ。軍事外交が成功しても之が遅滞停頓する虞があると折角外交に依つて延びた勢力も、汗の努力も、吾々經濟産業の力が不足の爲に徒勞に歸せしむるの虞なきにしもあらずであります。今後は必ず軍事外交に遅れない様に經濟的施設を施すことが必要でありますから、之が爲各位の働きを御願ひするものであります。最後に御承知の通朝鮮の文化、民度は内地に比し其の程度極めて低く、特に北鮮地方の山農は失禮な言ひ方かも知れないが、無智蒙昧であつて洵に氣の毒な民でありますから、彼等の立場を改善し、之を向上せしめて文化の惠澤に浴せしめなければ相濟まぬと思ふのであります。之が爲には精神文化方面に力を盡して導いてやつて頂きたいと思ひます。之等の人を導くに

は、道は邇きに在りと云ふことを考へて、徒に高遠な理想を求むるよりも、先づ手近な所から手をつけて彼等を啓蒙しなければならぬと思ひます。二宮尊徳先生は郷土の教化に際して村の者を集める場合に講習會を開くから集れとか何とか言つて集められたのではない。極く平易に今日は團子が出來たからとか、今晚茶を入れるから飲みに来いとか言つて誘はれた。一方村の者は先生の處に行くとか何時でも良い話を聞かせて下さるから行つて聞かうではないかと云つて集つて来る。そこで膝を合せて話を手近からされる。之が何時とはなしに積り積つて善導教化の偉績として残されたのであります。

諸君も此の精神を以て、道は邇きに在りと云ふ點を考へ、山農達を引つ張つて貰ひたい。色々書いたものや、話す事等強ひて鹿爪らしく解り難くする様であるが、先刻からのお話を聞いて居ると六ヶ敷考へ過ぎて、或はそんな事があるのではないかと思はれる節もあるので、程度の低い者に難かしいものをやつて左様な弊に陥ることのないやうに、老婆心乍ら附け加へて申上げて置きます。

茲に十年中の御努力に對し感謝すると同時に、更に十一年度に於ては過去に倍する働きを以て御奮闘を御願する次第であります。

終に臨み一言致しまするが、凡そ官職に在る者、殊に直接民衆に關係ある事業に従事せらるゝ各位は、常に身を持つること清廉潔白、職務に對しては勵精恪勤であるべきは申す迄もないことであり、まするが、尙事業の企畫に付ては民衆生活の窮狀に同情し、之が向上に對し熱誠事に當り、所期の目的を達成するやう一段の奮勵あらんことを希望致すのであります。

(昭和三年五月三十日 池上政務總監)

土地改良技術官會同に於ける總督訓示

各道土地改良主任技術官の會同に際し、茲に一言所懐を述べんとす。

本府産米増殖計畫は其の更新實施以來既に三箇年を経過し、此の間各般の施設の整備と官民の努力とに依り漸次堅實に遂行せられつゝあるが、更に既往の實績に鑑み、昭和四年度より其の一部を改訂して干拓事業に對する補助率を五割に増加し、土地改良施行面積の年度割に若干の變更を加ふることとせり。然れども是れ單に時運の推移に應じ其の實施を容易ならしめんことを期するに出でたるに過ぎずして、既定計畫の大本に變更を加へたるものに非ざること言を俟たず。尙右の外昭和四年度より開墾干拓地の移民招致に要する經費並に沓の排水設備の改善

工事費に對する補助の途を開くと共に、二百町歩未滿の土地改良事業に對する補助金の交付に關する事務を道知事の權限に移し、以て一層獎勵助成の實を擧げしめんとす。此等施設は何れも新規の事項に屬するを以て、各位は之が運用に當り周到なる調査の下に嚴正なる施措を講じ、以て其の實效を收めんことを努むべし。

抑土地改良事業は灌溉排水に關する基礎的設備完成するも、爾後に於ける工作物の維持管理、農事改良等の事業にして其の宜しきを制するに非ずんば、有終の美を濟し難きを以て、各位は意を此に留め、上司を輔けて本事業に對する指導監督の周到を期せらるべし。

惟ふに土地改良事業の成否は、獨り其の企業者の利害に關するのみならず、地方各般の事項に少からざる影響を及ぼすべきを以て、各位は其の職責の重大なるに省み、一層奮勵努力して本事業の進展に寄與せられんことを望む。

(昭和四年三月二十六日 山梨總督)

各道棉作主任官打合會に於ける總督訓示(口述)

棉花は生活上の必需品たるのみならず、軍需品として亦重要なるを以て、之が生産に就ては世界各國の常に經營怠らざる所なるが、本邦に於ける棉花の生産は極めて微々たるものにして、年々

數億萬圓の原棉を海外に仰ぎつゝあるは、唯に經濟上不利なるのみならず、國家有事の際甚だ憂慮に堪えざるところなり。而して朝鮮は帝國版圖中殆ど唯一の棉花栽培適地なるに鑑み、本府は始政以來銳意棉作の獎勵を爲し來れる處なるが、其の結果生産頓に増加し今や棉花は朝鮮に於ける重要輸移出貿易品たると共に、農家經濟上重要作物たるの地位を占め、半島民衆の福祉増進に資する所洵に大なるものあるに至れるは慶賀すべき所なり。

然るに輓近財界不況の結果、農村は益窮乏の度を加へつゝあると、一面對外貿易の現状並に一朝有事の際に於ける國防的見地より國內棉花自給の要愈切なるものあるに鑑み、本府は今回新に棉花増産計畫を樹立し、今後棉作に對し更に一段の積極的獎勵を加へ、以て農家經濟の向上を圖ると共に本邦棉花の自給に資し、併せて國際貸借の改善を期することとなりたるに付、各位は宜しく上叙の趣旨を體し、益職務に勉勵すると共に、夫々工夫を凝らし以て所期の目的達成に努められんことを望む。

(昭和八年二月二十七日 宇垣總督)

各道棉作主任官打合會に於ける總督訓示概要(口述)

棉作獎勵に關しては、昨年二月各位と會同し充分お話し申上げたので、今日更に蛇足を加ふるの

要はないのでありますが、折角の機會故御記憶を深め、其の趣旨を強調する意味に於て一言申述たいと思ひます。

農家經濟の健全なる發達、國際貸借の改善及國防上全部の生産物が帝國領土内に於て自給自足の望ましきは勿論なるも、就中棉花は其の要特に切なるものありと思ふのであります。

朝鮮の氣候風土は棉花の栽培に好適して居ると言ふのであります。多年の經驗に依れば半島大部分の地勢地味が棉作適地でありますので、朝鮮に於ける棉作開發の爲益々之が實力發揮に一段の努力工夫を要するのであります。お互は斯る意味に於て昨年來棉作に關し盡力したのであります。其の後に於ける獎勵の結果を見まするに、大體順調に進捗して居るものと認められます。只本年は天候不順の爲被害相當大なりと聞きますが、兎角豫期の目的に到達し得る望を得たことに満足し深く感謝する次第であります。

各位は此の機を逸せず、天候其の他の被害に屈せず、只管目標に向つて邁進せられんことを希望して已まないであります。

現下の朝鮮は紡績工場處々に踵を接して設立され、將に纖維工業勃興の機運に在りて、勞力の分配、生産棉花の販賣等に都合良く、尙棉作熱の發揚に影響する處尠からず。棉作の如き極めて有利なる立場に在るものと言はねばなりません。

又棉作獎勵の結果は婦人の屋外勞働を促し、因て男子の勤勞精神を刺戟する等のお話を承り、私に欣快とするところであります。

斯くして獨り農山漁村のみならず都會の進展ともなり、延て朝鮮厚生の上途に一道の光明を投ずるもので、洵に喜ぶべき現象であります。

最後に一層各位の努力を願ふと共に當業者とも隔意なく打合を爲し、圓滑に本會を終了されんことを希望して御挨拶に代へたいと思ひます。

(昭和九年八月二十四日 宇垣總督)

道農業技術官會同に於ける總督訓示

農業は朝鮮産業の基幹にして、其の振否は半島經濟の消長、住民の福祉に至大の關係を有するを以て、始政以來銳意之が振興に努めたる結果、其の成績大に見るべきものありと雖、穢て之を内地其の他の先進地方に比較すれば尙未だ幼稚の域を脱せず、開發の餘地頗る大なるものあるを認む。即ち目下實施中に屬する産米増殖計畫、産繭百萬石計畫、棉作第二期計畫の如き其の實現を期するは勿論、畑作の改良増殖、畜牛の増殖並農家副業の開發等、何れも朝鮮現下の情況に照し緊切の事業たるを信ず。而して此等諸事業の完成は一に懸りて地方技術官各位の双肩に在り。

各位は宜しく其の職責の重且大なるを自覺し、日夜黽勉以て國運の隆盛に獻替せざるべからず。一言以て訓示と爲す。

(昭和三年三月十四日 山梨總督)

道農業技術官會同に於ける總督訓示

茲に道農業技術官會同を開催するに方り、一言所懐を述べんとす。

朝鮮の農業は始政以來極めて堅實且迅速なる發達を達を遂げ、生産物の改良増殖、輸移出入貿易の振作、延ては一般經濟の向上等、其の成績洵に顯著なるものあるは、地方に在る各位の努力に依るもの多く、其の勞を深く多とせざるべからず。今や農民の自覺漸く進み、農家の經濟亦昔日の面目を更め、南鮮の一部の如き不幸二箇年の凶作に遭遇せるに拘らず、克く之に堪へ、今春の農事に着手するを得たるが如き、正に農村の健實なる發達を證する一例なりと謂ふを得べし。然れども半島に於ける一般經濟界並に農民生活の實況に徴すれば、到底晏如たるを許すべきに非ず。今後一層各位の奮勵邁進を望んで已まざるものあり。

産米の改良増殖に關しては耕種法の改善、土地改良の實施等、既定計畫着々として進捗するに従ひ、其の實績顯著にして、産米輸移出量の増加の如き豫期以上の成績を示し、年額一千萬石輸移出

を見るは蓋し速きにあらざるべし。唯農家の實情秋收期に於て一時に粉の放費を爲し、爲に米價を惑亂し内地の米生産者を脅すのみならず、朝鮮の生産者亦尠からざる不利を蒙るの實情に在り。是を以て本年度より米穀倉庫設置計畫を樹立し、追加豫算に依り之を實施し以て半島の産米に對し貯藏金融の途を講じ、一面輸移出の調節を圖ると共に、一面農家の利益を保護せんとす。而して米穀倉庫の經營及運用等に關しては指導監督に遺憾なきを期するは勿論、産米の乾燥調製の改善、検査の正鵠等、倉庫經營上の基礎となるべき産米の品質の向上及統一に就き、一層の努力を致されたし。

朝鮮の田の現在面積は三百萬町歩に達するに拘らず、猶年々粟其他食糧品の夥しき輸入を見つゝあり。如此は獨り半島の經濟上不利なるのみならず、廣く我國の食糧統制上より見るも速に解決を要する急務たり、是れ曩に田作改良増殖計畫を樹立し、以て之が自給を企圖せし所以なり。而して昨年度に於ける該計畫實施の成績は極めて良好にして、所期の目的を達成し得ることの確なりと信ずるを以て、今後の指導獎勵に一段の努力を拂はれたし。

棉作は今や朝鮮の農業組織中極めて重要な地位を占め、昨年度に於ける棉花共同販賣高は實に六百萬圓の多額に上り、之が爲旱害又は米價下落に依る農家の窮狀を緩和すること甚大なり。然るに曩に棉作第二期計畫推移の成績に鑑み、同計畫の更新を行ひ以て作付反別の充實を圖る

と共に、反當收量の増加を企畫せるも、右更新計畫は一面其の成績の舉揚甚だ困難なるものあると、一面其の實績の判明し難きとに因り、動もすれば指導獎勵弛緩せるの感あるは洵に遺憾とする所なり。宜しく計畫更新の本旨に従ひ細心なる用意を以て指導獎勵に努められたし。

朝鮮は稀に見る果樹栽培の適地にして極めて優良なる果實を生産するに拘らず、未だ栽培法に缺ぐる所あり。生産に統一なく、販賣方法合理的ならず、又市場の開拓行はれず、爲に斯業の發達遅々として進まず、輒近朝鮮果實の名聲甚だ振はざるは洵に遺憾とする所なるを以て、今後一層指導督勵に力を加へ、集團地方には果樹組合の設立普及を圖り、既設組合と共に其の活動を促し、當業者の自覺と相俟つて斯業の進展を圖られたし。

産繭百萬石增收計畫は實施後五箇年を経過し、豫期以上の成績を收めつゝあるも、之が完成には尙十箇年の長年月を要し、其の間本年の如き異常なる蠶絲業の災厄期もあるべく、尙常時に於ても不斷の研究に依り改良を續けつゝある「レイヨン」の嚴存すると共に、近時著しく覺醒し來れる支那蠶絲進出の脅威あり。此等に對抗して進展するの途は唯生産費の低減存するのみ、而して生産費の低減は技術經營組織、取引等、斯業各般の合理化に俟たざるべからず。朝鮮に於ては從來此の方針を以て進み來れるも、猶遺憾の點尠しとせず、自今一層の注意を拂ひ、以て斯業の健實なる發達を期せられたし。

畜牛の改良増殖は、朝鮮の農業組織上將又我國食糧問題解決上、極めて重要なるを以て既に方針を確立し、官民協力して目的の達成に努め來りたるも、其の成績未だ豫期に及ぼすものあり。輓近動もすれば飼養頭數の減少を見つゝあるは甚だ遺憾とする所なり。昨年度新に畜牛増殖計畫を樹立せるは、此の趨勢に鑑み、生産の増加と飼養經濟の安固を圖り、以て畜産の振興を期せんとしたるに外ならず。之が實施に方りては宜しく農業各般の連絡を密にし、周到の注意と最善の努力を拂ひ、所期の成績を擧げられたし。

農産物の改良増殖は結局肥料の増施と施用方法の改善とに俟たざるべからず。曩に自給肥料の増産獎勵肥料購入低利資金の融通肥料取締の實施等、諸般の施設を講じたる。所以實に茲に存す。幸に其の成績敢て擧らざるにあらず。特に金肥施用の如き著しき増加の趨勢を示したりと雖、農家の知識幼稚なると經濟の貧弱なるとに因り、自給肥料の生産施用豫期の如く進まず、又販賣肥料の施用合理的ならず、或は肝商の跋扈するありて、猶未だ此等諸施設の効果を充分に發揮すること能はざるの實情に在るを以て、今後一段の指導獎勵に努められたし。

小作慣行を改善し地主小作人間の紛争を圓滿に處理し、兩者の關係をして時代の進歩に順應して推移せしめ、以て農村の發達と農業の進展を阻碍することなからしむるは農政の要諦なり。朝鮮に於ては本問題に關し幸に未だ大なる困難を見ずと雖、若し指導者に於て周匝の注意を怠

るあらば、終に收拾し能はざる事態を招來するや必せり。而して小作問題の徹底的解決は立法に俟つべき所尠からざるを以て、一面之が準備を進めつゝあるも又一面差當り行政的手段に依り改善を期し得べきもの又は之に依るを寧ろ適當とするもの甚だ多し。此等に關し從來屢々指示する所ありたるが、最近更に具體的實行方法に付其の主なるもの六項を掲げ通牒せり。之が實行の細目に互りては地方の實情に依り自から異なるべきものあるを以て、宜しく慎重考究を遂げ實行上萬遺憾なきを期し、以て農村の發達振興に貢獻せられたし。

終りに鑑み更に一言を加へんとす。由來農家に對する獎勵事項は實行簡易にして多岐に涉らざるべきこと及其の指導の實行的徹底的たるべきことは、始政以來勸農上に於ける大方針とせし所なり。然るに輓近獎勵すべき事項漸く細目に入り、且其の數歲に加はり指導者の數亦増加し來りたるを以て、農家の行事自然多端に涉り、動もすれば實行上迷路に立つの虞なきに非ず。又指導者の督勵徒に抽象的に流るゝのみならず、時に連絡協調を缺ぎ、多年朝鮮農業界の特色としたる指導の統一と徹底とを失ふの憾なきやを疑はしむるものあるを以て、絞上の弊害に陥らざるやう細心の注意を要す。今や農業開發に關する各般の計畫概ね成りて正に實行期に入り、其の目的の達成は一に各位の奮勵努力に俟たざるべからざるの秋に方り各位は宜しく一段の緊張と熱誠とを以て其の職に膺り、常に部下職員を善導し能く官民の協戮を圖り、銳意畫策以て

半島農事の開發を昂め、統治成績の擧揚に貢獻せられんことを望む。

(昭和五年五月二十六日 齋藤總督)

高地帶對策打合會總督演述(口述筆記)

本日から數日に涉り主として高地帶農業に關しての打合があり、當局からも色々御話する筈でありますから、此處に改めて私より御話する必要は有りませぬが、過去に對する實績は着々進捗しつつある點は、皆様の御努力の賜と御禮を申上る次第であります。只今後宜敷く健康に注意して此の方面に努力を致して戴き度いと存じます。

只一言今後の御参考に供し度いと思ふことを二三申上度いと存じます。

其の一つは先月咸鏡南道高地帶から平南の山地帶を巡り黃海道を通つたが、其の旅行の間に自分の頭に感じた事は、火田の傾斜の急な所が漸次良くなり、草木の生へて來たことを各所で見たのであります。殊に江界から北鮮に行く時、先年行つた時は如何にも慘憺たる状態を見て之が改善の急務を痛感したのであります。此度の旅行で完全とは云へないが、先年見た時よりもずつと變つてゐる、斯くも短時日の間に明瞭に實績の現れたのを見て愉快であつた。斯様な意氣込で、今數年努力して下さればずつと良くなると思ふのであります。又沙里院寧遠邊の山地帶

の有様は、昭和六年の様子は草は生へて居たが木は生へてゐなかつた。此度通つて見ると大きな木ではないが、小さいながら木が澤山生へて居るのを多く見たのであります。これも充分とは云へないが直感的に頭に深く入つたのであります。其の他幾多顯著なものを見て其の效果の現れを充分見たのであります。更に皆様の努力に依り出來る丈完全なものにして戴き度いと思ふのであります。

今一つ御話したい事は高地帶作物對策は土地の適否を見、其の育て方を考究する所謂作物耕種改善の方面と思ふが、其の外高地帶の人間を其處に巧く育て、行くこと、即ち高地帶に適する生活の改善をすることが極めて肝要なことであつて、高地帶には麥、ライ麥、馬鈴薯等、色々出來る玉蜀黍然りであります。あらゆるものが出來て米以外のものは皆出來さうであります。又有畜農業には適地が豊富にあります。其の點から考へれば自給自足が充分出來ると思ふ。只鹽が出來ぬが、其れがあれば充分何でも出來る平地帶の人より寧ろ程度の高い生活が出來ると思ふのであります。山羊の乳、牛乳、パン等色々出來るし、毛の着物も着れるとせば、我々よりも程度の高い又西洋人同様の生活が出來る。鹽さへ取れば出來るのであります。其處迄考へて私は急速な事には行かぬが、各位は百年の事業として其處まで考を延してやつて戴きたいと思ふのであります。

國家的に見て物資の自給自足が出来ねば嘘と思ひます。無理に西洋酒を呑まなくとも日本酒を飲めばよい。無理に外國から輸入を仰がなくてもよいと思ひます。將來伸びる餘地は生活改善からやらねばなりません。其の土地に適合する様自己の生活を改善せねばなりません。其の試験臺に高地帯が上つてゐると思ふ。其の試験に合格せば日本國民はどんどん伸びることが出来ると思ふのであります。

山農を捉へ仕事する上にもこの大きな考を抱いてやつて戴き度いと思ふのであります。所感の一端を述べて御挨拶に替へ度いと思ひます。どうかしつかりやつて下さい。

(昭和十年十月二十五日 宇垣總督)

道農事試験場事業設計打合會に於ける總督

演述(口述筆記)

昨年は此の會合が水原で行はれ諸君に御目にかゝる機會を得ず遺憾でありましたが、本年は本府で一日開催されることになり、諸君の壯容に接し本懐とする處であります。

扱諸君に要求し又指示する事は、各當事者から詳細に話があることと思ひますから、左様な點に觸れることを避け、茲に斷片的ではあるが私の頭に映じてゐること、他日諸君の仕事の遂行上

何かの参考になることと思はれる事を御話致し度いと思ふのであります。

其の御話する前に、諸君の過去現在に於ける御働に對して御禮を申し上げ度いと思ふのであります。即ち朝鮮の農事も色々改良され、今や全鮮的に行はれてゐる農村更生運動と兩々相呼應し、着々と其の効果を顯はしつゝ在りて、朝鮮農業の前途は光明に滿ち有望であるのは、惟ふに諸君の働の力が與つて大であるに外ならずと信じ、此の點を深く各位に先づ感謝し併せて尙今後の研究に一層の努力を煩はし度いと思ふのであります。次に参考として御耳に入れて置き度いと思ふ一つは、諸君の色々な試験事項は農村の更生計畫と連繫を密にし、地方的に急を要すると思はれる事項に特に力を入れてやつて戴き度いのであります。そして其の成果は農家農村に速に適用せしむべく、且農家農村更生の指導上にも充分協力されるやう希望します。

先刻湯川場長の御話に、過去は試験場に立籠り農家農村に直ちに進出する、所謂街頭進出と云ふ事が遅れ勝ちであつた様に思はれると云ふ御話がありました。此は全く私も同感である。即ち試験室農場より更に農家農村に進出し、更生事業に大に協力して戴き度いと思ふのであります。

然し一般學術的研究も等閑に附することなき様やつて戴き度いことは勿論でありまして、此は現在に於ても將來に於ても必要なことでありますから、此點誤解なき様御願ひする次第であります。

ます。

次に研究は一層實際的にやつて戴き度い。即ち適地に適作をやらせる様格段の注意を拂つて戴き度いのであります。此の點に就いてはまだまだ研究の餘地がある様に感ぜらるゝのであります。私が朝鮮に來る前北海道に旅行した折樺太長官と同車し豊原の農事試験場で稻作の試験を盛にやつてゐる話を聞きよく出來ますかと尋ねたら内地程は出來ないが可成出來るとの話でありました。私は左様に迄して色々工夫し金をかけて遣る位ならもつと其の土地に適作がありはしないか適地適作でなければ最後の勝利は得られないではないかと申した事があります。何處でも左様で適地適作と云ふ點を是非十分念頭に置くべきであると思ふのであります。

先年咸南旅行の時沿道で稗をちよいちよい見受けました。當局に稗に對する研究が出來てゐるか尋ねたら明答を與へられなかつた。農林局でも研究されてゐない。それでつらつら考へて見ると、東洋では數千年來五穀と云へば米麥粟稗豆で他の四種は充分研究されてゐるが稗の研究されてゐないのは不可思議ではないかと思つたのであります。其後咸南では色々研究され、昨年末にその實績も道知事より聞いた事であります。

東洋で五穀の一である以上、必ず東洋の何れの所にか栽培して有利な土地があるべきである。

又朝鮮の或部分は夫れの適地ではないかと思つて研究を御願ひしてゐる次第であります。之は特に各位の注意を喚起する一例として御話したまでであります。

數日前水産協會の人が見え、その時の話に、東海岸では鰯が澤山穫れその搾粕は肥料としてよいものであるが、鮮内では多く使はれてゐないから得て價格の維持が困難になる、もつと鮮内需要を増す様にして貰ひたいけれども、農業方面の技術官がそれを餘り歓迎されないとの話でありました。豆粕等との比較も聞かされましたが、手近にある肥料を使つて足らない處を他より求めると云ふことが順序であると思ふ。價格も安いし、効果も他肥料に劣つてゐないとの事だし、只多年の慣習でその儘に打ちやりて置くべきでないと思ふ。それが事實であるが否かは私には解らないが、若し事實とすれば一つ考へるべき事と思ふのであります。所謂有效廉價の肥料で農村を潤し、他方それにより價格が適當に維持されるゝことになれば、漁村も益する一舉兩得の事だから、此邊虚心坦懐に考へて戴き度いと思ふのであります。

次に先刻適地適作と云ふ言葉を使つたが、其の意味を次の様に擴張して考へて戴き度い。例へば市街地の近郊又それに交通の便宜しき地方では、蔬菜果實を作る方が豆麥より有利の場合があると思ふのであります。左様な意味も含まつてゐるのであります。此の土地に何が一番よく出來るかと思ふよりも、何を作れば一番收益を擧げられ、農民の爲にいかと云ふ廣い意味の

言葉なのであります。

最近内務局長が南鮮に行かれた時の話を聞くと、洛東江の游水地帯に蔬菜を作つてゐる簡易速成栽培で瓜、茄子等を作り出水前に收穫し、洪水時は遊ばせ、又洪水後の秋に一作穫り、結局二作して一段歩から二百圓以上の収益を擧げると云ふ話でした。猶それに關聯して痛切に感ずる事は、田舎の殊に山村の普通學校簡易學校を廻つて見ると、近年いづれも田畑を持ち盛んに農業の事を教へつゝあるが、山を貰つてゐないのがある。山村である以上農業は山と關聯してやつて貰はねばならぬと思ふ。山を離れた山村の農業は意味が乏しい、山と關聯した山村農業としてもらいたいと云ふ話を知事等に話したことがあります。二宮尊徳を見ても、小さい時は「チゲ」を背負つて可成遠方の山に薪を取り遠き町にそれを賣出してゐる様であります。學校のすぐ近くの山を貰ふと云ふことは容易に出來ぬが、一里位離れてゐても構ぬではないかと話したこともあります。

次に番の裏作のことが今一段研究の餘地がある様思はれるのであります。京畿道以南は餘程進んでゐるが、農村の實情を見るとまだまだ不徹底の箇所が多い様であります。又北の方でも出來ぬと簡単に諦めることはいけな。現に黃海江原道に於ても可能な事が實證された實情に徴しても、地方的に簡単に不可能視する事なく、將來益之が研究並普及に努力せられ度い。之

は前申した適地適作と云ふのではなく、やらねば一作に止るから捨てゝゐるものを生かすと云ふ意味で、適地適作とは別個に考へて戴き度いと思ふのであります。他にも之に類似のこともありはせぬかと思はれます。

次に朝鮮農民の食糧は可成畑作物で賄ふと云ふ考へで行かねばならぬと思ふ。内地では朝鮮は米の食べ方が足らぬと云つてゐるが、自分は決して積極的に米食を奨めない。勿論經濟が充實向上して自然に米食の習慣を來たせばそれでよいが、米食偏重の人間は世界に擴がる餘地が少いと思ひます。左様な意味で米作以外の作物で、畑生産物でも何んでも生活して行ける様な人間でなくては、帝國國民の擴大性が止まると思ふのであります。

次に之は諸君の仕事に直接關係なきも、次の様なことを念頭に置いて農民に接觸して戴き度いと云ふのは、先年來實行しつゝある農村振興運動が如何に鮮内に響いてゐるか云ふのであります。之は自分の頭に感じてゐる事を御話して御参考に供し度いと思ふのであります。

更生計畫を受ける農民と授ける道郡面、即ち指導者側との兩方に涉り此の考が如何に推移してゐるか申せば、指導者側は最初は「御上からやれ」と云はれるからやるが出來ない話だ」と云ふ程度で、次に「どうも難敷いやれ」と云はるればやるが、永續きはしないだらう、總督でも變れば止むのだらう」と云ふ様に、又現在では「何だか出來さうだ、やらねばならぬ」と云ふ方に傾き、一步進んだと

ころでは「之は出来る是非やらねばならぬ」と云ふ。この二つの所にありて前者六分、後者四分位の所にあると想像される。全體が最後の「出来る是非やらねばならぬ」と云ふ所になつて初めて農村更生の完全なる実績は擧ると思ふのであります。

受ける方の農民の考へは如何かと云ふに「御上からやれと云ふが要領を得ない分らない」が、初頭に頭を支配し次に一段進み「誠に結構なことだが六箇敷くて面倒臭い仕事だ」と云ふ考へに傾いてゐるのが、現時の大部分ぢやないかと思ひます。然し少数は最早今日では「誠に結構だ、我々の助かるのは之道しかない是非やらねばならぬ」と云ふ考へになつてゐるが、此の最後の「結構だ、此れ以外生くる道なし是非やらねばならぬ」と云ふ事になるのが朝鮮更生の爲必要である。此の點諸君の頭に充分入れて置いて戴きたいと思ふ。

取りとめもない話を心に浮んだ儘に致しましたが、大體微意の存する所は御了解を得たことと存じます。農山漁村の更生は諸君の努力に待つ所大なり、切に健康に注意せられ、將來層一層の御努力を御願ひ致して御話を終ります。

(昭和十一年二月十七日 宇垣總督)

火田調査委員會に於ける總督訓示

今回新に火田調査委員會を設け、其の委員長及委員は既に之が任命を了し、茲に第一回委員會を開くに至つたのであります。

抑朝鮮に於ける林野の冒耕殊に火田に付ては、古來識者の憂慮せる所でありまして、政府は禁令を以て之が防遏を圖り、又本府始政後に於ても森林令中之が取締に關する規定を設けると共に、實情を斟酌勘案して之が整理方策を樹て、以て其の實績を擧ぐるに努め來つたのであります。が、冒耕の弊習は今尙止まず、寧ろ漸く禍害の増大を見つゝあるは最も遺憾とする所であり、申す迄もなく、火田に因る土地及森林の荒廢は、林業を首め一般産業の發達を阻害するのみならず、延いて國土の保安を危うし、幾多災害の素因を醸成しつゝあるのでありまして、轉た之が匡救の急切を感ずるのであります。

仍て客歲更に調査要綱を定め調査班を派遣して踏査を行はしむる等、種々講究する所があつたのであります。が、之が實效を收むる爲には、關係部局の連絡協調を一層緊密にすると共に、衆智を集め、以て萬全なる方策の遂行を期するの外なきを認めまして、今般本委員會を設置したる次第であります。

惟ふに本事業の要諦は、新規の火耕は嚴重且確實に禁遏を加ふると共に、一面現に耕作する火田の整理及之が耕作者の處置に付ては、實狀に鑑み機宜に適する方途を講ずるに在るのであります。

するが、其の内容は實に多岐複雑でありまして、林政上は勿論、農政問題及一般社會問題としても重大なる事項であります。

而も之が成果を收むることの容易でないことは、既往の經驗に徴するも明瞭でありますから、方策の樹立は固より、將來之が實施に付ても各位の煩勞に俟つこと多大なるものがあると存するのであります。各位は本事業の成否が直に統治の大局に及ぼす影響の深きに鑑み、克く實狀を洞察し、慎重審議を遂げられんことを切望する次第であります。

(昭和四年一月十四日 山梨總督)

米穀自治管理打合會に於ける政務總監訓示

開會に當りまして一言申し上げたいと思ひます

米穀は國民の半以上を占むる農家の主要生産物として、又國民全體の主要食糧として、國民生活に至大の關係を持つて居りますので、其の數量及價格の調節を圖ることは極めて緊要なる事柄であることは、今更申す迄もないのであります。

従つて歴代の政府は米穀調節に關して多大の苦心努力を重ねて來たのでありまして、朝鮮に於ても常に政府の政策に順應する方針の下に機宜の施設を講じ、専ら内地と協力して米穀の統制

に努めて來たことは既に御承知の通りであります。

然るに最近に於ける米穀事情並に米穀統制法實施の經過、財政上の影響等に鑑みまして、政府は更に之が對策考究の爲特に内閣に設置されました米穀對策調査會の答申に基き、去る第六十九回帝國議會に米穀自治管理法案を提出し、其の協賛を経て本年五月之を公布するに至つたのであります。

米穀自治管理法は内地、朝鮮及臺灣を通じて、米穀の供給が過剩である場合、内外地に於て自治的に過剩米穀を統制することを以て其の目的とするものであります。之が爲内地、朝鮮及臺灣に於て生産者の團體又は米穀取扱業者の團體をして米穀を貯藏せしめ、米價が一定の價格以上に値上りする迄貯藏の解除を認めざることとし、米穀統制法の運用と相俟つて需給調節の目的を達成せんとするのが本法の趣旨であります。而して之れに對し政府は米穀資金の供給、其の他補助金の交付等、出来る丈の助成を成すことになつて居るのであります。而して本法は内外地を一貫したる公正妥當の方策でありまして、多年に亘る懸案も明朗なる機構の下に解決を告げ、米穀政策上一步を進め得たことは誠に同慶に堪へない次第であります。

本法の目的並に趣旨は只今申述べた通りであります。之が所期の成果を得ると否とは、一に懸つて民間の自治的精神の振否如何に存するのでありますから、之が指導監督の任に當る各位並

に部下職員に於て先づ十分之を諒得するは勿論之が趣旨の周知徹底に努め、以て本法所期の目的達成上萬遺憾なきを期せられたいのであります。終りに當り特に一言申述べたいと思ひます。

朝鮮の經濟は大部分農業に依存してをりますので、農業の盛衰は直に半島經濟の消長に關し、從つて之が健全なる發達を圖ることは甚だ緊要なることであります。然るに本年は不幸にして氣候極めて不順であつて旱魃水害隨所に起り、其の慘狀洵に見るに忍びないものがあり、耕地並に農作物の被害額は莫大なる數に達し、實に憂慮に堪へない次第であります。之に對し本府は機宜の措置を講ずべく畫策中ではありますが、特に直接産業行政の衝に當られる各位は、罹災者更生の途を講じ、農業經營の前途に些かたりとも暗影を投ずるが如きことなからしめ、以て益朝鮮農業の健實なる發達に寄與せられんことを冀ふ次第であります。

(昭和十一年九月十四日 大野政務總監)

朝鮮農業倉庫業令公布に當りて

今回朝鮮農業倉庫業令を公布し、近く之を施行する運に至つたことは、農家の福利を増進し、半島農業の進展上洵に同慶に堪へざる處である。本府始政以來農産物の生産増殖に付ては、銳意諸

般の施設を講じ來り、其の成績顯著なるものがあるけれども、生産物の經濟的處理の施設に付ては尙遺憾の點が少くなかつたのである。

輒近一般經濟界の不況は農家經濟上に大打撃を與へ、農村の疲憊は内地外地を問はず、洵に容易ならざる情勢を示して居るのである。殊に從來朝鮮の農家は經濟狀態が極めて貧弱なると、其の生産物に對する經濟的處理の機關が不備なるとの關係上、農産物は之を收穫期に於て一時に放賣するを慣習とし來つたのである。従つて鮮米の移出期の如きも著しく偏倚し、移出高の大半は出來秋より僅に四五箇月間に搬出せらるゝ實情にあつて、之が爲に内地市場及農村に大なる脅威を與へたるのみならず、延いて朝鮮農家の蒙る損失も亦決して少くなかつたのである。

本府は此の間の情勢に鑑み、曩に農業倉庫普及計畫を樹立し、生産者をして出來秋の安値時に入庫せしめ、値頃に依る平均賣を獎勵して間接に移出米統制に效驗あらしめると共に、入庫物に對する調製加工の依頼に應じ、或は共同販賣の方法に依り生産者の利益を可及的に増加する方途を講じたるが、其の後米穀調査會に於ける鮮米移出統制方策に對する答申等に鑑み、從來の農業倉庫普及計畫を更改して米穀倉庫普及計畫を樹立し、生産地に米穀の保管を主たる業務とする小規模の農業倉庫を設置し、上絨の農業倉庫の使命を達成せしめると共に、移出地に主として移出米の調節を目的とする大規模の米穀倉庫を建設し、兩者相俟て季節的過剩數量の調節を期し、

前年度より計畫の一部實行を見て居る次第である。

然るに移出地の米穀倉庫は之を自由營業とし、商法の規定に依らしめることとしたけれども、農業倉庫に付ては未だ據るべき法規が無く、従つて其の機能を發揮せしめる上に於て遺憾の點が少くなかつたので、今回新に朝鮮農業倉庫業令を制定するに至つたのである。

本令に依つて設立せらるべき農業倉庫の目的は、中小農家の爲に農産物の寄託を受け其の貯藏を完全ならしめると共に、農業倉庫證券を發行し之に對し資金融通の便を得しめ他面共同販賣を實行して大量取引の利益と價格の公正を得しめ、以て市場に於ける農家の經濟的地位を確保するに在るのである。殊に米穀の保管を主たる目的とする農業倉庫に在りては、移出米の調節を圖る趣旨より倉庫業者の作成交付する倉荷證券に對しては、特に大藏省の低利資金の融通を受け得ることとして居ることは、既に周知の事實である。

惟ふに法は其の活用に依りて始めて其の精神を發揚せしめることが出来るのである。殊に本令に基きて設立せらるる農業倉庫の如きは、其の振否は専ら局に當る理事者の活動と、一般生産者の自覺の如何に在るを以て、農業倉庫經營の任に當る者は勿論一般官民は宜しく本法令公布の精神に稽へ、一致協同所期の目的達成の爲に精進せられんことを切望して已まぬ次第である。

(昭和六年七月十七日 宇垣總督)

講習會關係

地方行政講習會開會式に於ける政務總監訓示

本日より地方行政講習會を開くに當りまして、一言述べて諸君の注意を喚起いたしたいと思ひます。

曩に行政財政の整理を行ひ、行政各般の費用を節すると同時に、職員の設定をも減ずるの已むなきに至つたのであります。が、爾來國運の進展に伴ひ地方行政事務は益々複雑に赴き膨脹を來しつゝあるに拘らず、地方廳に在りては限ある人員を以て之に當らざるべからざる關係上、自ら當面の用務に逐はれ勝ちで、往々にして法令例規其他各般の行政方面の研究を怠り易い傾向があります。此の點に付ては平素遺憾とする所が少くないのであります。

次に諸君は地方行政の第一線に立ち、直接官治自治兩方面の事務の執行者として極めて重要な任務を帯びて居らるゝのであつて、諸君の努力如何は直に地方行政に反映し、延いて朝鮮統治に影響する所が少くないのであります。が、地方在勤者は動もすれば退嬰姑息に流れ、或は地方に對し本府施政方針が充分徹底せざるが如きことあるに非ずやと氣遣はれるのであります。そこで専ら此等宿弊を矯正することを主眼として、今回本會を開催するに至つた次第であります。諸君は克く此の意を體して眞摯熱誠を以て、單に講師の所説を聽くを以て能事畢れりとせず、自

ら進みて研究し、講習の効果を収めて向後實地運用に際して苟も凝滞の患なからしめ、益事務の改善刷新を計り、以て本會開催の趣旨に副ふやう努力せられんことを切望する次第であります。

(昭和二年九月十三日 湯淺政務總監)

地方行政講習會開會式に於ける政務總監訓示

茲に地方行政講習會を開くに當り、聊か所懐を述べて各位の注意を促したいと思ひます。

地方行政の衝に當る地方在勤の官吏に對しましては、明治四十三年以來府郡島屬講習會又は地方改良講習會なる名稱の下に大正十二年度迄毎年此の種の講習會が開催せられ、又別に官吏の養成機關として組織の變つた長期の判任見習講習會、又は行政講習所が設置せられて居つたのであります。此等も大正十三年の行政財政整理に依り廢止せられたのであります。爾來國運の進展に伴ひ、地方行政事務は逐年複雑と爲り益膨脹しつゝあるに拘らず、地方應に在りては限り有る人員を以て之に當らざるべからざる關係上、當面の用務に逐はれ勝にして法令例規其他各般の行政事務に付ての研究は兎角等閑に付し易い傾向がある許りでなく、僻遠の地に在勤する官吏は動もすれば時勢の進運に遅れ、四圍の状況上刺戟の少い結果、官吏として必要な向上の念は不知不識の間に消失して元氣振はず、自ら安逸を貪るが如き弊を醸し易く爲に、往々

にして本府の方針が地方廳の職員に徹底を缺くが如き結果を招來するのであります。

此等の通弊を矯正し併せて清新の氣を作興し、各講師の講義に依り必要な知識を得て各其の職務に資せしめんとする目的を以て、昨年より本講習會を開催したのであります。其の成績が甚だ良好でありますので、本年亦特に勉學に適する秋冷の時期を選び、本會を開催致したる次第であります。

申す迄もなく、各位は各般の地方行政事務に携り親しく一般民衆に觸れ、其の福利増進の爲活動せらるゝ極めて重大なる責務を有して居らるゝので、各位の努力如何は直に地方行政に反映し、延いて施政上に影響する所が少くないのであります。克く本會開催の趣旨を體し、勵精以て講師の所説を聽き、充分之を咀嚼し、大に將來の實地運用に資し、一層事務の刷新を圖り、以て本府の期待に副ふやう努力せられんことを切望する次第であります。

(昭和三年九月十一日 池上政務總監)

地方行政講習會開會式に於ける政務總監訓示

茲に第三回地方行政講習會を開くに當り、一言留意を乞ひたいと思ひます。

地方行政の衝に當る地方在勤の官吏に對しましては、府郡島屬講習會又は地方改良講習會なる

名稱の下に、明治四十三年より大正十二年度迄此の種の講習會を毎年開催し、又別に官吏の養成機關として判任見習講習會又は行政講習所が設置せられて居つたのでありますが、此等は正十三年の行政財政整理の際廢止せられたのであります。爾來時運の進展に伴ひ、地方行政事務は益々複雑多端となり、逐年膨脹しつゝあるに拘らず、地方廳に在つては所定の人員を以て之に當らざるべからざる關係上、自ら當面の用務に逐はれ勝であつて、法令例規其の他各般の行政事務に付ての研究は兎角等閑に付され易い傾向があるのを、頗る遺憾と致して居る次第であります。

申す迄もなく、諸君は地方行政の第一線に立ち、官治自治兩方面の事務に當る極めて重要な任務を帯びて居られるのであつて、諸君の努力如何は直に地方行政に反映し、延いて朝鮮統治に影響する所が少くないのであります。地方在勤の官吏は環境の然らしむる所都會の其れに比し刺戟の少ない結果動もすれば時運に遅れ、向上の念は不知不識の間に薄らぎ、自ら安逸を貪るが如き弊に陥り易く、爲に保守退嬰に流れ、或は地方民に對し本府の施政方針が充分徹底せざるが如きことがあるのではないかと氣遣はれるのであります。是に鑑みる所あり、本年は特に勉學に適する秋冷の季節を選び、茲に第三回目の講習會を開催するに至つたのであります。

諸君は克く本會開催の趣旨を體し、眞摯熱誠講師の所説を聴き、學理及之が運用と各般の施政の

精神とを咀嚼研鑽して充分講習の成果を收め、將來の實地運用に資し、一層事務の刷新を圖り、本府の期待に副ふやう努力せられんことを切望する次第であります。

(昭和四年九月 兒玉政務總監)

地方行政官吏講習會閉會式に於ける政務總監訓示

第七回地方行政講習會は愈々終了を告げ、本日茲に講習證書を授與するに至りましたことは、私の欣快とする所であります。

講習會開會以來六十餘日に亙り各講師が公務御多忙にも拘らず、熱心に講義を御續け下さいました勞に對しては深く感謝致しますると共に、諸君に於ても異常なる緊張を以て終始聽講せられたる勉勵に對し満足の意を表する次第であります。

本日此の閉會式に於て諸君と相見ゆるを得ました機會に、二三所懐を述べたいと思ふのであります。

地方官吏の一言一行は施政批判の目標と爲り、動もすれば施政に對する幾多の誤解を生じ、却て不満足感を醸成し易いのでありますから、直接民衆に接觸する諸君に於ては恒に公正なる態度を持し、溫情を以て民衆に接し、言行を慎み、其の重大なる責任を自覺して、常に清新なる意氣と

緊張せる氣分とを以て職務に精勵せられ、折角本講習の成果を有意義ならしめ、上司をして期待に背かざらしむるやう御奮勵願ひたいのであります。御承知の通官廳の事務は文化の發展に伴ひ逐年繁劇を加へ、其の態様の變化亦甚しく且益複雑に赴きつゝあると共に、時々の世情に應じ臨時の事務も増加しつゝあるのであります。事務の増加に比例して職員を増加を望むことは到底困難であります。故に、之に對應する處置としまして事務の簡捷を圖り、以て一方民衆の利便を増すと共に、一面に於ては事務の激増に依る職員の手不足を補ふことの必要を認めますので、本府に於きましては漸次其の權限に屬する事項を地方長官に委任し、認可經同等の制限を撤廢し、又は煩瑣なる手續の省略に努むる等の方法を講じつゝあるのであります。地方廳に在りまして其の事務は範圍頗る廣汎であります。其の官吏の定員は比較的少數であり、又近き將來に於ても多數の増員を期待し難い實情に在ります。故に、宜しく處務の簡捷を圖り、以て諸般事務の處理を期せなければならぬのであります。諸君は克く此の點に留意せられ、事務の簡捷を圖られたならば相當の餘裕を生じ、之を新なる施設に振向け得ることを疑はぬものであります。

當面の問題と致しましては、曩に農山漁村の振興に關し本府及地方廳は最も有効適切なる方策を樹て、之が實行に當りましては諸君の御力を御借りして來たのであります。幸に熱心なる

御盡力を得ると共に、地方團體の施設宜しきを加へて所期の目的を達成しつゝあり、一面民衆の自覺を促し自主自立の精神に基く自力更生の氣運勃々として振起する傾向を馴致し、爲に疲弊困憊の極にありました農山漁村に一脈の生氣を喚起し得ましたことは、國家の爲御同慶に堪へない次第であります。若し此の際指導獎勵上些の凝滯ありますに於ては、折角向上の途を辿りつゝある人心をして次第に倦怠の氣運を醸さしめ、九仞の功を一篋に虧くの虞なしとせないであります。諸君は地方行政の第一線に立ち直接之が指導に當らるゝのであります。本府の方針並に之が指導精神に付ては充分體得せられて居るのであります。此の上とも一層の御努力を希ひ實効を適確ならしめられんことを切望する次第であります。時恰も秋冷の候に向ひましたが、地方に依りましては極めて氣候不順の所もあらうと思ひます。切に健康に留意せられんことを望む次第であります。

(昭和九年十一月七日 今井田政務總監)

稅務講習會講習員に對する政務總監訓示

茲に第七回稅務講習會を開くに當りまして、所懷の一端を述べ講習員諸子の留意を乞ひたいと思ひます。

稅務行政は國家政務の重要なものゝ一でありまして、其の執行の適否は直接人民の利害休戚に關係し、延いて國運の消長に影響するのであります。従つて之が執行の局に當る者は常に經濟界の事象を察し、又克く時代の思潮に鑑み、法令の精神の攻究と周到なる調査とに依つて、經濟と徵稅との調和を圖り、負擔力に適應したる課稅を行ふことを最も必要とするのであります。而して稅務の執行に當りまして、克く此の眞髓に觸れ充分に其の機能を發揮せしむるには、人格に於ても將又手腕に於ても優秀なる職員をして眞面目に職務に當らしむることが肝要であります。殊に世運の進歩、人智の發達、財界の不況に伴ひまして、稅務行政の執行は益々複雑多岐に互り一層困難の度を加へ、特殊の知識と經驗とを要するに至つたことは申す迄もないのであります。故に苟も稅務の職に在る者は、現在に満足し依然として舊套を襲ふことを容さぬのであります。

本府は此に見る所がありまして、時恰も緊縮節約の際ではありまするが、茲に諸子を招集し、本講習會を開くことに致した次第であります。

諸子は全鮮多數の官吏中より選拔せられ、此の講習に参加するのでありまするから、克く本府の趣旨のある所を諒解し、其の責任の重きを感じ、只管講師の所説に聽き、學理及其の運用に就て研鑽を怠らず、充分講習の成果を收めて事務の刷新改善に資し、以て本府の期待に副ふやう努力せ

られんことを切望する次第であります。

(昭和七年八月九日 今井田政務總監)

稅務講習會開會式に於ける政務總監訓示

茲に第九回稅務講習會を開催するに當り所懐の一端を述べ、講習員諸子の留意を煩したいと思ひます。

輒近我國の經濟界が推移變遷の甚しきものあるのに徴して、經濟の事象と密接なる關係を有する稅務行政も亦従つて複雑多岐に互り、之が適正圓滿なる執行は益々困難を加ふるに至つたのであります。殊に朝鮮に於きましては、昨年國民負擔の公平と徵稅の嚴正とを目標として、稅制の根本的整備改善と稅務機關の特設を見たのであります。之に伴つて稅務行政の執行も一段の工夫と創意とを必要とすると共に、特殊の智識と經驗とに俟つ所益多きを加ふるに至りました。ことは申す迄もないことであります。従つて苟も稅務の職に在る者は、現在に泥み舊套を襲ふが如きことなく、常に經濟界の動向に注意を拂ひ、克く時代の思潮を咀嚼し、法令の精神の會得と周密なる調査とに依つて、課稅の公正適實を期するを必要とするのであります。而して稅務の執行に當つて此の眞髓に觸れ、其の機能を充分に發揮せしめるには、之に従事する職員の素質の

向上を圖り、以て人格手腕共に優秀なる人物を得ることが肝要でありまして、本府に於て講習會を催し指導訓練を施す所以は、實に茲に存するのであります。

本講習會開催に當りましては、多額の經費を要するのみならず、至鮮の稅務官吏中より最も有爲なる諸子を簡拔致すことは、稅務當面の事務の進捗に少からざる支障を來すことともなり、一面講師の任に膺る者も多忙なる時間を割いて講義に當る等、多大の犠牲を拂ふのでありますから、諸子は此等の點を念饒に置き深く研鑽を遂げられ、本講習會を最も意義あらしめるやう期せられねばなりません。

由來稅務に従事する官吏の清廉潔白にして誠實勤勉たるべき資格に就ては、諸子の夙に了知するゝ所であります。時に往々心得違ひの者を出しますことは、誠に遺憾とする所であります。苟且にも非違あるに於きましては、假令事柄は些々たることでありましても、稅務官吏の廉潔を疑はしめ、延ては官廳の威信、事務の執行にも支障を生ずるに至るのでありますから、諸子は品性を研き、稅務官吏の體面を汚すが如きことなきやう、特に注意せられたいのであります。

時恰も秋冷、勉學の好季節でありますから、充分攝生に努められ、優秀なる成績を擧げられんことを希望する次第であります。

農山漁村振興運動關係

農山漁村振興關係郡守會議に於ける農村振興に 關する總督口演の要旨

茲に農山漁村振興に關する講習會を開き親しく全鮮の郡守島司及其の他の之が指導關係者に御目に懸りて所懐の一端を述ぶるの機會を得ましたことは最も欣幸とする所であります。過去各種の機會に於て累次私の指示せし諸般の事柄及本府の施設に付ては既に諸君の諒知せらるゝ所ならんと信じます。然るに最近に於ける内外情勢の變化と朝鮮現下の實相とに鑑み、疆内生産の大宗たる農山漁村の振興に對し更に一段の考慮を拂ひ刷新を加ふることの切要なるを感じました。依て茲に大衆指導の第一線に立てる諸君の會同を煩はし、農山漁村指導の精神並に其の方法に關する講習を行ひ之に依りて施設の統制並に周到を期せんとする次第であります。

去る九月十五日我帝國が率先彼の王道を建國の精神とする滿洲國の獨立を承認して以來、帝國の國際的地位と東洋平和の確保に對する責任とは一層重大を加へまして、國際間に於ては萬難を排して我國独自の理想信念に終始せざるべからざるは勿論滿洲國に對しては飽く迄も善隣の誼を盡すべきであります。更に朝鮮自體に於ては國境の警備に、滿洲在住同胞を保護救済に

將又經濟的方面に、思想的方面に一層の緊張を必要と致します。換言すれば對外的には激烈たる國民精神の發揮と餘裕ある實力の涵養に一段の努力を要するのみならず、對外的には經濟界の變調と農山漁村の實狀とに鑑み、其の對策を講ずるに頗る急を要する所がありまして、眞に國家は非常時に直面して居ると申すべきであると思ひます。今や御承知の如く内地に於ては國民の自覺と政府の施設と相俟つて、自力更生に國家總動員的の氣勢を示し、朝野を擧げて其の實行に熱中して居ります。然るに産業上改善増殖の餘裕大に存し、地域上開拓の餘地尙多く、而も滿蒙の新天地進出に多大の便宜と適應性とを有する我朝鮮としては、茲に帝國更生の先驅たり中樞とならねばならぬと思ひます。又其の可能なるべきを信ずるものであります。

願れば始政以來星霜を閱すること既に二十有餘年の久しきに及び、其の間官民不斷の努力に依り半島の産業、教育、交通、經濟、衛生、其の他各般の施設に著しき發達を見たのであります。一度念を大衆の蓄積せる實力と疆内に包藏する資源とに致しますときは、蓋し思ひ半ばに過ぐるものがありまして、半島進運の前途には今尙洋々たる餘地を存し、民力の涵養に、民風の作興に、資源の開発に一層諸君の努力健闘を希はざるを得ざるの舞臺分至る所に存在するのである。特に半島生産の大宗たる農山漁村就中農業の振興に對しては諸君と共に、今後一層の精進を致すことが緊要なりと思ひます。

惟ふに農村振興の要諦は、農村の構成分子たる個々の農民をして自主自立、研鑽工夫、勤儉力行、各業を愛し職を樂しみ生に安んじ、節約産を増して將來の發展を準備し、隣保相率ゐて郷閭共榮の實を擧げて大衆の生活を安定し、更に向上の境地に到らしむるに在るは言を俟たざる所である。然るに朝鮮に於ける農村の大衆は經濟的にも自覺に乏しく、發奮足らず今尙往年の舊慣に捉はるゝもの頗る多い。此の陋習が持続し改善せられざる限りは農村の振興は得て望むべからざるを以て、現に農民全體に對し、根本的に物心兩方面に亙りて一大轉化を促すの必要に迫られつつあるのであります。然り今日の非常時局に直面して開發進展に關し比較的餘地と彈力を有する朝鮮農村は、所謂建て直しの絶好の機運に際會しありとも申し得ると思ひます。由來朝鮮の農業は其の耕地の培養保護に於て至らざる所少なくない、努力の集約利用に於て盡さざる點が多い。若し夫れ一度朝鮮の農家をして其の本來の使命と農道の本義とに目醒めしめ、其の營農組織を複式化に導き、經營を合理化せしめ、更に進んで共同化の施設を擴充せしむると共に、農民の心理を自給自足の軌道に載せ、更に收支の打算即ち入を計りて出を制するの道程に則らしめ、他面教化運動に依りて發奮健闘の意氣を白熱徹底せしむるならば、朝鮮農村の現狀を打開し前途の發展を圖ること敢て難事ならずと信じます。

抑も今日に於ける農村の困憊は、民心が功利主義に憧がれ物質偏重に墮したると、農業經營をし

て時勢に順應せしむるの智能足らざりしと、農民天職の眞諦を究めざりしとに由來すると考へる。故に農村の振興改善に志す者は専ら此の邊の機微に觸れて指導啓發の適切徹底を期せなければならませぬ。是曩に本府に農村振興委員會を設け道郡島邑面に對しても之が設置を慫慂し更に今回農村指導の準則をも決定して憑據を與へつゝある所以であります。

翻て世界の大勢を通觀するに、各國は經濟的にも將又思想的にも何れも未曾有の難局に遭遇し、今や相競うて國力の恢復に没頭して居ります。我國も亦此等大勢の餘波を免れ得ずして所謂非常時とも申すべき情態を現出しつゝある。けれども我國としては、他の強國に比すれば地理的には世界優秀の未開の寶庫たる西伯利亞滿洲支那南洋に接近しあるの形勝を占めて居ります。又過去世界大戦役の爲に生じたる戦債や賠償等の負擔も皆無であり、其の他民衆貧富の懸隔も歐米に比すれば多少緩和しある等、國力の恢復振興實に比較的容易なる情勢に在ることの特色ある立場を有して居ります。之に加ふるに我帝國は建國以來二千五百有餘年皇統連綿として主權に異動なく中心に動搖なく、世界に於て其の類例を見ざる確乎不動大磐石なる國體であります。此の光輝ある歴史と國體を中心とし、或は背景として汝々として生業に安んじ得る所の國民の幸福なる運命は亦他に類例なく、何れの國民にも追従を許さざる優越點であり、又特に惠まれたる立場に在りと申さねばならぬ。由來帝國國運が世界に他に比類なき急速の進展

を遂げ得たる所以のものは、國民が此の優越を自覺し至誠に燃え、其の特色の發揮に全能力を傾倒して健闘し來りたるが爲である。然り此の立場特色優越に對する自覺の徹底とそれの眞價の發揮とは、過去に於けると同様に九千萬同胞の將來の運命を左右すべき關鍵であると思ひます。而して更に我朝鮮の前途に念を致すときは前に述べたる如く、産業上穀産養蠶林産水産等は尙改良增收を圖るの餘地多大に残存し、鑛産棉作羊毛の生産等に至りては到底内地に於て企て及ばざるの未開の新天地を保有して居り、之に加ふるに千古斧を入れざる廣大なる原始林、農耕適地にして未開墾の儘に残存しある沃野も少からざる等、之を各方面に互りて殆ど行詰りに近き状態に瀕せる内地に比較するときは、我朝鮮の前途は實に發展の爲廣大なる餘地を存して誠に洋々たる光明に充ちて居ると申して宜しい。勿論現時に於ける地方の窮情も坐視すべきでなく、夫々匡救の手段をば採りつゝある所であります。併しながら當事者が此の大局的觀察に透徹し、勇敢に其の職責に精進し、汝々として半島の開發に専念して周到なる工夫と不撓の努力を拂ふ等、即ち農山漁村に對し適切なる啓發と親切なる指導を與へ、又一般大衆が擧つてお互に前途に目醒め、新興の意氣と白熱せる努力を以つて未開の餘地、未墾の天地の開發に邁往し、朝鮮が保有包藏せる眞價の發揚に努むるならば、現時の窮狀打開の如きはさしたる難事でないばかりでなく、更に更に驚異に値する慶福を持來すことも必ずしも遠い將來ではないと私は確く

斯く信じて疑はないものであります。斯の如き朝鮮實力の開發充實は延て帝國國運の興隆ともなり、帝國國運の進展は更に世界の福祉の増進にも貢獻し得るに至る。斯く考察し來るときは現に行詰れる世界前途の光明は日本より輝き、帝國前途の光輝は朝鮮より閃めくと申す私の豫ての理想を具體化し事實化すること、其のことは格段に六ヶ敷事でもなく、實に朝鮮が保有し將又殘存して居る實力、餘力の開發利用に依りて遂行し得らるべきである。即ち一般大衆の自己の立場に對する自覺精進と官民一致の努力健闘に於て裕に達成し得らるべきものと存じます。今回諸君の會同を煩はして講習會を催したるは所謂生産の大宗たる農村の振興を基調として此等事業完成の方途を講究し、以て救國濟民に善處し回天の大業にも貢獻せしめんとする意圖に外ならぬのであります。

尙附け加へて申します。古來親民は政治の要諦であり、又善政の根幹なりと稱せられて居ります。大衆の信頼を得、大衆との親和を得ますれば言の信ぜられざるはなく、又言の行はれざるはないと思ひます。大衆の指導統治の局に當るものは正に此の呼吸を充分に會得し、此の消息を正當に理解し居らねばならぬと共に、常に其の品位を保ち自己の人格修養に努め率先垂範に遺憾なきを期すべきである。尙詳細なる事柄は各關係者より追々と御話致しますから能く聽取り理解せられて、夫々歸任の上は上司の意圖を體して、適切周到なる計畫を樹て、地方特に農山漁

村の振興に一段の工夫を凝し熱誠以て事に當られ朝鮮統治の改善進歩に大に寄與せられんことを切望して已まない次第であります。

(昭和七年十月 宇垣總督)

人生活の理想と農山漁村

(全鮮郡守及其他の對する農山漁村振興講習會席上に於ける政務總監演說要旨)

各位は過去三日間に互りまして本講習會に於て、今回この會合を催すに至つた趣旨並びに農村振興の必要、その方途については、總督の御訓示に於て、或は又農村指導、その方法等については、各講師各位からの充分なる御説明によつて、充分御會得になつたことと存する次第であります。従つて各位が今後農村振興に關して採るべき方法、目的、精神については、充分なる自覺、自信を得られたことと考へるのであります。一般を指導せんとする場合に於ては、先づ指導するものが充分なる自信を有ち、その方法に關し充分なる研究を積むの必要なるは勿論であります。これらの點については充分に御會得になり自信を得られたことと存じますから、今後御歸任の上は第一線に立たるゝ各位が、一齊に立つて勇往邁進、朝鮮の農村振興に貢獻されたいと希望する次第であります。

これ以上、私より申上げることはないのですが、斯く全鮮の各位が一堂に集まれ、お互に

意見を交換する機會は又と中々得られないので、この機會に、私は數分間私の平素考へてを一端を申上げて御参考に供したいと存するのであります。

諸君は、人生は如何なるものであるかについては、過去に於て色々お考へになり又如何やうな結論に到達せられたかは存じませぬが、私は平素、人生々活の理想は「健康」と「活動」と「平和」の三つであると確信してをります。

健康が幸福の母であり、病氣は悪魔と申し或は不衛生は罪惡であると申す點から見ても、人生々活に於て、健康が先づ第一に幸福なものであることは申すまでもないこととあります。

活動は言ふまでもなく、我々の肉體と精神との二つの力である。人の生死の區別は活動するとせざるとにあると、嘗ての山崎先生の講演で承りましたけれども、これは私は勿論諸君も異議ないことと存じます。我々の肉體と智情意の精神的働きが一緒になつて活動するとき、我々人生に意義あり、價值があるのであります。

我々の活動が或は社會の爲になり、或は自分自身の爲になるとき、世人これを善と云ひ、我々の活動が社會及び自己の利益に反する場合には、これを惡と稱してをりますが、一般の道德に於ては、智情意の圓滿な活動を最高の善と心理方面から説明致してをります。要するに、活動すること、が人生の意義であり、それが人の自然の天性と存するのであります。平たく申せば、我々生きて

をる間は活動するなと云つても、活動せずにはをられないのが人間自然の天性である。而してそれが圓滿なる活動であり、最高善の目的に達する活動であるならば、これ亦幸福の一つであらねばならぬと、かやうに私は考へてをるのであります。

然るに我々の道德は、或は勤勉力行、勤儉努力と申して常に我々に活動を教へ強ふるのであるが、併しながら勤勉は多くの場合實行出来ない、憤け勝ち、怠り勝ちになるのが普通の習ひであります。これを要するに、強ひられる活動が、我々の力に副はない力以上の重い負擔たる活動、或は價値なき活動、意義なき活動、又我々の智情意の欲せざる活動等を強ひられるが故に、活動が苦痛になり従つてこれを厭ふ風習が自ら生ずるのであります。故に我々の力に適する、又我々の肉體並びに智情意の欲する活動を續けやう發揮しやうとしたならば、誰しも活動を厭ふものではなく、否喜んで活動するに相違ない。

かやうに致してこそ、自然に放任しておいても、人は自ら活動、即ち私の申す最高善の活動をしたいと、の念願から活動をすることになる。そしてその活動が自由に出来るならば、これ亦我々の幸福であると私は考へるのであります。

次は平和であります。何等人に犯されず、又人も犯さない。天地の脅威も受けず、平靜に、安樂に何等の不安なく、生活が續けられるならば、これ亦人類の最も大きい幸福の一つであると存じま

す。

かやうに健康と活動と平和とが完全に得られたならば、我々の生活は理想に到達せるものであり、これが最大の幸福であると私は確信致してをる。恐らく各位と雖、この點については御異論のないことと考へるのであります。

然らば、理想的な生活がこの世の中に於て完全に求め得られるか、又どこで左様な理想的な生活が求め得られるかと申すれば、それは農山漁村に於て初めて求め得られると私は確信してをります。申すまでもなく、新鮮なる空氣、新鮮なる食糧は、農山漁村の他にこれを求むることは出来ませぬ。これだけの點に於ても、農山漁村が人生々々の健全なる發達を求めると最も適當なる土地であるのであります。人口統計學者の説によれば、都會人は三代にして亡ぶ、或は都會に於ける新しい人口の供給は農村から……と申す位に、都會は不衛生的であり、健康に害があります。今日の統計に於ても、醫療その他の設備が充分互つてをるに拘らず、都會は非常なる不健康なる結果を現してをるのであります。

かやうに見るならば、農山漁村は最も人生に適した健康地である。従つて農村の一般の人が多少の注意を加へたならば、我々の幸福の母である健康は、他の土地よりも容易に得られるものであらうかと考へる次第であります。

又活動についても、先程申した圓滿なる、最高善に合致する活動も、これ亦農山漁村に於て得られるものと私は信ずるのであります。失業問題の如きも農村にはないと考へる。御承知の通り、商工業を本位としてをる英國に於ては、數百萬の失業者が常に存在してをつて、英國の重要な政治問題、社會問題になつてをりますが、農業本位のデンマークに於て失業問題が左程喧しく相成つてをるとは、嘗つて耳に致さないのであります。農村は……山崎先生から御講演もあつたかと存じますが……自然の力、天地の力を利用し、これに人間の知識、或は勞力を加へて物を生産する所である。天地の力は無限である。この無限なる力を人が利用する場合に於ては、そこに仕事は幾らでも發見することが出来る。又これに智力、勞力を加へたならば、その生産を増加することは容易に出来るのであります。従つて農村に於ける活動は充分その餘地があり、又活動の結果が充分に酬ひられる状態にあります。

都會に於ける工場等の仕事は機械等に強制される場合が多いが、然るに農村の仕事は各自の實際の力に應じた活動が出来る。力相當の活動をすればよいのであるから、活動に自由があつて強制がない。これが農村に於ける一特色であらうと考へるのであります。又先申した如く、或は自分の實力に副はない活動を強制せられる、或は何等酬ひられざる活動を餘儀なくされると云ふやうな勞働の苦痛、活動の苦みは、農村に於ては充分これを避け得られるのであります。即

ち圓滿なる最高善の活動は、農村に於て初めて充分に發揮することが出来ると思存するのであります。

更に平和についても、商工業は人と人との取引である。従つてその間に懸引もあれば競争も起る。又利害の衝突、感情の行違ひが生ずる。これは仕事それ自身が往々にして斯くなさしめる。即ち平和を紊るのが商工業の自然の経路である。併しながら、農村に於ては自然の力、我々の力を加へて物を生産するのでありますから、そこに何等利害の衝突も起らず、感情の疎隔も起らない。寧ろ部落民が一致共同して協力の力によつて活動する場合に於て、初めて充分な利益、効果を發揮することが出来る。即ち商工業に於けると反對に農村は平和であり、又全幅の効果を擧げ得るのであります。さうして自然を愛し、自然に親しみ、自然を楽しむ仕事であるから、のんびりした平和の空氣は農村に於て充分に味ふことが出来、發揮することが出来ると思は感ずるのであります。

斯の如く觀察して参りますと、所謂健康活動平和の我々理想の目標は、農村に於て初めて完全に充分に發揮し、又その結果が酬ひ得られるものであると思考へるのであります。

然るに今日農山漁村は非常に窮乏し疲弊してをる。私が今申したことは全く反して、理想的であるべき農山漁村の一般住民は、寧ろ今日では奴隸的地位に陥つてをると言はれてをります。

私は左様な極端な地位に陥つたとは思存してをりませぬが、併しながら農村が疲弊困憊してをることは事實である。して見れば、私の先申した農村は我々の生活の理想最大の幸福を求め得られる土地であるとの議論とは、格段の差異があり、全く相反する現象を呈してをると考へざるを得ないのであります。然らばそのこゝに至つた原因は奈邊にあるか、それは總ての人が農村特色、或は人生の理想、又農業の本質、これらの點を充分自覺せず、その特色を發揮せずして誤つた道を歩んで來た結果が今日の如く農村の疲弊困憊を來した所以である。換言せば、農村自體は理想郷でありながら、その理想郷を今日の如く窮乏の極に陥らしめたものは、即ち政治經濟學者、實業家その他一般が農村の特色、本質を理解せず誤つた道を辿つて來た結果によるものと思ふのであります。

先程申しました活動、この一點から見ても果して農村に於ける一般の農民が、眞に農業を理解し、充分なる活動をしてをるや否や、私は遺憾ながら今日は充分なる活動は致してゐないと思ふ。特に朝鮮に於ては内地農村の生活と較べ、活動の點に於て、勤勉の點に於て、より一段に努力を要する。朝鮮農村は今までの活動の足りなかつた結果が、今日の如き疲弊困憊を來した一原因であると思ふのであります。

又衣食住の生活資料は決して商工業者が拵へるのでなくして、これ皆農山漁村に於て生産する。

自ら衣食住の資料を生産し消費してをつたならば、そこに生活の不安はない。即ち自給自足の經濟、この原則は農村に於て行はるべきものであり、又行つてをれば、農村の窮乏は起り得ないと考へますが、自給自足の原則が充分行はれない。これは農村ばかりの罪ではありませぬ。政治經濟學者實業家今日の社會組織の缺陷がそこに多分に加味されてをりますが、兎角農村に自給自足の經濟が頼れて、交換經濟金融經濟が隅々までも喰入つて來たことからして、今日の窮乏が甚しくなつて來たと考へるのであります。

尙又農村に於ては自然を愛し、自然を楽しみ、平和なる生活に浸つて行くことが本位であるに拘らず、經濟的に見れば一般が功利的になり、金錢的利益を主眼とする經濟を行ひ、又娛樂方面に於ても、生活様式に於ても都會的な利那的悅樂を追ひ、人爲的利那的生活を致すことがなからうか、この點についても缺點があると思ふ。農村に於ては春耕し種を播き、夏手入れ、秋收穫して一年の計を立てる。都會に於ては一日働いて一日の生活を營んで行く、かやうに農村生活と都會生活とは全然その成立を異にしてをるに拘らず、農村生活が動もすれば都會生活の弊風を追はんとするのが今日の狀態であります。そこに又農村疲弊の原因を多分に有してをるのではないかと考へる。即ち農村の生活は農村自體の特色を没却して、都會その他の方面の弊風……都會地自身に於ては必ずしも弊風とは言へぬでも……實情に副はない生活様式が農村に侵入して

來たことが、今日の疲弊困憊に陥らしめた所以ではないかと考へます。その點について、一般農民が充分に自覺して、今後農村の特色を充分に發揮するやうに致したならば、相當の時日の間には、その疲弊困憊も容易に恢復出来るのではないかと確信する次第であります。

今日政府に於ては農山漁村救濟の施設を種々講じてをり、又政府の力によつて農山漁村を救濟さねばならぬと一般の聲も高いやうであります。總督府に於ても、出来るだけの施設は今日まで致して参りましたが、併しながら政府と雖、決して無から有を生ずる譯ではないのであるから、いつまでも救濟することは出来ませぬ。救はれる人の少い間は即ち救ふ人が多く、救はるゝ人が少い社會に於ては或る程度の人を救つて行くことが出来るが、併しながら多くの人が救ひを求め、又救ふ人が少數であつたならば、この社會はやがて自滅を俟つより他はないであります。

政府と雖、今日一般に應急施設をするに公債を以て財源と致してをります。この公債は誰の負擔かと云へば、要するに國民の負擔即ち我々の負擔に於て借金をし急場をしのご。その借金も我々がこの數年間に返済し得るならば結構でせうが、到底これを返済することは出来得ない。我々は子孫に我々の負擔を残す、子孫によつて我々の窮乏を救濟する如き狀態であつたならば、我々の子孫は決して向上し繁榮するものでない。所謂結局、天は自ら助くる者を助けてあつて

自力更生によつて我々今日の窮乏を耐へ忍んで難局を打開するより他に救済方法はないのであります。

かやうな點に考へ及びまして、農村の特色、本質を充分に會得し、人生の理想は奈邊にあるかを充分に知ることにより、自分の力によつて我々は今日の難局を打ち拓いて行くの結論が生じて來る。而してそれが我々の生活の當然の經路であり、又我々の理想生活の結論がそこに行かなければならぬ。かやうになるかと考へる次第であります。

甚だ簡単に申上げて充分御會得を願へなかつたと存じますが、私共は衷心左様に考へてをる次第であつて、我々が今日總督府の當事者として自力更生を説いて、その施設を怠る考から申上げらるるのでは決してありません。我々の施設すべきことは極力施設致しますが、それによつて決して救済されるものでない。結論としては、どうしても自力更生自ら人生を解し、自らその地位を解し、自らその農村の特色を解して、奮勵努力する他には救済の方法はないかと考へる爲に、この機會に一言申上げた次第であります。

數日來早朝より夕刻に至るまで熱心に各講師の説明を御聽講を煩しましたが、今後諸君の御歸任の上は、その活動される上に必ずや充分なる効果が收め得られることと、私共は非常に楽しんでその結果を待つてをる次第であります。どうか各位御健康に留意せられ、各位が今日までに

得られた自信と知識とを有つて、一般農山漁村の振興指導に關し充分に奮勵せられんことを、重ねて希望して已まない次第であります。これを以て終りと致します。

(昭和七年十月 今井田政務總監)

農山漁村振興計畫實施に關する政務總監通牒

農山漁村の振興に關しては既定の方針に基き着々實施せられ、全鮮を通じ一般に氣運頗る高潮し、各般の施設亦着々其の効果を擧げ公私各種機關の協調一致、官民の親和提携、民風の改善、民心の作興等施政上幾多喜ぶべき事象を見るに至り、たるは最も欣快に堪えず、各位の熱心適切なる畫策に對し深く感謝の意を表する所なり。今後一層其の計畫を擴張充實し、益本運動の精神の高揚と趣旨の貫徹とに努力せられんことを望むと共に、此の際此の機運を逸せず、更に一步を進めて之を具體化し、以て本運動をして永久不變の基礎を確立せしむるの切要なるを認む。即ち試に各地方の情況を通觀するに、其の計畫の内容部落又は諸種の團體を對象とし、一般共通的又は公共的の事項を規定するに止まり、個々の農家を對象とする具體的振興の計畫を缺き、或は習俗の矯正、風教の振作等に終始して、個々の農家に對する經濟的更生の具體的方案を指示するに至らざるが如き、又或は經濟更生又は營農方法の改善に關し指示する所あるも、個々分立して羅

列せられ一個の農家を對象としたる全面的更生計畫に有機的に綜合統制せられざるが如きは、今後一段の工夫努力を要すべき重要點なりとす。固より各地各其の事情を異にし其の施設も亦多種多様なるべきは當に然るべきところなりと雖、要は計畫の全般を通じて其の方向を統制すべき中心的重點を明確にし各般の施設克く之に依りて其の緩急本末を勘案して有機的に綜合統一し、以て本運動の全體を打つて一個の有機的組織體たらしむるを必要とす。然らざれば施設愈多くして人其の煩に堪へざるの弊を生ずる惧あり、而して其の中心的重點は民度と運動の進捗に従ふて自ら階梯あるべしと雖、今日の現狀に於ては先づ個々の農家の眞の經濟的更生を中心とし、之を目標として最も簡易卑近にして效果的なる具體的計畫を樹立し精神指導の力に依りて其の眞の理解と深き道義的意義とを闡明し、以て發奮精進の信念を養ひ又共同共勵の施設に依りて相互扶助、以て個人力の及ばざるを補ひて其の効果を増大し、個々の農家の完成に依りて部落を完成し、部落の完成に依りて邑面を完成し、漸を追ふて道郡に普及徹底せしむるを可とす。頭初に於て邑面又は部落を單位として一齊に共通の必行事項を定め、又は共同の施設を計畫して之を遂行するは可なるも、更に進んで速に個々の農家の更生計畫を樹立し、密接に之と連絡を保持せしむるに非ざれば、動もすれば其の效果實際生活に迂遠空疎に流れ日を経ること久くして、却つて實行の生氣を失ふの前轍を踏む惧なしとせず、就ては各地從來の施設を一

層擴張充實すると共に、概ね左記方針並に別記要綱に依り、差當り各邑面一部落を選定し部落内各農家に就き營農、生活の現況を調査し之を基礎として既往並に將來に於ける百般の施設に付、篤と其の緩急本末を勘案し本機的に之を綜合統一し個々單一の農家を對象として、具體的に其の更生計畫を樹立し、以て各農家をして各其の目標を確立し前途に光明を認め潑刺たる意氣と自信とを以て、進んで之を實行し端的に其の更生の歡喜を享受し本施設をして永久に生命あらしめ、漸を追ふて全般に普及徹底するやう更に一段の御努力を煩はし度依命通牒す。

農家更生計畫樹立方針

緒言

各地方從來の計畫を見るに、多くは里洞等の部落又は各種の團體を單位として、主として其の一般共通的又は公共的事項を選定して計畫を樹立し、若くは共同耕作、共同貯蓄等主として共同的の施設に重きを置くもの多し、是固より指導上の便あり、又公共的精神を訓練し又は協同共勵の力を利用して其の實行を促進する爲必要なり、然れども民度克く之を咀嚼し之を綜合して自ら進んで自家更生の計畫を樹立するの域に達するに非ざれば、動もすれば遂に一片の他律的奉仕作業と化し、所謂自力更生の熱意と努力を振起せしむるに足らず、故に一步を進めて各農家の更

生計畫を樹立し之を綜合し之を基礎として部落是を設定し其の共勵の力に依りて實行を確保すると共に、其の共同の施設に依りて個人の力の及ばざるところを補足し、以て其の完璧を期するを要旨とし彼の部落本位の施設の完備を急ぎ又は必要の限度を超へ本末を顛倒して共同施設のみを力を用ゆるが如きことなきを要す。例へば往々にして共同耕作地の經營に力を用ゆるも各戸の營農方法は依然として舊態を存し、或は巨額の貯金又は基本金を有するも、各戸の舊債依然たるが如き、或は漫然一齊作業を高唱して却つて自家勞力の周到なる利用を没却するが如き、共同施設を計畫するに當りては、嚴に其の本旨に稽へ其の本末を辨じ必要の限度に合致せしむるの用意と工夫とを肝要とす。

一 計畫は農家個々の經濟更生の具體的方策を本體とすると共に、其の精神生活的意義を充分闡明ならしむること

農山漁村の振興は道念の振作、智識の開發、氣分の緊張を以て其の根本と爲し原動力と爲すべきことは言を俟たざる所なりと雖、其の指導は嚴に實踐的なるを要す。若し精神的指導と經濟的更生計畫と各分立し又は併行して個々に行はるゝが如きことあらんか、徒に民意をして疑惑を生ぜしめ、其の歸趨に迷はしむるに至るべし。故に今日の急務は先づ農家個々の營農及生活に付農業の本質と農道の本義に立脚して其の更生計畫を樹立し、夫れを精神的基調の上に導き兩

者渾然一體を爲して離れず相俟て以て、之を鼓舞激勵して其の効果を舉揚せしむる點に在りとす。徒らに高遠の理論に走り、或は脚下の實際生活に即せず、又は適當の限度を超へて餘りに個人の自由を干渉束縛するが如きは、却つて本事業を失敗に陥らしむる重大なる原因たる懼あり、慎まざるべからず。

二 計畫は各戸所在勞力の完成なる消化を目標とし、其の作業能率の増進を圖ると共に、可及的多角形的に利用し、彼是有機的に綜合統制し一事一業に偏せしめざること

農家更生の要訣は全家勞力の完全なる消化に在るは論を俟たざるところたり。而して朝鮮農家の現状を観るに過般朝鮮農會に於て公表したる農家經濟調査書の數例に徴するも、其の作業方法粗放にして能率低く經營方法亦單一に失し、自家所在勞力の大半を放棄して顧みざるの實情なり、故に計畫の樹立に當りては先づ各戸所在總勞力を調査し、之を其の勞働の實績に對比するは頗る緊要の事項なりと思惟す、而して之を活用し、之を消化する方法は時處に従ひ多種多様なるべしと雖、之を要約すれば結局農法の改良及經營方法の多角形化の二點に歸すべし。前者は從來之を説くこと極めて周到、今日の要は之が實行に存し、後者に至りては之が指導未だ概して剴切ならざるの憾みあり、即各農家の全面的考察を缺きて「只有利なる」一事一業を探求し、又は販路の用意充分ならずして新規の副業を計畫するが如きは、動もすれば陥り易き通弊とす故

に、其の指導は先づ自家耕地の集約的多角形的利用を最先とし、次いで所謂副業の取入に當りては孤立して其の價值を見ることなく、其の相互間並に特に其の主業との相互依存の關係を考察し、寧ろ卑近なるものに着目するを可とす。故に指導者は常に密接なる連絡協調を保ち各専門的分野に割據することなく、常に地方の實情に即し農家全般の實際を達觀して組織的に各種の施設及程度を勘案し全體を打つて一丸とし総合的經營計畫の樹立に付工夫するを要す。

三 計畫は自給自足を本則とし漫に企業的營利本位の計畫に陥らざること

自給自足は農業の特長にして時に打算を超越したる點あるも亦農家の強味なりとす。然るに近時中小農家に於てすら、漸次販賣作物を主眼とする企業的營利經營に偏せんとする傾向あるは、時流の餘弊と農業の本質、農道の本義を理解せざるに基因すべしと雖抑亦指導者に於て自給自足の妙諦を正解せしむる用意の足らざりしもの與りて其の因を爲すが如し。蓋し自給自足の生活を目して低級原始の生活と同視するは大なる誤解なりとす。尺土を割きて花卉を植ゑ、數畝を割きて果樹蔬菜を栽培し老幼婦女子の餘力を以て紡織養畜養鶏養蠶養蜂養魚等を爲し、婦人家庭の教養と相俟らて之を善用するを得ば生活の向上と充實とは期して之を求むるを得べく要は工夫の深淺如何に存す。

四 計畫は地方の現狀に鑑み、食糧の充實、金錢經濟收支の均衡、負債の根絶の三點を目標とし

年次計畫を樹立すること

農山漁村の振興の理想は固より遠大なるを要すと雖、計畫は常に農家の實狀に即し最も實際的にして且目標は明瞭なるを要す故に、一般的原則としては差當り如上の三點を目標とし當初より徒に多岐複雑に互るを避け序を追ふて理解と實踐の進度に伴ひ、漸次目標の擴充向上を圖る如く計畫するを可とす。

農家更生計畫實施要綱

一 指導部落設置計畫の樹立

道に於ては速に指導部落設置に關する具體的實行計畫を定め之を郡島に指示すること

二 指導部落の選定

郡島に於ては前項の指示に基き左の諸點考を考慮して速に部落の選定を爲すこと

イ 指導部落は各邑面概ね一個所とし既設の指導部落ある向は其の中に就き適當なる部落を選定すること

ロ 指導部落は強て里洞等の區劃に拘泥せず指導上至便と認むる三、四十戸内外の集團部落とすること

三 現況調査の施行

部落の選定を終りたるときは別記方法を参照し、邑面に於て郡島指導の下に左の諸點に留意して農家各戸の現況調査を施行すること

- イ 現況調査の施行に當りては事前に於て充分本施設の趣旨方法等に互り部落民に周知徹底を期し充分なる理解と協力を得、部落民をして疑念を抱かしめざることを
- ロ 調査の項目は民度に鑑み、努めて簡易を旨とし、別紙調査方法を参照し、地方の實狀と各戸の事情に依り取捨選擇の上必要の限度に止むること
- ハ 本現況調査は農家更生計畫樹立の根本を成すものなるを以て事實を逸せず、假飾を避け正確周到を期せざるべからざるは勿論なるも、該調査は要するに將來に於ける生活の分度並に營農の改善等を推定する計畫資料に外ならざるを以て、之が爲餘りに微細に互り調査上の勞費を多大ならしめ、所謂調査倒れとなるが如きことなきよう注意し、計畫樹立として必要なる程度とすること
- ニ 現況調査には成るべく申告書を用ひず、聽取調査とすること
- ホ 聽取に當り陳述の正否は資料の價値に非常に影響するを以て、常に正確なる陳述をなさしむることに留意すると共に、一方調査員に於ては指導部落農家が普通に購買販

賣する品目、普通一反歩當の收穫高等を豫め調査し置き、調査上必要なる營農並に生活經濟に關する常識を豊富にすると共に、調査項目の遺漏なきに努め陳述に對する判斷の正鵠を期すること

ヘ 調査は總て現在若は最近の事實に付て之を行ふこと

ト 貸借關係に付ては成るべく正確に調査すること(秘密を要する事項に付ては特に注意すること)

チ 朝鮮農家の經濟狀態には近時盛衰甚しきものあり、其等沿革に付ても留意し、盛衰の原因を明にして更生指導への資料とすること

リ 前各號の趣旨に依り調査終了したるときは、更に實地と對照して綿密に念査し調査の誤謬又は不充分なる點に對しては速に再調の上補正を加ふること

ヌ 調査は之を原簿として邑面に備付け、爾後隨時補正を加へ諸般計畫の資料たらしむること

四 農家更生計畫の樹立

現況調査を完了したるときは、別記方法を参照し、左の各項に依り成るべく五月末迄に農家各戸の更生計畫を樹立すること

イ 計畫は凡左の各項を基調とし、各農家の現狀に即し徒に理想に偏せず、又性急に陥らず努めて理解容易にして且實行可能のものたらしめ、爾後序を追ふて目標の向上擴充を圖ること

(一) 食糧の自給自足に付農事の改良、新規の作付等に依り之を充實するの計畫を樹立すること

(二) 現金の支出に付ては購買品中自給自足し得るものゝ自給計畫を樹て一面消費節約を行ひ以て其の輕減を圖ること

(三) 現金の支出は先づ副業収入を以て之に充當する計畫の下に養畜養蠶農産加工等の副業を擴充し其の販賣収入の増加を圖ること

(四) 負債償却に關して金融組合其他と協議の上計畫すること

ロ 農家各戸の事情を異にするに従ひ、計畫も亦自ら之に順應せしむべきものなるを以て施設改善事項の輕重緩急を考慮し劃一の弊に陥らざること

ハ 前各號の趣旨に依り邑面長中心となり、郡島の指導の下に各農家主宰者及中心人物の意見を徴し、概ね五年内外の年次計畫に於て各戸の事情に即して適宜時間を定め計畫の立案を爲すこと

ニ 前號に依り樹立したる計畫案は邑面委員會の諮問を経たる上、郡守又は島司の承認を受くること

ホ 郡守又は島司は計畫を審査して決定を爲すこと

五 更生計畫の實行

イ 邑面長計畫の承認を得たるときは關係指導機關と協調聯絡を保ち、且其の分野に應じて夫々指導の周到を期すること

ロ 實行に當りては計畫の内容、實行の順序方法等に付懇切叮嚀に説示して各農家をして充分に理解せしめ、之に依りて自家經濟の立直しを企圖し得ることの確固たる認識を得せしめ、進んで計畫の遂行に發奮精進するやう誘導すること

ハ 郡島邑面に於ては事務を按配し成るべく專屬の擔任者を定むること

ニ 邑面に於ては絶へず實地に臨み、實行の經過と計畫とを對照し計畫通實行せられざる事項に付ては、更に一段の督勵を加へ又實行の結果不適當と認むる事項は第四項ニホの手續を経て計畫の改訂を行ひ以て更生計畫實行の完璧を期すること

計畫の改訂を行はずして計畫以外の事項に互り指導するが如きは嚴に之を避くべきこと

ホ 郡島に於ては擔任者をして少くとも一箇月一回以上實地に臨み、實行の適否並に成績の振否を調査せしめ、指導上の督勵を加ふると共に、調査の結果は關係指導機關に通報し、或は郡島委員會に報告を爲し、又必要に應じて關係指導機關共同の視察又は調査を行ふ等其の實行に關し常時の關心を怠らざること

ヘ 更生指導部落に於ては適宜責任者を中心としたる統(五人組)を設け又は事項別に指導の責任者(一人一役)を置く等に依りて自律的共勵方法を講ずること

(昭和八年三月七日 政務總監通牒)

各道參與官會同に於ける總督指示

一 農山漁村の振興運動に關聯する制度の改正並に

職員配置の件

農山漁村の振興運動の圓滑なる進捗を遂げしむるに必要なる制度の改正に付ては目下研究中なり、而して又之が職員の配置に付ても夙に考慮したる所なるが、本事業たるや事創始に屬し新に職員を採用するも經驗者を得ること困難なるを以て、寧ろ地方の事情に精通し事務に練熟し

たる現在職員を訓練し本事業の遂行に當らしむるを最效果的且實際的なりと認め、其の奮起と健闘を煩したる次第なり、實績に徴するに現在職員並に民衆は本事業に對する體驗を経つゝあるが故に、今後は計畫當初に於けるが如き苦痛、困難は漸次緩和せらるべく、從つて其の生じたる餘裕を以て新なる施設に振向け得るを疑はず、固より本運動の普遍的擴大に伴ひ職員の増加に付ては深く考慮するの必要を認むるも、今日に於ては職員を増員を俟たず、現在職員の獻身的努力に依り本事業の圓滿なる進展を圖るべく格段の考慮を拂はるべし。

二 農山漁村振興運動の擴大に關する件

農山漁村振興運動に關しては施設の範圍を暫時現在の程度に止め、指導を一層周密徹底し其の大成に伴ひ漸次他に及ぼすを適策とすべき一部の希望あり、素より地方には夫々の事情ありと認めらるゝに依り、之を全鮮一律に遂行することは至難なるのみならず、自信なくして徒に漠然たる擴張を期するが如きは採らざるところなりと雖、本運動たるや現下の非常時に處する全鮮的更生の一大事業なるが故に、最善の努力を拂ひ以て一日も速に地方全般に及ぼし普遍的全面的に更生の實を舉揚することは最も希望するところなり。

右は初年度の經驗に徴するに勿論容易ならざる難事業たりと雖、既に其の經驗に依り指導者、被

指導者共相當の經驗と修練を積み理解と自信を得たりと認めらるゝを以て、各道に於ては現狀に止ることなく、須く進取積極的關係職員を提擧督勵し、月に年に一步をすゝめ更生部落を漸増し以て、折角熱しつゝある振興の機運を益白熱徹底せしむるやう劃策指導せられんことを望む。

(昭和七年十一月 宇垣總督)

内務部長・産業部長打合會に於ける總督指示

一 農村振興運動趣旨の周知徹底

本年三月七日附政務總監通牒は農村振興に關し、其の基本となるべき精神並に趣旨方針を闡明し、之を具體化するに農家經濟更生計畫の遂行を期せしむるにありたり。然るに各地の情況を通觀するに今日迄の施設は頗る多邊的にして多種多様の事項に互り之が勵行に努めつゝあり、固より之等の施設は總ての點に於て行詰を來せる農村の現狀より見て一として必要ならざるなしと雖、凡そ之を匡救するの方途には自ら順序あり、其の何れを中心とし何れに主力を注ぐべきかは最も留意すべき重要點なりとす。即ち此の疲弊せる農村の局面を打開するの途は農家

個々の生活を安定し其の向上を期するを最先の要諦とす。故に此の目的を達せんには、先づ以て農業經營の合理化を圖り、全家勤勞の實を擧げ以て農村最大の癌たる不足食糧を充實し負債の完済を期せしむるにあり、之が爲には物心一元的の指導に依り速に自家の更生に覺醒奮起せしめ、其の生活經濟營農の全般に互り根本より之が建直を策するの最も急務なるを痛感す。是曩に經濟更生計畫に關する通牒を發し具體策を指示したる所以なり。

各位は克く本運動の核心を把握し審に事の緩急輕重本末を稽へ、部下をして各其の嚮ふ所を深く意識せしめ依て企圖する各般の施設は之を農家に對する全面的經濟更生計畫の施設に有機的に綜合統制せしめ、以て農家經濟更生計畫の施設を擴大急施して最大最良の成果を結ばしむることに特段の工夫と努力を拂はれたし。

二 農家經濟更生部落の擴充

農家經濟更生部落の擴充に關しては本年三月七日附政務總監通牒に依るの外、去る十一月十五日各道參與官會同席上に於ける訓示指示並に別途訓示の精神を體し、左記に依り夫々遂行を期せられたし。

(イ) 初年度に於ける經濟更生部落が各邑面一部落に達せざる向は速に實施し之が充實を期

すること

- (ロ) 次年度に於ける農家經濟更生計畫の實施に付ては、概ね一邑面一部落の標準を以て更生部落の擴大實施計畫を樹立し之が遂行を期すること
- 但本件は十二月末日迄に一應實施計畫案を具し本府に協議のこと
- (ハ) 農家經濟更生計畫に付ては前二項に依るの外、普通學校指導生及自作農地創定者等に對しても漸次之が遂行を期すること

三 農村振興に關する事務の取扱

農村振興に關する事務は固より其の性質上舉道一體となり、協力遂行を要するは勿論なりと雖、一面之が主管課の適否は事務の能率を擧ぐる上に於て至大の關係あるを以て農村振興運動の總括的事務は地方課に於て主管し、其中農家經濟更生に關する事務のみは主として農務課農務課の設置なき道に在りては産業課に於てに於て分擔し、之を第一次の主務課たらしむる方適切なりと思料せらるゝを以て此の點慎重考慮の上善處せられたし。

四 農村振興委員會の活動

農村振興委員會の活動に關しては、各地夫々善處せられつゝありと雖、漸次各般施設の進行に伴ひ、委員會も亦組織の精神に鑑み、充分に其の機能を發揮し、實行上の指導督勵に新生面を開拓するの方策を講じ、屢々會同を催し、常に管内運動の趨勢と實施の狀況報告並に意見の交換等を行ひ、一層本運動の遂行に資せられたし。尙邑面委員會は努めて指導上の任務を本體として進取積極的の活動を促し、以て最大の効果を擧揚せしめられたし。

五 自力更生彙報の利用

本府發行に係る自力更生彙報は農山漁村振興施設上の指針又は參考となるべき事項を廣く蒐集し、多額の經費を投じ、毎回三萬部を發行し、以て一般指導關係者の利用に資しつゝあるが、今日迄の實況に徴し、之が利用上遺憾の點多し、即ち著しく配布期を遅延し、爲に、必須事項の適期周知を缺ぎ、又は配布方法を誤つて必要なる指定の向へ配布せざるもの、或は折角配布を受けながら、巷間普通の雜誌類と同一視し、熟讀を怠るもの等少からず、仍て之が利用増進方に付ては本府に於ても考慮中なるが、各位に於ても今後一層之が利用の効果を大ならしむるやう夫々適應の措置を講ぜられたし。

次に本彙報は今後益其の利用を増大し、廣く各地の特色を紹介し、以て相互指導獎勵上の參考た

らしむる豫定なるにより道に於ては特に適任の係員を指定し置き、將來本運動遂行の各種施設自力更生の事績等一般参考となるべき事項に就ては、其都度速に本府編輯係へ通報方取計はれたし。

(昭和八年十二月 宇垣總督)

各道農村振興指導主任者打合會席上に於ける 總督口演要旨

○繼宮明仁親王殿下御誕生奉祝

開會ノ劈頭ニ當リマシテ謹ンデ

繼宮明仁親王殿下ノ御誕生ヲ各位ト共ニ奉祝シ併セテ
皇室ノ益御繁榮ヲ壽キ奉ル次第デアリマス

○農村振興運動の經過

農村振興施設に付きましては既往數次に互る道知事會議を初めとし、近くは參與官會同、內務產業兩部長打合會の幹部級を主とする各種會議を開催し、其の都度本運動の重大性を強調し、其の

趣旨方針の徹底と施設の周到とを期し、尙昨年三月政務總監通牒を以て經濟更生運動の具體的方策に付委曲示達する所あり、又本府道郡島邑面に互りて系統的に農村振興委員會を設けて各種機關の聯絡協調と、公私施設の統制を圖り、更に屢地方的に指導關係者の講習、打合會を開催する等、萬全を期して今日に至つたことは既に各位の了知せらるゝ所であります。近く本運動の中心施設たる更生指導部落の第二次擴充を實施することに相成りましたので、事柄の極めて重大にして周到を要する關係からして、絶へず本運動に直接し施設運用の中心を爲す各位の會同を煩はして實行上諸般の打合を爲すと共に、既往一年間に於ける體驗に基き、更に施設各般に互りて篤と御協議を致すことゝなつた次第であります。

茲に年の始め會議の劈頭に於て、常々朝鮮更生の爲に熱血を注ぐの心境を一にせる各位の壯容に接し、所懐の一端を述べることを得ましたのは私の深く満足とする所であります。

本運動開始以來、官民の熱誠なる努力と、協力支持とに依り、施設の趣旨普く全半島に徹底し民心は頓に作興し、官民の親和、協調、内鮮人間の融合、提携、生活改善、消費節約、營農改善、其他各般に互り漸次見るべきものあるに至り、殊に本運動の中心施設たる農家更生計畫を樹立し、現に實行中のものは其の數二千二部落、五萬五千四百五十八戸に達し、此の外普通學校卒業生、自作農地創定者等に對しても、本計畫を擴充實行する等著々實績の舉揚に努めつゝあるの結果は、隨所に更生

の事象勃然として萌し前途大に光明を認め力強き伸展を爲しつゝあることは御同慶に堪えない所であります。此の輝かしき希望に燃へて茲に更生指導部落の第二次擴充を企つるに至つたことは、一に道知事以下各位の異常の御努力の然らしむる所でありまして衷心感謝に堪えない次第であります。

○農村窮乏の實狀

始政以來各般の施設は年を逐ふて面目を革めつゝあることは、統治の大局より見て争ひなき所でありませんが、翻て仔細に之を見直すときは、尙未だ刷新改善を要するものが少くないのであります。就中最も窮乏を訴へつゝある現下の農村に付て之を見ますならば、其の約八割は小作階級に屬する細農を以て占めて居ります。此等は過去多年の稅政の結果、搾取、誅求に苦しめられて來たのでありまして、既に其の心境は著しく荒み、所謂醉生夢死奮發心も感激性も消磨し希望も理想も意氣もなく、其の日暮しの悪習に惰し、自ら意識して其の生活に改善工夫をすると謂ふやうなこともなく、全く時代後れの環境に甘んじ年々歳々食糧の不足を訴へ、高利の負債は逐年増嵩するのみならず、收穫時期には債鬼殺到して、彼等全年の努力も或は借入食糧の返濟となり、或は負債利子の償還に充て餘す所なく、春窮即ち端境期に於ては食糧不足し、山野に草根木皮を漁り辛ふじて一家の糊口を凌ぐが如き慘目なる状態であつて、此等は年の豊凶に依り素より

一樣ではありませんが、其の概數は農家總戸數の四割八分約百二十萬戸に及ぶ年も在つたのであります。換言すれば朝鮮の農民中には過去に追はれ、現在に苦みて、將來を樂むなどは思ひも及ばざるものが多いと申さねばならぬ。

○農村窮乏の恢復困難なりし原因

始政以來此の窮乏を恢復することが容易に出來ざりし原因が奈邊にあるかと申しますれば、一言にして盡せば、農村の大衆が一般に無自覺であると謂ふことに落付くのであります。更に之を具體的に申しまするならば、一般農民が農村の特色、農業の本質、農人村人の理想信念、人生觀と謂ふやうな農村生活の基調となるべき大切な事柄に付ての理解が極めて乏しかつたからであります。之は獨り農人村人のみの罪に課すべきものでなく、廣く政治經濟學術等に携はる者の認識の缺如も斯くせしめた一半の責を負ふべきであつて、其の窮乏打開の途も亦自ら此等兩方面の覺醒に俟つて之を解決するの必要があるのであります。此の點は御互も深く反省して見る必要が大にあると思ひます。

話が少し横途に入りましたが、元に歸つて、此等農民の無自覺は如何なる點に顯れ、如何なる點に禍するに至つたかに付、少しく考察を加へて見るならば、先づ第一に自家に立直し、即ち生活營農に或種の必要を意識して之が改善工夫を爲すことがない爲に、各種作物に尙幾多增收の餘地を

残したまふ餘剩努力は利用消化の途を講ずることなく捨てたまふ、孰れも之を放任して顧みない。其の結果は食糧の不足も補ふことも出来ず負債の償還は素より利子さへ碌々拂へないのである。更に經濟的打算の觀念に疎い結果として、必要の前には前後の事情も辨へず、極めて無頓着に高利の債務を新に作りて益其の重壓に苦しみ、自己の立場に不相應なる文化生活の風潮に煽られて自給自足の經濟觀念を弛めたる結果は、交換經濟貨幣經濟が不自然の狀態に迄農村に喰ひ込んで来て、農村社會組織の特色は驚くべき勢を以て破壊に導かれつゝあつたのであります。朝鮮の農村は大様以上の如き原因を胚胎して積年の疲弊に更に一段の拍車を加ふるが如き狀態に至つたのであります。

○農村救濟の必要

斯る窮乏の中に多數の農民が不安なる生活を續けて居るから、春窮期には食を山野の草根木皮に求むるが如きことになるのであらうが、如何に之が舊來の陋習であり、自他共に怪まざる傳統的農村の姿でありしとは申しながら、誠に氣毒千萬、實に一視同仁にまします。陛下の赤子を永く此の狀態に置くことは忍びないのであります。此の多數の恵ぐまれざる農民の存在は、正しく朝鮮統治の一大憂患であつて其の生活の安定と向上とを放任しては、朝鮮の開発は斷じて望み得ないのであります。之が對策は統治上最先最急の要諦であり、且其の根幹を成すものと信

ずるのであります。始政以來二十有五年、其の間歴代の統治者が此等大衆の生活に同情し、苦心して過去幾多の施設を重ね來れるは、寔に其の着想に敬服の外ないのであります。私が着任以來特に此の點を重視し、從來の施設に更に一步を進め、之を強調しつゝある所以も、亦此の意味に外ならないのであります。殊に最近異常の豐作と農産物價の低落とに因り、一層の施設對策を要するものがあり、更に聯盟脱退後に於ける帝國內外の情勢と朝鮮の經濟的地理的特種事情とは、本施設に格段の重大性を加へ、且急速度を以て其の實施を要するに至つた次第であります。

○農村救濟に關する對策

然らば如何にして此の窮狀を匡救打開すべきかの方策に付案するに、凡そ二つの方策がある。即ち其の一つは、土木砂防等の勞銀撒布に依る。政府の救濟施設がそれであり、もう一つは所謂自力に依る農家經濟立直しの根本方策である前者は素より必要であるが、其の効果は一時的に農村に活を入れるやうなもので、恰も重病人に對するカンフル注射と同様で時を経て更に第二、第三のカンフル注射を要するのであります。斯の如きことは公債を以て財源とする政府の財政々策の見地からしても、永續せしむべき性質のものではないのであります。斯く觀察しますると、農村を救ひ農村を根強く起ち上らしむる唯一無二の根本方策は、後者の自力更生の運動、即ち現に實行中の農村振興運動より他の求むべき方法はないのであります。

○農村振興運動の實態

そこで此の運動は第一に農村今日の窮乏の因を成して居る點に遡つて其の根本方策を樹てねばならぬのである。それには先づ農村の特色と、農業の本質と、農村人の理想信念人生觀の三つの重點に立ち歸つて、農村人は勿論農村の指導に當る一切の關係者を擧げて之を自覺せしめねばならぬこととあります。此の自覺を促進する方法が即ち精神作興、民風改善の教化施設であり之を基調としたる生活改良、營農改善の經濟施設が農村の更生を具顯することとなるのであります。此の物心一如の運動を明確に示したるものが即ち客年三月の政務總監通牒でありまして、此の通牒の精神を基調とし且其の具體的實行方策として、各位が過去一年間心血を注いで終始した更生指導部落の農家更生計畫の遂行であるのであります。斯くて金錢萬能、都市文化至上の思想の重壓から農村を救ひ出して再び質實なる農村に甦らせ、農村の人々をして、農業に立脚したる健全幸福なる生活を営ましむることが出来るのであります。

○農家更生計畫の目標及要點

農家更生計畫に付ては別に農林局長其の他の職員より委曲を盡して御説明致す筈であるから自分は茲に重複を避けて單に其の要點のみに止めますが、計畫に於て目標とする所は先づ以て各戸の不足食糧の充實、負債の償還、現金收支の均衡の三點、即ち之を平く謂へば春窮退治、借金

退治、借金豫防の三點を更生要點とし、自給自足と餘剩勞力の利用消化とを鐵則とし、各戸の事情に即して必要な施設を有機的に綜合統制するの簡便な方法を採用して民度民力に相應せしめたのであります。

謂はゞ從來の一齊指導を各戸指導に改めたのであります。將來此の施設を擴充徹底して遂には朝鮮より永久完全に春窮と謂ふ文字、借金と謂ふ文字をなくして先づ生活の安定を圖らねばならぬと考へて居るのであります。夫れの實現の曉には更に計畫を第二次的に進めて生活の向上を圖り、而して出來得る限り無産者を有産者たらしむる所迄漕ぎ着けなければならぬのであります。之は將來に持つ私の滿腔の理想であり又切實なる希望であります。

○世界大勢の動向と帝國及朝鮮の地位並に本運動實行の難易

纏て世界の大勢を見るに現在世界の内にて強國と名の付く諸邦を始め、其の他の諸小國の多くは世界大戰の慘憺たる影響禍害を受けて戦債又は賠償金の負擔に苦しめられて、物資購買の能力は極度に萎縮して居る。又戦争の要求に適應する爲過度に生産設備を擴張し、將又生産を機械化したりし結果として生産過剩の弊に陥り、之が救済策として生産を制限すれば失業者續出すると申す有様にして非常なる經濟難に陥り、資本主義の餘弊たる貧富の懸隔の度合は愈大となり、延ひて思想上にも變調を呈して所謂今や極端なる經濟難、思想難に頻して自己自國の生存

の爲に懊惱煩悶の最中に在ると申して宜しいのであります。而も其等諸國の政治の中心は薄弱にして時に愚劣なる民論にも迎合追隨せざるべからざる國柄が少くないのであります。斯様な世界の動きの間に處して帝國自體の姿を見ましたならば如何でせう大戦の持ち來したる戦債もなければ無論賠償金もなく、將又資本主義經濟を採り入れましたのも歐米諸國に比すれば日尙淺きことでありますから、其の餘弊を蒙ることも少く貧富の懸隔の如きも何れかと申せば歐米諸國の如く極端なる程度には達して居らぬのであります。夫れに加ふるに政治の中心は萬世に涉り確固不動である特長を有する、時に輔弼に其の人を得ざるが爲にテキハキと仕事が進まず、國歩の停頓したることなきにしもあらずでありますけれども、夫れはほんの一時の間歇的の現象でありまして、永年を通じて觀致しますれば中心は堅實無比、暗遷黙移の間に國運は不斷に進展し時に内外の紛擾強壓ありしも、之れを切り抜け夫れを凌駕して一難を加ふる毎に國歩は更に堅實を加へ、世界に其の存在するも認められざりし一貧弱國より世界三大強國の班に列するに至りし如く、誠に結構此の上なき國柄と申し得るのであります。即ち吾人は世界列國の間に伍して、斯く帝國自己の著しく惠まれたる地位、優越なる立場を認知し得るのであります。世界共通に所謂非常時に當面して居りますが、其の中でも日本は比較的乗り切り易い境遇に置かれて居るのでありますから、非常時の呼聲に萎縮せず、辟易せず、大いに努力して奮闘さ

へすれば、他の列國よりも一步否數歩御先に物心兩方面の樂土樂園を建設し得る天恵に浴して居るのである。世界に於ける帝國の地位を今日よりも遙に優越せる地位に築き上げ得る立場にあるのであります。

帝國全體が世界の中に於て右に述べたるが如き有利の境遇に在るのであるが、朝鮮自體は又帝國內に於て如何なる立場にあるか？朝鮮自己の姿は如何であるかを觀察致しまするに、夫れ自體は帝國內に於て又最も惠れたる地位にありと申さねばなりません。公課其の他の民衆の負擔は内地の夫れに比すれば著しく輕微であります。資本主義の浸入も日淺きことでありますから貧富懸隔の程度も内地の夫れに比すれば些少であります。勿論今日では尙富の程度も物資の生産高も生活の状態も内地の夫れに比すれば凡て格段に低級ではありますけれども、此の程度の低いと言ふことは何を意味するかと申せば、取りも直さず改良増殖を圖るべき餘裕の尙大に存すること、換言すれば今後に進歩の餘地が大に残されあることを意味するのであります。加之ならず、朝鮮に於ては海陸を通じて内地に於て生産し得る丈のものは何んでも産出し得るのみならず、内地に於て生産し得ず、求むることの出來難い棉花、輕金屬の原料、重要礦物等も豊富に産出し得るの特色を有して居り、緬羊飼育の如きも氣候風土及國民性に最適合して居ります。其の他一昨年來更新せられたる日滿の新關係に就ては、朝鮮は地理的形勝の地位を占めて人的

に彼の地への進出容易の便もあれば、彼の地の原料及彼の地へ輸出品の加工製造場としても豊富且低廉なる石炭、水力、勞働力の利用と相俟つて頗る有望であります。即ち朝鮮自體は帝國內に於て又殊に恵れたる立場にあり、將來大に伸び且進み得るの餘裕が綽々として存し前途は光明と希望に充てる土地柄であるのであります。茲に御互が此の結構なる境遇と立場を自覺し、認識して大に工夫を積み努力を重ねましたならば誠に働き甲斐のある美はしき結果を持ち來して、間もなく内地に追ひ付否御互の働きの度合によりては、内地に一步先驅けして樂土を構成することも敢て至難ならずと存するのであります。

斯る恵まれた環境利用の第一著手として行はるゝ朝鮮の農村振興運動も巧く琴線に觸れたる施設を採れば、如上の天恵と相俟ちて左まで困難ではないと思ひます。元來朝鮮農家の窮乏の程度は割合に單純であつて食糧の不足にしても年に二、三石程度で、負債の額にしても一戸當り百圓見當で至つて僅少であるばかりでなく、未だ自給自足經濟の風潮も相當遺されてあり、而も少からざる餘剩勞力を餘して居るのであるから、之を利用消化し之を經濟化するに於ては農作物の如き忽ち幾割かの増収も出來、副業的収入も増加して食糧の充實も負債の償還も與ふるに若干の年月を以てすれば決して困難ではないのであります。之は從來の普通學校卒業生の指導施設の効果が雄辯に立證して餘りあるのであります。要は農村大衆の自覺と其の局に當る

官公吏、識者の指導如何に在ると信じて居ります。

○指導上留意を要する當面の經濟事情

昨八年は年尾に近づくに従ひ漸次に所謂景氣が好くなり、半島經濟界未曾有の活況を呈して居る。乍併夫れは公債及通貨の増發に基く貨幣價值の低落、換言すれば爲替安に基く對外輸出増加と物價の騰貴によりて生じたる一時的、變體的の景氣に外ならぬ。爲替とても他邦の政策若くは其の貨幣價值の變動によりて、時に高低を生じ、又各國共に今や關稅障壁を高めて他國製品の輸入防遏に勉めて居るから現時の對外輸出の好況が何時迄、何れの地方に繼續するかは他動的性質のものであるから確たる見當が付かぬ、夫れに加ふるに物價の騰貴は追々と國內品の生産費の増加を來すことになるから、今日の好條件が何時迄續け得るか？必ずや餘り遠からざる將來に於て行詰りを生ずるの恐あることは素人ながらも略々、推想し得る、即ち今日御互の眼前に映じて居る好景氣なるものは本調子ではなく、未だ所謂浮き調子の域を脱して居らぬ、眞の好景氣は實に國民の實力が整備充溢して自發的に購買力が旺盛になり、其處に始めて求め得らるるものである。故に民衆が現に當面し眼前に見へつゝある浮薄なる現象に眩惑せられて、上ツ調子になる事なく飽く迄も冷靜に、眞摯に、堅實に、努力と節約と貯蓄と而して夫れの利用に精進して更生の功を一簣に缺くが如き羽目に陥らざる様、精々注意を拂はれて指導の適切を期せら

りたいのであります。

○運動の強化

本運動を容易且效果的ならしめんには更に一面に於て中心人物の養成高利舊債の整理負擔の軽減、小作立法等尙幾多の施設を併行措置することの極めて緊要なることは論を俟たざる所でありまして、其の内中堅青年の養成と高利舊債の借替に付ては、各道共現に折角實施中でありますから、將來本運動の進展と共に、益夫れを擴充せらるゝやう此の機會に於て各位の御盡力を御願ひして置きます。

尙農村負擔の軽減に付ては近く實現を豫期する税制の整理に依り、又小作立法に付ては一日も速に其の發布を見るやうに共に、目下本府に於て折角其の實現に努めて居るのであります。管絃に一言付け加へて各位の留意を願ふ點があります。夫れは外でもありませんが、此等の施設は素より大切な而も必要なことであります。一にも二にもやれ、小作立法やれ、負債整理と謂つたやうに他力本願的に陥ることのないやうに、即ち此等の施設を本運動に織込んで既定計畫の遂行を一層強化するやうに心懸けて戴きたいのであります。蛇足の様にも思ひますが、爲念付け加へて置きます。

○指導の要訣

然るに現下朝鮮の農民大多數は未だ一般に幼稚にして其の指導は相當困難であります。一面純朴であつて官の指導に従順でありますから此の特長を活かし、之を利用し、民衆の指導には常に「能く見せ」「能く聞かせ」「能く考へさせ」「能く導き」「能く働かす」やうに世話してやり、又斯くすることとに依つて此等民衆をして漸次に覺醒せしめ、進んで「自ら聞き」「自ら見」「自ら考へ」「自ら律し」「自ら治め」「自ら勵み」「自ら働く」と謂ふやうに、漸次之を自治、自律、自動に誘導し、此の呼吸を以て一步一步物心一如の生活に馴致し、個人としての人生觀の把持に、將又社會人としての自治的訓練の完成に指導の周到を期せなければならぬのであります。

○指導關係者の責任と其の和合

斯く觀じ來れば指導關係者の一言一行は悉く農村に反映することとなり、其の課せられたる責任は實に重且大なりと謂はなければならぬのであります。而も今日の問題は議論や批評の時代は過ぎ去りて一に懸つて實行の如何にあるのであります。之には、人の和と力が最も重要な點であります。地方農村振興委員會を活用することも、廳内の聯絡統制を圖ることも、指導機關相互の聯絡協調も、官民の一致協力も、擧げて、人の和と力にあるのであります。従つて苟も本施設に關係する者は其の階級と所屬の如何に拘らず、一切を超越して大局的觀察に活き、飽くまで本運動の使徒たるの覺悟を以て、互に相和し、相扶けて最大最上の奉公を覺悟せねばならぬの

であります。

○結 論

現に各位に對して大努力を要望し居る所の地方振興、自力更生の仕事は名實共に全鮮總動員、即ちあらゆる公私の機關總ての階級、全部の民衆が協力一致して朝鮮の更生、帝國興隆の爲に最大能率を發揮して邁進しつゝある所にして、半島に於ける最高であり、又最重要の事業である。之れが完成の曉には、内鮮の融和も、悪思想の是正も、勞資の協調も、陋習の打破も、經濟の更生も、生活の安定乃至は向上も、地方自治の發達等も皆此の雰圍氣裡に醗酵せられ、覆育せられて出來上り得るのであります。所謂一藥以て萬病を醫し得ると申すが如き頗る微妙なる意味を有して居る。其の呼吸を豫め十分に體得せられて、然る後に民衆啓導の任に邁往せられ度、今日動もすれば尙本事業を半島統治の局部的、一時的の仕事であり、時日の経過又は當路者の交迭等によりて盛衰消長をも來すべきものゝ様に、甚だ軽く且つ粗笨に考へて居る向も所々にあるやに聞き及んで居るが、夫れは實に思はざるの甚しきものであります。余は此處に斷言して置きます。即ち此の大事業に對する一般の態度が當局の交迭や歲月の経過によりて冷熱や消長を生じ、時に停頓することがありはせぬかとの疑念を尙持つて居る様では、朝鮮は永久に浮ばれ難い、永遠に起ち上る事は六ヶ敷くして、東亞の天地は夫れが爲に絶へず、明朗快活を缺き、永劫に惡氣流を以

て包まれたるであらうと斯く憂ふるものであります。各位は此の邊の消息を十分に念頭に置きて仕事に取り掛らるゝことが肝要であります。

本會合の機會に於て篤と十二分に腹藏なき意見を開陳し熟議を重ねられ、今後の局面に對して善處せられんことを切望して私の話は終りと致します。どうか確かり御遣り下さい。

(昭和九年一月 宇垣總督)

農山漁村振興上留意すべき要項政務總監通牒

農山漁村の振興に關しては既定の方針に基き全力を擧げて農家更生計畫の擴充實施に努力せられつゝありと認めらるゝも、各地實施の狀況に徴すれば未だ第一線の指導者にして更生計畫遂行の趣旨方針を充分に翫味悟了せざるもの、或は熱心の餘り施設徒に複雑多岐に陥り、若は施設の緩急輕重を誤り爲に、本事業の中核たる農家更生計畫の實行的確ならざるもの、或は計畫の實行並に指導方法等當を得ざるもの等少からず、斯ては實施の效果に影響する所鮮少なからざるに依り別紙要項の如きは、審に之を指導關係者に周知徹底せしめ、實施上過誤なきを期すると共に、指導力を擧げて更生計畫の實行に傾注し、以て十全の効果を擧揚せしむることに一般の考慮を拂はれたし。依命通牒す。

一 農村中堅人物の養成

農村振興運動の遂行上施措すべき事項素より多々ありと雖、就中其の最も重要なるものは部落に中堅先導となるべき人物を多數且迅速に養成するに在り。右は本運動を旺ならしめ更生計畫の効果を敏速に顯現する上に於て、此等中堅人物の活動に依ること甚大なりと一面又更生計畫の實施をして速に自主的運動たらしめ、仍て以て官邊の指導力を節減し其の餘力を新規指導に轉用する手段としても亦喫緊の事業なり。本件に付ては既往示達したるところの外、尙左の各項に依り益施設の擴充徹底を期し、以て如上目的の達成に遺憾なきを期せられたし。尙普通學校卒業生指導施設は全鮮に普及せられ、農村の中堅者として隨所に輝しき更生の先驅をなすつゝあることは教育行政の一進展たりと思せらるゝに依り、益之が擴充徹底に努むると共に、職業科の指導、簡易學校並に農業補習學校の經營指導等に付ても同様の趣旨、見地に於て中堅者の育成に一段の努力を拂ひ、以て本運動の進展に寄與せられたし。

(一) 中堅青年の長期養成

中堅青年の長期養成を目的とする農民訓練所講習所等の如きは向後恒久的に施設を要するものなるが、元來地理風土を異にし、地方毎に農民の生活營農上にも格段の相違あるのみならず、之

が養成には地方行政との關聯密接なるものあるを以て道の事業とするを適當と思料せらるゝに付、既設の向以外に在りても財政を按配し可及的新種施設の促進方考慮せらるゝと共に、之が實施に當つては左の要項を参照し努めて即ち即人的ならしめ、本施設が其の儘移して直に農民の實際生活に役立ち得ることを主眼とし遂行方特に留意のこと

1. 本事業は之を經營する躬行示範の指導者其の人を得るに非ざれば所期の目的を達成し難きを以て、所長以下の人選に慎重留意すること
2. 設備に付ては當該地方普通農家を標準とし實用的にして、且成るべく農民の實際生活に合致せしむるやう一戸數人合宿の農家式寄宿舎及之に必要な附屬を設くる仕組とし、是等は努めて講習生の自力を以て完成せしむることとし、經費の如きも成るべく増嵩を避くること
3. 勤勞を主義とし知行合一物心一如の精神に基き、農村中堅人物としての人格の陶冶に努め、常に實習と體驗とを通して農村生活の實際に觸れ、其の間自ら農業の本質と農道の本義を體得せしめ、特に創造心、研究心を啓培し質實剛健困苦缺乏に堪ゆるの精神を涵養し、自主自立修身齊家郷土開發の實踐者として安心立命皇國農民たるの理想信念に生きしむること

4. 教科は日常の生活並營農に必須なる範圍に止め實習に重きを置くこと、故に講習期間を
利用考案して農家としての總ての作業に互り研究的體驗を積ましむること
5. 實習は畚田・林野等講習生の勞働能力を勘案して普通農家の營農に適當する充分なる面
積を用意し、多角形農法を原則として所在勞力の利用消化を圖るに努め、自給自足經濟の確
立を理想とすること、尙農家の實際生活に鑑み、或程度の小作を兼ね行ふを適當とすること
6. 寄宿農家には各戸毎に更生計畫を樹立し、年中行事を定め之に基き、農家の綜合的經營を
指導し併て部落共勵方法を訓練すること
7. 講習生は成るべく更生指導部落又は最近に更生計畫を樹立せんとする部落より選定し、
講習修了後は直に部落の中堅者として活動せしむること。
8. 期間は概ね一年程度とし指導生其の他訓練を経たるものに對しては二、三月程度を適當
とすること

(二) 中堅青年の短期養成

農村中堅青年の養成は前項長期の講習に依るを最良とするも、更生指導部落擴充に伴ひて急速
に而も多數の養成を必要とする現狀に鑑み、之と併行して毎年短期養成を繼續實施するの要あり。
本件に付ては既に示達したるところに依るの外尙左の各項に留意し實施上充分の効果を

發揮するやう措施のこと

1. 本講習は部落中堅人物としての資質を涵養し、更生計畫の遂行上如何なる方法努力に依
り、之を容易的確に共勵し得るやの手段と要領とを授くること
2. 講習生は更生指導部落若くは最近に更生計畫を實施せんとする部落より選定すること
3. 講習は郡單位を以て成るべく年二回以上實施すること、但し人員は毎回三、四十名、期間は
二、三日程度を可とすること
4. 講習は徒に多岐多様に亙ることを避け専ら更生計畫を中心として、實施上必要なる方法
手段を授くと共に、更生指導部落につき、農家の更生計畫及年中行事表に依り、其の更生進
度、勤惰工夫努力の跡並に部落共勵方法を仔細に検討せしめ、具體的の批判研究を行はし
むること

(三) 中堅婦人の養成

朝鮮農村婦人の多くは概して勤勞心に缺け、家事家政に對する自覺心乏しく、且營農上に對する
關心の程度甚だ稀薄なり。之素より多年の風習にして一朝にして改善すること相當困難なら
んも、近時各地に於て施設せられつゝある婦人講習所の經營、啓蒙施設、婦人教化囑託及普通學校
女教員の本運動への積極的進出の如きは、中堅婦人の養成上效果的にして、農村振興上適切なる

用意と認めらるゝに依り、宜しく農村の現状に適應して順次之等施設の擴充を行ひ、以て中堅婦人の教養上に一層の工夫を講ずること。

二 更生指導部落に於ける産業諸施設

現時更生指導部落には産業上各種多様の施設あり。右は何れも此等の施設を通して其の對象たる個々の農家を啓發し、之を營農上に反映して直接個人の生活經濟に裨益せしめんとする趣旨に外ならずと雖、實施方法に至りては動もすれば、當面の施設を形造ることに急にして、其の背後にある農家への反響を検討する用意に乏しく、其の結果は往々目的に背馳するものなきにあらざる現状なるを以て左の各項を参照し、是等の施設は總て更生計畫に渾然統合せしめ營農の合理化を圖り、彼此相俟て施設本來の目的を誤らしめざることに留意せられたし。

- 一 各種の競作又は増産増殖改良等の諸般施設は普通の農家に於ける營農を標準として、多くの農家が努力せば追隨し得らるゝ程度方法を以て實施すべきものなるに拘らず、未だ之が本旨に副はざる向あるを以て民度民力を勘案し、爾今此弊に陥らざるやう指導すること
- 二 便所液肥溜牛豚舎鶏舎其の他に類似する施設を行ふに當り、動もすれば劃一的の施設をなす向なきに非ず。其の結果は往々形式に終始して實效を伴はず、農家をして却て自力

- 更生の熱意を減殺するの慮なきを保し難きに依り、之が施行に當りては各家の更生計畫に即し其の必要の程度並に施設の緩急輕重等を顧慮し右の弊に陥らざるやう留意すること
- 三 豚鶏舎等の設備に當り、之に要する材料は努めて地方的材料を利用し、自給自足の方法に依らしむること
 - 四 諸種の助成施設は各農家更生の難易に應じ、自ら助成の程度を按配實施するの必要あるに拘らず、動もすれば更生容易なる農家への助成に急にして、其の更生に一層力を要する農家に對しては却て之を閉却するの結果、各農家更生の進度に縣隔を生ずるの惧あるを以て、之が助成に當りては充分の考慮を要すること

三 更生指導部落と各種共同施設

更生指導部落に於ける共同的の施設に關しては政務總監通牒を以て其の趣旨を明瞭にして施設を誤らざるやう示達する所ありたるも、爾後各地施設の經過に徴すれば、本通牒の趣旨精神に背馳する向少からず。仍て左の各項を参照し、之が運用の適正を期し本施設をして、農家更生の實施上一層効果的ならしむるやう特段の指導を加へられたし。

- 一 共同耕作は團體指導の力に依りて勤勞心の鼓吹技術の鍊磨實施方法の會得等を主眼と

する便宜手段なるべきを以て、更生計畫遂行上必要な作物につき其の耕種肥培管理の實際的指導を加へ、以て直に自家の營農上に反映せしむるの用意と工夫あるを要す。従つて耕地の如きは最少限度に止むるの必要ありと認めらるゝに拘らず、各地實施の狀況に徴すれば多くは單獨の事業として相當廣汎なる耕地を有し、尙且之が擴張に腐心し而も有利なる單作を行ひて收益の増大を圖り、其の得たる利益は或は部落の公共事業に又は共同貯蓄と爲すもの等少からず。其の結果は個人の更生計畫實行と直接の關聯を失ふに至り、從て農家は此種の共同耕作に相當の日時と勞力とを費すに拘らず、個人の營農は舊態を存し却て自家勞力の周到なる利用を没却するが如き、又多額の共同貯金を有するも個人の負債は依然たるが如き、何れも其の例に乏しからず。斯の如きは個人の更生計畫遂行に重點を置く現在としては大に考慮を要するものと認めらるゝに依り、之が施設に當りては細心の留意を必要とすること。

二 共同的施設

近時部落を單位として、農家の共同的必需品たる石油、マッチ類の共同購入、鶏卵、叭類の共同出荷等を計畫實施し有利取引を爲す向あり。右は更生計畫の遂行上極めて適切なる施設にして、斯の如きは將來何れの農村にも普及し、之に依り個人の經濟を利し進んで團體生活

の觀念を養成し、其の進展を圖る上に於て必要なり。然れども未だ民度低く團體觀念の幼稚なる農村に對し急激に之を實施し、且廣汎なる取扱、複雑なる取引を行はしむるが如きは現在の民度に照し、相當考慮を要するものあるを以て努めて取扱者に其の人を得て漸進的に施設し、之が運用を誤らしめざること。

尙共同貯穀又は共同貯金の類を部落民に低利融通することは、其の趣旨素より不可ならずと雖、之が爲農家をして負債に慣れ苟安を貪るの虞あるのみならず、本件の融通貸借上には相當困難なる事務と手数を要し、年所を経るに従ひ一層複雑を來し、延ては回收不能に陥る虞あるを以て、此等の施設を行ふに當りては充分なる考慮と指導監督を嚴にし、以て禍根を將來に貽さざるやう一段の留意をなさしむること。

四 更生指導農家負債の償還

更生指導農家に於ける負債の償還は食糧の充實と共に農家更生の根本的要件にして、農家の多くは毎年借入食糧の返還と負債の償還に追はれて折角收穫したる農作物も之を自家の食糧を充當すること能はず、而も不利なる値段を以て放賣しつゝある現狀に鑑み、之を更生の三大目標に加へ其の根絶を期する所以なり。而して之が方法としては高利債の借替並に債權者との交

涉に依る利子及元金の切下を行ふ等諸種の手段ありと雖、農家更生の要諦は其の自覺と發奮とを以て家政の根本的建直しを策し、營農の改善に依る農作物の増收と副業其の他の収入の増加に努め、他面自給自足消費の節約を圖ると共に、其の收支の餘力を以て負債の償還に充當し、一日も速に負債の重壓より脱出することの急務なるを痛感す。然るに指導の實際に徴すれば、各方面に互り努力の跡著しきものありと雖、指導者農家共に、未だ以て此點に對する用意の周到ならざるもの多きやに見受けらる。例へば

- 一 農家又は直接の指導者にして計畫書所載の償還計畫を充分了得せざるもの
- 二 數人よりの負債中何れを急とし何れを先に償還するか確乎たる自信と準備なきもの
- 三 計畫中農産物の減收又は價格の下落等に依り到底豫期の収入なきこと明瞭なるに拘らず、之に對し何等補填の用意と工夫なきもの
- 四 出同耕作の収益或は節米等に依り新なる貯金を有するに拘らず、負債と貯金とを全然別個のものと考へ從て之を負債償還に充當するの用意なきもの
- 五 農家月々の計算に依れば一時現金の不足を生じ臨時借入をなす場合往々ありて家計簿に其の旨記載しあるに拘らず、指導者にして何等の關心なく、其の間の事情を究めず、從て何時如何にして之を返済するか氣付かざるもの

六 負債ある農家に對しては、先づ以て負債償還の財源積立として貯金を行はしむるは當然なるに拘らず、之と無關係に只單に貯蓄精神の涵養上絶対必要なりとして勸奨する向等あり。尙負債償還の指導は極めて困難にして、且其の成績容易に現はれず、然るに貯金の奨励は假令小額なりとも、實行と同時に形の上に現はるゝを以て、兎角後者に偏するの傾向あり。此等は畢竟農家更生上負債償還の重大なるを認識せざる結果にして、亦以て指導者の陥り易き弊と思考せらるゝに依り、之が指導に當りては細心の留意を拂はしめられたし。尙特に注意すべきは多年債務者としての苦き生活を繼續せし農家が一度高利の借替をなし、又は返済をなし得て多年の重壓より免るゝに及び動もすれば、氣分の緊張を缺ぎ、苟安に陥らんか再び悲境を繰返すの虞あるを以て、農家に對しては強く此點の自覺と決心とを與へ深く自警に導くやう指導せられたし。

五 更生指導部落に於ける文盲者の啓發

農村振興上更生指導部落に於ける文盲者の啓發を急務とし、或は經營主又は主婦或は青少年等に對し、夜學其の他の方法に依り速成的に實施せる向少からず。右は適切なる着想工夫と認めらるゝも、之が實施方法に至りては往々にして程度高く徒に受講者の負擔を重からしめ、苦心多

きに比し實用之に伴はざる憾あるを以て、自今之が實施に當りては農家の實情に即して簡易且卑近なる事項の會得を眼目とし差向き諺文にて更生計畫を読み、且家計簿の記帳をなし得る程度に最少限度の時間と努力を以て速成實施方考慮せられたし。

六 年中行事表の作成利用

農家更生計畫の遂行上年中行事表の作成は更生指導農家をして、其の年々に於ける必行事項を的確容易に認識せしめ、之を實行上の指針として、全家勤勞に誘導し一面指導者をして、之に依り指導事項の種別範圍程度方法を一見明瞭ならしめ、指導上動もすれば陥り易き人、時所を異にするに従ひ、其の指導を二、三にするの弊を自ら矯正することを得て、自然指導力の統制強化ともなり、計畫遂行上極めて重要な事項なるを以て、未だ施設せざる向に在りては此の際速に實施し、且其の効果を發揮することに努めらるべし。而して地方に依りては夙に其の必要を認め、實施せる向もあり。其の用意素より可なりと雖、多く一道又は一郡を通じ一律の行事表を作成配付し未だ個々の農家に即して其の時期に必行すべき計畫の種別程度範圍方法を具體的に定むるの域に至らず。其の結果は更生計畫書が個々の農家に即して樹立せられあるに反し、行事表は一般的の標準事項を例示するに止まり、從て折角之が作成配付をなしあるも、農家としては

勿論指導上にも利用價值の少きは甚だ遺憾なり。

右は其の作製に相當の手續を要するも、農家個々に樹立せられたる相異なる更生計畫の内容を具體化する所になるを以て萬難を排して之を完成し、一度當該農家の指導に臨んでは必ず、此の行事表を通じての指導を行ひ、苟も行事表に定めたる事項は適期の指導を怠ることなきは勿論、之に反し本表に定めなき事項に付ては濫りに場當りの指導は嚴に之を制止し、以て指導上の効果を全からしむるやう施せられたし。

七 家計簿の活用

更生指導農家に於ける家計簿は收支に依る一家の經濟は勿論、之に依り全家族の生産增收への努力消費節約、自給自足等家事家政全般の尺度を知る回顧反省の記録たらしむると同時に、將來に對する希望進展上の資料にして計畫ある營農、分度ある生活を營むには必要な準備たり。故を以て一度之を備付け收支を記帳する上は常時之を活用して須く如上の目的に合致せしむる用意と工夫とを要す。然るに現在各地に於ける之が取扱振を通觀するに、或は文盲者に對し驚くべき苦心と努力とを拂ひて記帳の實を擧げつゝありと認むるものゝ中に、單に、記帳作業のみに終始して月計、累計もなく、從て更生計畫所載の收支豫定との對象は勿論、其の内容に付ても

何等回顧反省の跡を認め難きもの少からず。斯くては折角の苦心も徒に記帳のみの勞苦に終りて充分に家計簿としての効果を發揮するに至らざるは甚だ遺憾なり。右は畢竟農家の自覺なきに由ると雖、亦以て指導者の用意周到ならざるに職由するもの少しとせず。又多數農家の中には充分に文字を解し、或は一家族中數人の文筆者ありて完全に記帳能力あるに拘らず、幾度か企て、尙且中途挫折するが如き、或は家計簿の効果を悟了せざる結果他よりの憑憑あるに拘らず、進んで之を實行するの域に至らざるもの等多し。斯の如きは之を以て單に無自覺なる農家として放任すべきにあらざるを以て、左の各項に留意し家計簿活用上遺憾なきを期せられたし。

- 一 記帳は之を實行すると同時に、常に其の内容を検討し回顧反省の資料とすること
- 二 記帳検討の結果、収入豫定に達せざる場合は機を逸せず、之に代るべき方途を工夫講究し又豫定以上の収入ある場合は決して之を浪費することなく、負債の償還乃至蓄積等速かに有效處理すること
- 三 支出中に冗費節減の餘地ありとせば、全家族の認識を新にして爾今嚴に之を抑制し、又全家族克く節約力行して支出豫想外僅少なりとせば、前項に準じ有效處理すること
- 四 指導者に於ては月例會又は戸別訪問の際等少くとも月一回は必ず反省の機を造り以て

更生計畫との對照連繫を保たしむること

- 五 家計簿様式中には未だ民度に副はざるもの、或は綴密に過ぎて難解に陥るもの等なきにあらず、右は別表家計簿様式参照の上努めて民度に即し平易簡捷を旨とすること

八 月例會の運用

更生指導部落に於ける月例會が農村振興上重要な機構たるは多言を要せざる所なり。而して現在各地に實施中の狀況に徴すれば、多くは各種多方面に互り部落民の共同的に必行を要すと認むる事項に付申合せ又は講話を爲し、若くは注意を喚起する等の行事を爲すもの多きが如し。之れ素より其の必要ありと雖、更生指導部落に於ける斯の種の會合は、更生指導農家をして各戸毎に豫定せられたる改善事項の實行を助成促進共勵せしめて、的確なる成績を舉揚せしむる點に於て最も有意義にして、且絶好の機會と思考せらるゝに依り、之が實施運用に關しては概ね左の要領を參酌し本例會をして農家更生計畫の遂行上其の效力を全からしむるやう一段の指導督勵を加へられたし。

- 一 更生指導農家の經營者をして、更生計畫及年中行事表に依り、各既往一箇月間の実績を檢討し全家族の勤勞が果して豫定の行事を遂行し得たるや否やを、各事項毎に見直さしむる

と共に、家計簿に付ては記帳の各事項に互り吟味して収入は果して豫定通りしか、支出中には不適當のものなきか、又は月計累計を更生計畫及年中行事と對照して進度適當なるや否やを念想せしむること

二 前項の反省に依り實行成績豫定以上に達したるものに對しては、更により以上の成績を舉揚することに工夫を廻らし、又豫定に達せざる事項に付ては差當り當月中之を補填充足する方法と努力の餘地ありや否や、なすとせば翌月の行事に於て如何にして之を補ふかを念慮せしめ、以て將來への決心と自覺とを新ならしむること

三 翌月の行事を各農家毎に讀み、且説明を加へ充分なる理解會得をなさしむること

四 農家更生計畫の遂行を助成する爲に部落としての必要なる申合、規約或は施設等を行ひ（昭和八年三月七日附政務總監通牒の「農家更生計畫樹立方針の緒言」記載の趣旨に依るもの）又は右申合せ規約等に基く實行の適否成績等に付ても懇談協議せしむること

五 更生計畫の實行にして、消費節約又は營農改善等の進度特に可良なるもの、又は略豫定に近き成績を舉揚しつゝある等に對しては、其の都度之が賞揚に努め、或は會場其の他を利用して統計若は圖解等の方法に依り周知共勵の方法を講ぜしむること

六 更生計畫の實行にして、特に成績不良なるものに付ては審に其の原因事由等を聽き訊し

懇切鞭撻を加ふること

七 月例會は夜間又は農家として成るべく暇時を見計ひ開催するを可とす

八 尙此の機會を利用し郡面等に於て指導上又は獎勵上周知を要すと認むる事項の説示を行はしむること

九 月例會の指導は更生指導農家の多寡に依るべしと雖、指導者一人にて凡そ五戸乃至十戸を適當と認むるに依り列席の指導者少き場合は部落の中堅人物、中堅青年等をして補助せしめ、以上各項の指導を實施せしむること

以上の指導は飽く迄親切第一主義を以て衷心よりの同情を披瀝し、熱誠以て眞實の相談相手となり、適切有效なる各戸指導を加へ、以て農家をして勇躍更生の意氣を振起せしむるに努められたし。

九 指導部落以外に於ける中堅人物に對する

更生計畫の實施

更生指導部落以外に分布散在せる普通學校指導生、自作農地設定者等に對する更生計畫に付ては、曩に指示する所に依り夫々實施せられつゝあるが、此等農家は概ね相當の理解、自覺を有し進

取積極の熱意に富み自治自勵克く更生の實を舉揚し自力更生の示範たり部落更生の中堅たる素質可能性を多分に有する者なるを以て、將來更生指導部落の擴充に當りては有力なる先驅たるを疑はず。故に一層本施設の擴充強化に努むるは勿論、現に養成しつゝある中堅青年等に對しても、漸次更生計畫を實施し以て本運動の圓滿なる進展に資せられたし。

一〇 農家更生計畫理解の會得

農家更生計畫は即ち當該農家の家憲にして、從つて家事家政上は勿論營農並に經濟の全般に互り更生上其の到達すべき卑近簡明なる目標を明示したるものなれば、眞に此絶好の機會に奮起して、更生の實を舉げんとせば、少くとも農家は計畫第一年目の進むべき程度及第五年目の目標を明確に理解會得するの緊要なるは多言を要せざる所なり。故を以て此點に關しては當初より累次指導者の留意を喚起せし所なるに、各地實施の經過に徴すれば、指導者側の絶大なる熱心と努力とに依り工夫以て克く短期間に遺憾なく周知理解せしめたる者尠からずと雖、多くの地方に於ては、第一次計畫實施後一年餘に及ぶも未だ理解の程度甚だ稀薄なるもの少からず。而して此等困難とする理由は概ね二あるが如し。即ち其の一は更生指導農家に文盲者多く爲に理解不能なりとするもの、其の二は農家更生計畫が現時の民度に比し稍難解に失すると稱する

もの是なり。素より文盲者の多きは争ひ難き事實なるも、此等に對し悉く啓蒙を行ふが如きは容易ならずと雖、一面より考ふれば文盲者の多くは却て記憶力に富む強味をも有す、故を以て指導者たる者一度本運動の重要性を認識して不斷の努力と熱意とを傾倒せば、蓋し本計畫の大意を理解せしむるが如き敢て難事に非ず。又第二の本計畫難解とする點は素より程度問題なりと雖、更生計畫の要點要旨とする所は概ね五六項目に過ぎざるを以て、苟も農家たる者自ら更生の意氣を湧起し且指導者に於てあらゆる工夫と努力を怠らざれば、假令文盲者と雖、少くとも三、四回の説示に依り計畫の大綱を會得せしむるは強ち不可能にあらず。此等は各地熱心なる指導者の體驗に徴するも克く之を立證しつゝある所なり。各位は深く此間の事情を省察し、克く一般の指導者を提撕誘導して如上の難局を突破することに努め、尙年中行事表配付の上は更に幾分困難を加重することあるべきも、宜しく本施設の重要性に鑑み、併て之が理解會得の周到を期せられたし。

一一 更生計畫実績調査記入

更生計畫の実績は其の都度之を調査記入し且正鵠を期し、之に依り豫定に對する過不足の狀況を審にし、実績に於て不足するか、又は不足の虞ある場合は事前に適應の對策を講ずる等常に自

戒反省の責たらしむるは極めて緊要なるものあり。然るに各地の状況に付て見れば、今尙之が勵行を怠りて記入の時期を失し、或は実績計數を忘失して類推的數字を掲記するもの等なきに非ず。是畢竟未だ指導者に其の必要性を認識することの缺如せる結果に外ならずと認めらるるを以て、左の各項に依り、特に第一線指導者の注意を喚起し、不斷の勵行を期し、隨時の指導を怠らざるやう留意せられたし。

- 一 農作物実績の調査記入は左に依ること
1. 作付反別は作付の都度調査記入すること
2. 生産物の數量は調製後直に調査記入すること(反當數量も同様)
3. 販賣數量及収入金額は家計簿等に依り、概ね毎月一回調査し、適宜記帳し置き、更生年度の終に集計記入のこと
- 二 叭繩卵等の如き年間隨時に生産及販賣あるもの、実績に付ては家計簿月計等の際、其の販賣數量及収入金額並に未販賣の數量等を調査し、毎月年中行事実績欄に記入し、年度末集計記入のこと、その他水産物林産物等年間隨時の収入あるものに付ても、前項に準じ調査記入のこと

三 養蠶の実績調査記入は左に依ること

1. 掃立數量は掃立後直に調査記入のこと
2. 繭の數量は收購後直に記入のこと
3. 繭販賣數量及収入金額は販賣の都度調査し置き集計記入のこと

一二 農村振興委員會の活動促進

農村振興委員會の活動方法に關しては、曩に會議其の他の機會に於て、屢々注意を促し來りたるところなるが、今や更生指導部落擴充の年次計畫を控へ、農村振興委員會の使命益々重大を加へ、其の動向は悉く本運動の休戚に緊密至大の關係を有するに鑑み、本府に於ては昭和十年度以降、道郡邑面の委員會に對し相當經費を配賦の豫定に付此際清新の意氣と熱意とを以て、其の機能を發揮するに努め、農家農村への進出指導又は督勵を一層濃厚ならしめ、以て本事業の進展に積極的活動を怠らざるやう配意せられたし。

一三 更生指導農家及同部落に對する競進會品評會

近時道又は郡等に於て更生指導農家若くは部落等の競進會品評會を実施する向あり。右は指導者部落並に農家に對する共勵促進の一方法と認めらるゝも、各地實施の状況に徴すれ

ば、其の多くは更生計畫に關聯薄き部落の共同又は一齊的多種多様の獎勵事項に互り専ら之を本體として實施し、主として其の外形上施設の整備に急なるの餘り、實施方法妥當を缺くやに認めらるゝものあり。仍て爾今之が實施に當りては、其の範圍程度を飽く迄更生計畫の豫定事項に採り之を中心として、其の豫定事項に對する各農家の努力及工夫の深淺並に實績の良否等を調査審査し、選獎の結果が直に移して、各農家更生計畫の進展上に反映裨益せしむるやう計畫實施方配意せられたし。

一四 更生計畫實施の準備

次年度更生計畫實施の部落及農家を豫定し、家計簿の記帳及之に必要な啓蒙施設を進め、着々準備中の向あり。右は部落擴充の際本計畫遂行上適切なる用意と認めらるゝを以て事情の許す限り準備方に付考慮せられたし。

(昭和十年三月十六日 政務總監通牒)

漁村振興計畫實施に關する政務總監通牒

農山漁村の振興計畫實施に關しては、昭和八年三月七日附を以て通牒する所あり、爾來各位の熱

心適切なる計畫に依り各般の施設着々其の効果を擧げ本運動の基礎漸く確立せんとするに至りたるは、欣快に堪へざる所にして、今後一層施設の擴充徹底を圖りて農山漁村普く其の惠澤に浴せしむるの切要なるを認む。而して各地方に於ける本運動の進捗狀況を通觀するに、漁村の振興施設に關しては、其の着手稍立遲の憾なきに非ず。之漁村は一般農村に比し業態並に經濟等の關係に於て其の實情を異にするに因るべきも、漁村特殊の實情に適應する特殊の方策を加味按配するに於ては、本運動の普及徹底を期すること強ち難きに非ざるべし。斯る着意の施設に關しては、既に夫々計畫施設を進めつゝある向ありと雖未だ一般に及ばざるの現狀に在るを以て、今後漁村の振興に關しては前記通牒に依據すべきの外、尙左記に従ひ漸次漁村に於ける振興施設の普及徹底を期せしめらるゝやう更に一段の努力を煩はし度依命通牒す。

記

漁家更生計畫樹立方針

一 經濟的更生計畫に伴ひ特に漁民に必要な精神的指導
漁民は其の生業の性質上家庭生活を離るゝの時日多きのみならず、海上の勞作亦格段の困苦を伴ふ一方に於て現金收入の機會多く、爲に不知の間現實主義に墮し今日の生活に没頭して

明日の生活に備ふるの念慮を缺き、其の生活放縱にして浪費を顧みず、貯蓄心の缺乏を來して一旦窮乏に際會するや再起を企劃するの備なく忽にして生活の途を失ふに至る者尠しとせず、斯の如きは一に自家に對する責任觀念の薄弱なるに基因するものにして、此の根本的缺陷を除去するに非ざれば、百の經濟的施設も多くは其の實效を收め難かるべし。されば漁家の更生指導に當りては深く念慮を茲に置き、齋家の責任觀念を喚起して生活に對する規律心を涵養し、以て放縱の性情を矯正すると共に貯蓄心を涵養して將來に備ふる所あるべきものたるを自覺せしむるの方策を採り、漁民をして其の精神的安定を得しむるを肝要とす。

二 特に漁民に必要な經濟更生計畫の樹立

漁家更生の理想固より遠大なるを要すと雖、施設の實果を收めんには目標として明瞭なる事項を定むると共に、差當り漁民をして生活安定の最低基準線に達せしむるを肝要とす。此の觀點に立ちて漁村振興の目標を按ずるときは、之を收支の均衡、負債の根絶、備荒貯蓄に歸するを得べし。

收支の均衡 漁業は一般農業と異り、其の生産範圍は生活必需品の全般に亙らず、従つて生活必需品に對しては自己の收入に依り支辨せざるべからず。勢ひ金錢經濟に依る範圍大なるに至るに由り漁村の振興に關しては、特に支出を抑制して金錢收支の均衡を圖るを以て緊要

とす。固より農事、其他漁家の副業を獎勵し、以て自給自足の範圍の擴大を圖るの必要なるは論を俟たず。

負債の根絶 漁家に更生に關し本目標を必要とするは、一般農家に於けると何等異なる所なし。備荒貯蓄 漁業に於ける生産手段の根本要素たる漁船、漁具は天候の激變、其他の事故に依り、之等を毀損亡失し、或は漁場の變化、異動等に因り、一の漁業より他の漁業に轉換を餘儀なくせられ、新に建造調製を要する場合なきを保し難きのみならず、常態に於ても漁船、漁具の生命には自ら其の限度あるを以て、漁民は如何なる場合に於ても常に一漁業を新に仕立て得る貯蓄を必要とす。之漁業の本質より招來せらるゝ特殊性にして、若し此の貯蓄なからんか、其の生業は常に斷絶の危険に曝され、到底漁家をして生活安定の最底基準線に達せしむることを得ず。漁民の經濟的轉落の大部分が此の貯蓄なきに基因するは過去の事實の證明する所なり。故に各漁家に付可及的速に之を造成保持せしむるを肝要とす。

漁家更生計畫實施要綱

一 更生指導部落の擴充

昭和十年三月十三日附農林局長通牒農家更生計畫擴充に要する經費増加に關する件に依る

こと

二 現況調査

農家現況調査書は一般農家用のものに別紙様式のものを追加使用すること

三 更生計畫の樹立

計畫は凡そ左の各號を基調とし、各漁業の現狀に即し、徒に理想に偏せず、又性急に陥らず努めて理解容易にして、且實行可能のものたらしめ、序を逐ふて目標の向上擴充を圖ること

1. 成るべく収入に變動少き漁業を選び、之等の多角的組合せを適當にし、可及的閑漁の期間なからしむること

2. 漁家中耕地を有する者に對しては、農事改良を獎勵して半漁半農の實益を收めしめ、又容易に耕地を求め得べき者に對しては、可及的農事を獎勵して自給自足の範圍の擴大を圖ること

3. 副業を獎勵して餘剩勞力の消化を圖ること

(イ) 在來の副業に付其の適否を調査し適當なるものに付ては益之を獎勵すること

(ロ) 新規の副業は漁家の實情に應じ最適當なるものを選定すべきも、一般方針としては漁民の習熟せる漁獲物の製造、加工等水産に關係あるものを先とし其の實效を收めしむる

こと

4. 負債の整理に關しては漁業組合の貸付計畫と照應せしめ、又は金融組合其他と協議の上債權者と折衝し適當に計畫すること

5. 備荒貯蓄に付ては漁家毎に適當とする目標額を定め、一定率に依り委託販賣代金中より控除貯蓄する等確實なる方法を探ること

6. 漁家更生計畫書は別紙農家更生五年計畫書様式漁家用追加中水産關係記載心得六に依り記載のこと

7. 前各號に依り樹立したる計畫案は邑面農村振興委員會の諮問を経たる上、郡守又は島司の承認を受くること

四 指導機關

漁家の更生指導は専ら邑面之に當るを原則とするも、朝鮮に於ける漁業組合は既に沿岸に普及し、漁業者の大部分を其の組合員とし、概して堅實なる發達を遂げ實質上漁村經營の中心機關を形成しつゝある實情に鑑み、漁業組合の設立せられ居る地方に於ては當該漁業組合を漁村振興運動に参加せしめ、左記方法に依り邑面と相提携し漁家更生の指導に當らしむるを最有効適切なる方策と料す。

1. 漁業組合の地區内に於て比較的漁業者の多く居住する地域を選定して、之を主として漁業組合の擔當指導部落とすること、但し既に邑面に於て現況の調査並に更生計畫の樹立を終り指導を爲しつゝある部落にして、引續き邑面に於て指導を爲すを適當と認むるものは、漁業組合の指導すべき地域に入れざること

2. 漁業組合の指導すべき地域内に於ては假令漁業家に非ずと雖、更生指導を要するものは凡て漁業組合に於て之が指導に當ること

五 更生計畫の實行

計畫の承認を得たるときは邑面及漁業組合は密接なる連絡を保ち、且關係機關と協調して指導の周到を期すること

六 邑面農村振興委員會

邑面農村振興委員會には關係漁業組合の組合長及理事の中少くとも其の一人を加ふること

(昭和十年四月二日 政務總監通牒)

農山漁村振興關係官會同に於ける總督口演要旨

一 會同開催の趣旨及過去の努力に對する感謝

茲に全鮮農村振興關係者の會同を催して親しく各位の壯容に接し、聊か所懐を述ぶる機會を得ましたことは私の寔に欣快に存する次第であります。

願れば昭和七年五月農山漁村以下單に農村と稱すの振興、自力更生の運動を提唱しまして以來早くも茲に三年の歳月を閲したのであります。前回の各位の會同は恰も此の事業創始の際でありまして専ら主力を趣旨の周知と氣運の作興に注ぎ、所謂空氣の醗酵に勉めましたので、未だ一般に仕事の實態には觸るゝに至らなかつたのであります。

然るに其の後朝野識者の絶大なる協贊支援と指導關係者の幾多の體驗と努力とを積んで、該事業は今日では一大躍進を遂げ、無學の細民に至る迄其の趣旨を會得し、彼の更生計畫書を示せば頑是なき童兒と雖、尙能く一家生計の爲に必要なことを知り、老幼婦女子迄も舉げて勤勞能く自家の更生に精進するの美風を馴致するに至りましたことは、就任以來私の希望し憧憬して已まなかつた農村の眞の姿であり、又統治の一目標でありましたが、今日現實に此の姿を見て誠に感慨無量であります。

然しながら靜に此の事業の將來を遠觀致しまするに、今日は僅に實行の第一步を踏み出したに過ぎない、夫れが立派に出來上るや否やは懸つて今後に遺されたる問題であります。而も前途には是迄よりも尙一層幾多の困難と之に打勝つべき努力とを緊要とするものでありまして、各

位今後の御辛勞は實に想察に餘りあるものであります。乍併之に依つて眞に半島更生の大業を成就し、國家の當面せる難局を打開し、日韓併合の御聖旨に副ひ奉ることを得まするならば、吾人は須く欣然勇躍此の苦難に當るべきであり、又斯の如き時機に半島に職を奉ずるを以て光榮とし且誇とするものであります。依つて茲に再び各位の會同を求めて此の曠古の大事業の完成に向つて關係者皆其の心境を一にし、相率る相携へて倒るゝも尙歇まざるの意氣を以て邁進せんとする私の念願微衷をこゝに披瀝して、各位の猛省を煩はさんと欲するものであります。各位御承知の通り此の事業開始以來幾何ならずして澎湃として半島の山野に漲つた振興の氣運、運動の進展は共に朝鮮統治史上未だ曾て見ざるの偉觀であります。之れ實に官民互に和衷協同し、指導者は其の分野、所屬を超越して欣然此の事業の傘下に協力し、一齊奮起し健闘したことが今日の結果を收め得たのでありまして、其の間各位は道の中樞に在つて能く長官を輔佐し、或は指導第一線の要位に立つて上司の意圖を遵行し、終始一貫倦むことなく、一絲亂れず、半島農村の窮乏に深甚なる理解と同情とを以て之が匡救打開に精進せられたることは私の常に衷心より感謝せる所であります。而も今又咫尺の間に各位を迎へ、過し日の苦闘を追懐し、更に前途の多難と勞苦に想到するに及んで感激一層深きものがあります。就ては茲に會同の劈頭各位に對し、又各位を通じて幾萬の指導關係者に對し、心から既往を感謝し、將來に期待して已まざる

ことを申述ぶる次第であります。

二 世界の趨勢と帝國の地位

情々世界各國の情勢を見まするに前回の會同の際申述べ置きたる如く相競ふて難局の打開、國力の恢復に没頭して居りますけれども、端的に評せば思想に、政治に、經濟に、外交に今日尙依然として不安の域を脱し得ずして焦燥煩悶而も暗闘明争を重ねて居ると申すべきであります。然るに靜に帝國自體の姿を見ますに矢張世界不安の波瀾に搖られ、動搖の影響を蒙りつゝありますけれども國際的に於ては聯盟の脱退、華府條約の廢棄通告等、斷乎たる決意と周匝なる準備の下に最後の行くべき所にまで到達して居り、所謂窮して通ずる底の光明ある境地にありとも考へ得るのであります。其の他善隣滿洲の國礎は日に月に鞏きを加へ、滿露間に於ける北鐵交渉は成立し、永く緊張せし日支間の關係は漸次好轉の兆き示せる等、國歩多事多難の裡にも尙他の諸國に比すれば、より惠まれたる多くの條件を認め得るのであります。

將又各國の目下一般に惱みつゝある思想經濟の方面に於ても、帝國獨特の精華は漸次に其の光彩を放ち、且多年に亙り蘊蓄せられたる實力は近時著しく其の眞價を現はすに至りまして、他の諸國に比し帝國の事態は格段に明朗化して居ります。即ち一兩年來國民の著しき自覺により

て思想は次第に穩健中正の軌道に復歸しつつあるのみならず、經濟界の趨向も國民不撓の奮闘に依り、難關を打開して好轉の氣運を辿りつゝあるのであります。約言すれば日本は他邦に比して凡ゆる點に於て若干優越且仕合せなる境遇に置かれて居るのである。然るに帝國の此の勃興の氣勢、新進の銳氣、天與の惠澤は自然他邦の嫉妬を招き排擠を受け、一步を誤らば其處に禍根が包藏せられ、危機が醞釀さるべきことなしとしませぬ。故に吾人は在り得べき斯の如き變態をも豫期して舉國的決意によりて之を凌駕すべく遺漏なき準備を整へ置かねばならぬのであります。先年來吾人が渾身の精根を傾注し來れる朝鮮更生の運動は、此の國家的の決意と準備を具體化する神聖なる一の作業であると云ふことを篤と腦裡に御收めを願ひます。

三 帝國に於ける朝鮮の眞價

抑朝鮮が帝國の國力充實の爲に果して如何なる貢獻を致し、又如何様な役目に當り得るか、に付考察しまするに、今や萬般に互り飽滿に近き状態にある内地に比較すれば、朝鮮は經濟的には全く處女地であり、又心田の未開地であるとも謂ひ得るのであります。所謂農業は原始的に近くして未だ粗笨の域を脱せず、従つて集約、多角の經營に依り收量の増加、品種の改善等多くの餘地が残され、又餘剩勞力の利用、消化に依つて副業への進出も頗る容易である。即ち農山漁村に於

ける各般の業態は一として開發の餘地、増殖の餘裕が多分に残されて居らぬものはないのであります。殊に緬羊の飼育、棉作及特殊の鑛産等に至つては、朝鮮が大に誇り得る天恵又は遺利でありまして、經濟上極めて重要な地位に在るのであります。其の他北鮮地方を初め近く滿洲にも廣く未墾の農耕適地を控へて居り、而も地理的にも文化的にも裕に進出の可能性を有して居ります。又他面商工業は未だ覆育搖籃の時代を脱せずとは申せ正に發展の域に入らんとし、各種企業の素地と、内外需給關係から見て其の將來は實に矚目に値するものがあると思ひます。斯く何れの角度から觀ましても内地のそれに比べて遙に前途は有望であり、又發達の餘地のあるものゝみであると申しても敢て過言ではありませぬ。而も文化に著しく遅れて居ると申すものゝ御承知の如く民情は一般に素朴、從順にして精神的に純化し易く、心的にも今や正に何物かを求めつゝあるの状態に在るのであります。然り而して現に民衆には髓に自覺自奮の念を生じつゝありますから、藉すに相當の歲月を以てせば朝鮮の精神的向上及物質的發展は實に刮目すべきものあるべしと思はれます。

斯く觀じ來れば朝鮮の物心兩面の更生の遲速は、帝國々運の前途に影響する所頗る大にして、現に當面せる難局打開の成否にも至大の關係ありと斷言して憚らない。換言すれば朝鮮の將來は御國の前途に大に寄與し貢獻し得る立場にあり、又斯くせざる可からずと考へて居ります。

四 農本思想と振興事業の徹底

近時朝鮮内に於ける各種工業勃興の機運を見て、一部識者間には農本朝鮮も既に行詰りを生じたから漸次工業本位に轉ぜねばならぬと唱道して居る向もありますが、斯かる所説は猶ほ十分の検討を要するものであります。成る程兩三年前迄の如く農道に理解を缺き、農業の本性に疎く、單純懶惰なる營農法に甘んじ居る状態にありては、農業に見切りを付ける様な考を起すも無理からぬと存じますが、今日では民衆も農道の本義を辨へ、農業の特殊性を理解して多角的營農に移り更に穀物以外に養蠶畜産及び棉作、亞麻、甜菜の栽培等も發達して來ましたから、其組合せ宜しきを得れば農本主義を以て採算的にも立派に立ち行く可き見込も付いて居るのである。併しながら可耕地面積の人口比が内地の夫れに比しては有利なるも尙過多なるを免れませぬから、更に民衆により幸福なる生活をなさしめんとするには、人口の幾分は素より工業に又は商業に轉化進出せしむるの要もあり、國外に發展せしむることも肝要であります。畢竟するに一國又は一地方として多元的多角的に産業を發達せしむることは、其の國又は其の地方の堅實なる發展を期する爲必要でありますけれども、而も其の間にも尙最も重きを置くべき確たる中心の存在が緊要であります。斯様の見地に立脚して、今やぬかりなく措置を講じ施設を進めて居

りますから、各位は此種の世説に惑はさるゝことなく各種の機會に指示し居る精神趣旨を體せられ、專念農本思想の大旆下に振興事業に邁進せらるゝことを望みます。夫れが眞に半島を更生せしめ、純朴なる國民性を維持し、朝鮮民衆の康寧を永久に確保する要道であります。

各位御承知の某國の如きは往時は農業本位の國でありしものが資本主義の發達、機械技術の進歩に伴ひ漸次工業本位と化し、世界多くの未開發進の國々に對して飛躍を試み大に國富を増殖して一世紀以上を通じ全世界を睥睨し得るの全盛を極めて居りしものが、近年に至り舊來の得意先であつた未開發進の國々も産業的に進歩して自給自足の地位を築き、或は競争の對手として進出するに至りましたから、今日では工業立國の根本に龜裂、破綻を生ぜんとし苦惱して居る有様になつて居ります。斯の如く吾人の眼前に展開しつゝある生きたる事實は、御互に十分他山の石として考慮せねばならぬことと存じます。

五 農村振興の回顧と將來の展望

今や此事業は實施以來三年の歲月を経て指導者、農家共に追々と其の修練を積み、謂はゞ互に其の骨を覺え込んで總てを加速度的に而も效果的に運ぶやうになりつゝあるものであります。殊に事業の中核を成す農家更生計畫の實行に於て其の然るを見るのであります。

茲に昭和八年度の實績に就て見ましても更生第一步の出來榮としては十分満足し得らるゝものでありまして農家指導者共に此等の體驗を通じて多大の自信を得、而も指導者が之に依り農家の實情に付多大の認識を深むるに至つたことは獨り更生事業の今後の指導に効果あるのみならず、一般行政の進歩にも寄與することの少からざるを信ずるものであります。

斯くて農民は温き指導の手に育まれ窮乏の境遇を脱して、漸次に生活の安定を得、更に一步を進めて生活向上の過程を踏んで個人としての完成に到達せねばならぬのであります。之が爲に一面に於て此事業をより一層促進し、強化し、夫れを効果的ならしむるに必要なる制度施設の創始、擴充、中堅人物の養成等凡ゆる有效なる方策を執るべきは勿論、更に此事業をして民衆の自治自律の力に委すべき協同體の組織を整備して、其の活動を促し以て個人の完成と相俟つて團體の自治的習熟を積み、所謂個人としても自治體としても内地のそれに遜色なからしめん事を期して朝鮮統治の理想を具體化せねばならぬのであります。

此の統治の理想を實現すべき第一期の基礎工作として本年初頭に於て先づ以て農民大衆の生活の安定を圖る爲、昭和十年度以降概ね十箇年を期して全面的に更生部落擴充の方針を定めましたのは御承知の通りである。即ち茲に名實共に此事業の普遍性と恒久性が確立するに至つた次第であります。

六 振興事業の指導統制の要領

振興事業は御承知の通り地方の現状と行政組織の系統より見て、多くの場合郡島當局が其の中心とならなければならぬのでありまして、自然郡守、島司等は指導第一線の總帥として重要な責任を擔當することになります。

而して之を内部的に觀れば、廳内多數の産業技術員を先づ統制し、各其の分擔する機能を同一目的に向つて綜合集中して最大能率を發揮せしむることが其の第一歩でありまして、更に外部的には郡島、邑面の農村振興委員會を活用して、あらゆる指導關係者相互間の連絡統制を圖つて寸毫の隙間もなく些少の無駄も生ぜぬ様指導して行くことが肝要である。

乍併此のことたるや謂ふは易けれども行ふことは頗る難事であります。只不斷の研究と周到なる工夫と熱誠なる努力とは克く此の難事に打勝ち得ると信じます。

情々思ひますに凡そ行政の局に當る者にして民情を精察し、私心を捨て愛民の純情に燃え所期の目的に向つて一致協力する程偉大な力を發揮するものはないと存じます。「五指之交彈不如一舉擊」と謂ふ古人の語は味ふべきであります。此の意味に於て現にあるゆる公私の指導關係者が渾然一體となりて同一目的に向つて協同戮力しつゝある有様は、正に朝鮮獨特の姿であり

又一つの大きな誇りであると考へるのであります。どうか此の誇りを益高め其の姿を愈々整へて永久のものたらしめられんことを望みます。却説今後既定方針に依りて更生部落の全面的擴充を實施するに當りましては、従前に較べて著しく部落數を増加致しますが故に限りある指導關係者のみにては到底萬全を期し難いと存じますから、出来る丈に速に之を農民自體の働きに移して行くやうに啓導助長するの必要があるのであります。斯くの如きことは素より一朝一夕では成立ちませんけれども夫れが究極の目的でありますから、丁度頑是ない幼兒を育てる際に這へば立て、立てば歩めと申す親心同様の心掛を以て指導もなし督勵も行ひて速かに自治自律の民たらしむることに切々配意努力せられねばならぬ。而して夫れを一層效果的ならしむる爲に部落を背負つて健闘すべき中堅人物の養成や、婦人の内助的活動を促進することの必要なるは言を俟たざるところであります。

七 思想の醇化と心田開發

以上申し上げた所と各種の機會に述べ來りし話等に依りまして、農村更生事業に付ての私の意圖は大様各位の御了解を得たことと存じますが、此の事業に有終の美を齎さしめんには物質上の安定充實を圖ると同時に、特に精神上の振作向上に力を致すの切要なるを痛感するのであり

ます。即ち一般民衆をして健全なる信仰心を喚起し、之を培養し、動もすれば乾燥無味に陥り、或は荒み勝ちにならんとする民衆の心田に潤ひを加へ、喜んで業を勵み生を樂むの傾向に導き所謂物心兩方面より安心立命の境地に達し物心一如の妙域に入らしめんことを望んで已まざるものであります。振興事業開始以來靜に其の動きを觀まするに從來容易に革め得なかつた幾多の弊習が日を逐ふて矯正せられ、一般思想も亦此の趨向に伴つて次第に醇化せられつゝあつて、今や此の事業は細農經濟の更生のみに止まらずして、之に直接間接に關係を有する部落内の有産有識の階級をも廣く其の圈内に包容して、結局半島に於ける思想界の動向をも支配するに至るべき情勢に進展しつゝある所であります。吾人は須らく此の好機を速せず經濟更生と並行若くは夫れに先行して、授くるに心田の開發を以てして、一新生面打開し、之を振興事業内に組織化し、融化しまするならば社會連帶の思想や貧富智愚相補ふの美俗は期せずして培はれ半島樂園化への途は坦々として開け來るのではないかと思ふのであります。

申す迄もなく東洋の文化や道義は儒教と佛教とに由來する所尠くないのであります。時代は風潮に禍せられて半島は不幸にして、今や形骸の外に精神の多くの留めず、殆ど時勢の推移と交渉を缺くに至つたのは洵に遺憾と申さねばなりません。抑も人間の生活には形而上の權威を渴仰して己を高めんとするの自然性が潜在して居るのであります。此の精神生活の一面があ

るがために人は他の動物と區別され、理想と幸福とを追求し得るのであります。此の人間性本然の機微に觸れ、信仰教化の道を農村振興事業の雰圍氣裡に醸成するの方途を講じますことは、畢竟佛を造つて魂を入れる所以でありまして、最も肝腎な要點であることを諒解され、どうか此の方面への進出に一層の工夫を遂げ、格段の努力を拂はれたいのであります。

八 結 言

之を要するに政治は本來道德を以て一貫すべきものでありまして、力は只其の方便に過ぎないのであります。官の民を視ること恰も傷むが如く、之を憐み、之を哺育する心情に徹し、終始孜孜仁政を以て臨みますならば、民衆は期せずして官邊に親しみ、之を謳歌し、之に悦服し、所謂治國安民が實現するのであります。農村振興事業に於ける更生計畫の指導は農民の戸々に對し理解と同情とを以てする誠意純情に出發して、一事一物の上にも能く、克く彼等を納得させて指導し行くだけの深き用意と親切が伴はねばならぬのでありまして、更生計畫の指導は茲迄行くことに依つて大成せらるゝのであります。而も此の事業の遂行には法規の拘束もなければ慣習の羈絆もなく、働きの新天地、仕事の處女地でありまして、創作自在、開拓自由である。只信念と熱誠と識量だにあらだ指導の局に當る者として之れ位自由に活動の出来る境地はなく又之れ

位悠久の生命のある仕事はないのでありまして、經綸を行はんとする者の再び求め得られざる實に千載一遇の好機であると思ひます。

されば行住座臥、沒我の精神に立つて犠牲奉公、粉骨碎身、粒々たる辛苦經營は之を自己の本分と心得、斷じて形式や表面の粉飾に陥ることなく、花も實も之を悉く後人に譲るだけの雅量と奥床しき心情と靜に急げの心掛とを以て終始するの覺悟を要するのであります。斯くしてこそ眞の吏道の精華でありまして、農家も爲に奮起し、自家の更生に最善の努力を拂ふに至るのであります。馳て來るべき全半島更生の歡喜は之れ全く指導者の永久不滅の功績となるのであります。して、私も亦他日其の喜びを萬衆と共に頌たんとするものであります。

どうか私の此の切々たる微衷を御諒承下さいまして、各位は一層健康に留意せられ、懸命の御努力あらんことを切望して已まない次第であります。どうかしつかり御遣り下さるやうにお頼みを致して置きます。これで私の話を終ります。

(昭和十年四月 宇垣總督)

全鮮農山漁村振興關係官會同に於ける

政務總監演述要旨

一昨日から總督閣下の御訓示竝に各講師の講演をお聴きになりました。諸君は既に十分農村振興運動に關しては御諒解になつてゐることゝ存するのであります。従つて私より蛇足を加ふるの必要は感じませんが、更に一層諸君のこの運動に關する認識を深めて頂きたいといふ意味に於きまして、多少重複は致しますが、私の所見を申し上げて御参考に供したいと存じます。

世界の狀勢

御承知の通り、歐洲大戦争の後に於きまして、世界各國は國力恢復と世界の平和を要望し努力したにも拘らず、今日尙非常なる不安を感じてゐるのであります。各國は先づ第一に國際間の平和を求めたい、國際間の協調を圖りたいといふことで、非常な努力を致して参つたのであります。講和條約の後に於きまして、或は國際聯盟を設ける、或は主要國間に於て經濟會議を開く、或は軍備の制限又は縮小に關する會議を開くなど、各般の施設を致しまして、國際間の永久の平和を求めんと致したのであります。併しながらこれらの總ての協商協議は十分なる目的を達するこゝとが出来ず、既に大戦後十數年を経過致しました今日に於きまして、依然として國際間の協調は十分に保たれないで、お互に不安を感じてゐるといふ實情であります。而して尙又各國の國內の狀況に付て見ましても、先づ經濟上、財政上に於きまして、非常なる不安を感じてゐるのであ

ります。所謂十九世紀の機械文明が非常な發達を致しました結果、生産過剰を生じ、物價は下落し、財界は一般に不景氣を來し、非常に疲弊致して参つてゐるのであります。又一面に於きましては所謂資本主義經濟機構に對する疑惑が生じ、從來の經濟機構が段々と崩壊せんとする危機に立ち至つたのであります。

彼是致しまして從來の經濟原則と云ふものも自然に變らなければならぬ、或は金本位制：貨幣制度の原則なるかに見えましたが、金本位制さへも段々と各國に採用せられないので、これを轉換しなければならぬ自由貿易から保護政策へ、又自給自足のブロック經濟へと云ふ様な經濟状態を生じて参つたのであります。生産過剰の結果物價が下落する、生産を制限する、失業者が起る。消費が減退する、生活は困難になるといふ風に、國民生活が何れの國に於ても非常に困難を感じて参つたのであります。アメリカの如き殆ど黄金國とも稱せられた國に於きましても、國民の生活は甚しく不安を感じるといふ狀況に立ち至つてゐるのであります。

復興再建の氣運

斯様に外交方面に於きましても、或は財政經濟方面に於きましても、又國民の一般の生活に於きましても、非常な不安が伴ふ。従つて思想上に於きましても著しく動搖を來したのであります。

これでは世界の將來はどういふ風になつて行くか、各國民の將來の生活は如何になるかといふ不安が世界各國の國民の上に襲ひ來つたのであります。こゝに於て世界各國、これではどうにもならない、何とかこの局面を打開しなければならぬといふ所から各種の施設各種の運動が各國に擡頭致してをる狀況であります。御承知の通りロシアは所謂産業五箇年計畫を立てまして、既に第一次の計畫を完了して、第二次の計畫に這入つてをるのであります。又アメリカは所謂産業復興法といふ法律を發布しまして、政府に非常なる權力を與へ、その權力に依つてアメリカの産業復興を計らんと致してをるのであります。その他フランスにしても、或はドイツにしても、イギリスにしても、各國が各様の苦しみに陥り、而して同様に復興運動、再建運動に邁進しつつある狀況であります。支那に於きましても、蔣介石は所謂新生活運動を起しまして、支那民衆の覺醒を促し、支那の將來の躍進に向つて第一步を踏出さんとしつゝある狀況であります。斯様に世界の各國が過去十數年に亙り、不安から所謂懷疑の時代に這入り、その懷疑より更に再建の運動に取掛つてをるといふのが、今日の世界各國の情勢であります。而してこの情勢を轉換するのにどうしても強い政治の力には依らなければならぬ、今迄の如き弱い政治ではいかぬ。非常に強い政治に依つてこの局面を建直さなければならぬといふ所から致しまして、或はイタリーの如き、或はドイツの如き非常なる一種の專制的獨裁的の強力政治を布かうといふ方に局

面が展開して參つたのであります。所謂自由主義よりファツシズムへといふ傾向が今日の世界的の政治的の傾向であります。これは要するに今日の如き國際間の不安並に國內に於ける不安を打開するのには、どうしても強い政治的の力に依らなければ相成らぬといふ所から斯様な傾向が生じたのであります。統制經濟計畫經濟と云ふことも茲から發するのであります。これが概括して世界の今日の情勢であります。所謂不安から懷疑へ、懷疑から更に再建復活の運動に向つて參つてをるのであります。

朝鮮の過去及現在

然らば我が朝鮮はどういふ狀況に在るかを考へて見まするならば、申す迄もなく朝鮮は十九世紀の末葉から二十世紀にかけまして、殆ど睡眠の狀態にあつたと申すことが出来るのであります。その爲に朝鮮の文化産業總てが非常に遅れてをるのであります。私は決して朝鮮が衰へた、或は朝鮮に力がないと考へるのでなくして、朝鮮が約半世紀の間殆ど睡眠の狀態にをつた、それが爲に世界の文化産業から著しく遅れたと考へるのであります。併しながら斯様な睡眠狀態は過去二十年前に覺醒されまして、所謂日韓の併合が出來、總督政治が始まりまして、段々と覺醒致して參つたのであります。殊に最近の朝鮮は著るしく覺醒し、發展の跡を示しつつあるの

であります。一例を申しますれば本年度の總督府の財政は約三億に達してをるのであります。朝鮮始まつて以來の歴大なる豫算であります。斯様な歴大なる豫算は要するに朝鮮の發展を物語るものであります。尙又貿易額に致しましても前年度に於きましては九億八千萬圓、十億に垂とする狀況に立至つてをるのであります。これを十年前に較べますれば殆ど十倍に近き額に達してをると申しても過言ではないのであります。又教育方面に於きましては、最近に於きましては向學心が非常に横溢致しまして、兒童の就學歩合は非常に増加致したのであります。一昨年に於きましては一割八分近くであつたものが、昨年は二割三分になつてをるのであります。一年間に十萬人に就學兒童が増加するといふ風に、非常に進歩發達してをる跡を示してをります。又各位御承知の通り、各種の産業が各方面に鬱勃として起りつゝあるやうな狀況であります。斯様に最近の朝鮮は、文化教育、産業、交通貿易各方面に於きまして非常なる發展の跡を示しつゝあるのもこれ亦事實であります。

併しながら斯の如く發展は致しつゝありますが、具に朝鮮の内情に立入つて觀察致しますならば、各個人の生活は今日尙非常なる不安定にあるのであります。申す迄もなく今日尙春窮期に於きましては、食糧すら得ることの出来ない者が鮮内に多數を算するといふ狀況であります。文化に致しましてもまだ漸く學齡兒童の二割三分が就學するに過ぎない狀況であります。内

地に於ては、東北地方の農村の疲弊が今日著しく論議され、又これが救濟改善に付きまして、政府は或は民間と協力して、非常なる努力を致してをりますが、その東北地方に比較致しましても、朝鮮の農村は正に著しく遜色があるのであります。同じ國內に、文化の程度に於て、或は經濟の狀態に於て、非常なる格段なる差のあることは、同一の版圖内に於て喜ぶべき現象では決してないのであります。どうしてもこれは同等に導いて行くのが我々の任務であると考へるのであります。

振興運動の必要

世界各國の辿り來つた推移は朝鮮のそれとは異つて居るが而し現狀に即して見たならば大同小異である。而して世界各國は競ふて復興の運動に着手致してをるのであります。省みて朝鮮は今日非常に疲弊した狀況に在り、而も同じ版圖内の他の方面と較べまして、著しく遜色があるといふことになりますならば、どうしてもこれを出来るだけ早く處置して、我が朝鮮の發展を圖り、同一版圖内に於ける他の地方と同等に導き、又世界各國の趨勢に遅れないやうに努めることが、是非とも我々のお互にやらなければならぬ一大事業であると感ずるのであります。先程申します通り、ロシヤは既に着々として復興の緒に就きつゝある。支那も新生活運動に依りま

して、將に局面を一新せんと致しつゝあるのであります。又隣邦滿洲國は僅か建國以來三年であります。着々として發展の跡を示しつゝあるのであります。謂はゞ朝鮮よりも文化産業總て遅れてをると見做して居つた隣接せる各地方が、斯様な勢を以て發展しつゝある事實に鑑みまして、我が朝鮮はこれよりも尙率先して、一步先んじて、復興復活興隆の道を辿らなければならぬことは申す迄もないのであります。斯様な意味に於きまして、私は朝鮮の振興運動が今日最も必要である、この時期を逸したならば、世界各國隣邦、又國內の各地方に較べて、著るしく今日以上に段格の相違を生ずるのではないかといふことを恐るゝ者であります。

朝鮮の持つ力

然らば我が朝鮮はこれらの地方に匹敵し、相並んで歩み行くだけの力を持つてをるかと思へます時に、私は朝鮮は發展すべき素地を十分に持つてをると確信致す者であります。先程申します通り朝鮮は約半世紀の間眠つてをつた。併しながら過去に於きましては、燦然たる文化を持つてをつたのであります。朝鮮の歴史を緝く時に、古に於きましては、燦爛たる文化を以て輝いてをつたことを知るのであります。朝鮮の民族は其素質に於きましては、世界各國の民族に劣るものでは決してない、と確信致してをるのであります。又朝鮮が或は天候に恵まれてをる、或は

地の利を占めてをるといふ點に於きまして、他の地方に劣らないのであります。最近に於きましては朝鮮が色々な資源を地下に、或は地上に、或は沿海に有してをるといふことが認識されつゝあるのであります。これらの資源を開發するならば、朝鮮の産業の前途は誠に洋々たるものがあることが今日漸く理解され、各方面に認識されて參つたのであります。又朝鮮に於きましては非常に勞力が餘つてをる、この勞力を利用したならば、朝鮮の發展開發に資すること亦多大なるものがあるのであります。

振興運動の方途

斯様に朝鮮の素質を考へます時に、努力を加へますならば、朝鮮の開發に資すべき資源資力は十分にこれを備へてをるのであります。要は我々朝鮮に在任致してをります一般民衆が覺醒して總親和總努力の力に依つて、進むや否やに掛つてをるのであります。換言すれば我々の覺醒、一般民衆の覺醒に依つて、朝鮮の今後は左右せらるゝものと確信致すものであります。併しながら一般民衆が一人も残らず眞に自己の地位環境、力に目覺め發奮するのを待つことは到底百年河清を待つ如く困難なのであります。國民全部の覺醒を待つ場合に、先づ識者、中心人物、先覺者がこれを指導し、これを啓發することが必要なのであります。それには先づ我々官吏が率先

して範を垂れることが最も必要でありまして、私は敢て申し上げますが、今日の朝鮮の事情に於きましては、官吏官界に最も多くの優秀なる人があると確信致してをります。民間にも多数の優秀なる人がありますが、その數に於きまして、官界が最も多くの優秀なる人を網羅してをると申して宜からうと考へるのであります。即ち朝鮮に於ける識者先覺者は、官界に官吏として最も多く在職致してをるのであります。しかのみならず官吏は組織的な偉大なる、上は總督より下は面書記に至る迄系統を立てた大組織を持つてをるのであります。即ち統制ある組織を持つてをる。而してその管掌致します方面は文化産業交通經濟各部分を各々擔當致してをるのであります。即ち總ての事務總ての事業に従事致してをる一大國家組織であります。この組織の力に依つて、又その優秀なる人の力に依つて、朝鮮を導いて行くことでなくては、國民を覺醒せしめ、朝鮮の發展を圖ることは出來ない。この點に付きまして各位の十分なる自覺を促したいと思ふのであります。而して官吏が率先し、官民力を併せ國民を指導致しまして、こゝに復興運動、振興運動の一大機運を醸成することがこの運動の効果を收むる第一歩であります。而もこの運動は既に今日十分に醸成致されてをると信じてをるのであります。

斯様な氣運を醸成致しますと共に、一面に於きましては所謂道は近きに在り、機會はその來る時に捉へなければならぬ。即ち今の時に於て容易なりと思ふ點から段々と遠きに進んで行く方

法を採るべきであります。高遠なる理論よりも、現實の事實に立脚致しまして、一步一步とこの振興運動を具體化して行くことでなければならぬのであります。諸君が豫て努力致して居られます。所謂卵から鶏になり、豚になり、牛になり、土地になり、遂に自作農になるといふ言葉があり、又その事實がありますが、斯様に容易にして近き點より段々と理想に向つて進む點に着眼致させなければならぬのであります。尙又往々にして形式を排斥する者があります。併しながら人智の未だ十分開發せられない地方に於きましては、形より段々と精神に進んで行くことも必要であります。これも易きより段々と難きに進むといふ方法であります。例へて申しますれば、國旗を掲揚することは一つの形式でありますが、その國旗の掲揚に依つて、段々と皇國精神、或は日本精神を涵養して行くことは、これ卑近なるが如くして非常なる意義を有するのであります。朝鮮神宮に參拜して、神前にぬかづくことは、眞に神を理解せず、敬神崇祖の念なき者におきましては一つの形式でありますが、その形が段々と精神を感化して行く力は實に偉大なるものがあるのであります。形と雖これを疎にしないで、これから精神生活に至らしめる、易より難に入る、正に道は近きに在りであります。

斯様な方法に依りまして、この機運に乗じてこの運動を段々と深めて行くことに注意を要するのであります。先程蔣介石の支那の新生活運動に付きまして申上げました。その蔣介石が新

生活運動を提唱するに當りまして、宣言を致してをるのでありますが、その中に斯様な一節があるのであります。「ドイツも一つの國家である、我が中國も一つの國家である。ドイツは歐洲大戦に惨敗してその後を承けてをつたのであるが、併しながら既によく復興し來つて更生の意氣に燃えてをる。今日の勢は既に世界列強と肩を並べんと致してをる。然るに我が中國は依然として不平等條約の下に恥を忍ばなければならぬといふことは何故であるか。それは國民道徳、國民の智的能力が世界各國の民族に及ばぬからである。衣食住行の禮儀廉恥に合致せないからである。先づ日本人の如く冷水を以て顔を洗へ、これを小さいことと考ふるならば、それは我々が日本人に勝ることの出來ない所以である。日本人には尙一つの習慣がある。即ち普通一般の人は毎日必ず冷飯を食ふ。この日本人が一日に一廻は必ず冷飯を食ふことが基本的な軍事教練である。斯うした小さいことが日本に於ける偉大なる軍事教練の基礎を爲してをるのである。斯くして日本國民は日常の生活に於て既に早くより軍事化してをるのである。」と申してをるのであります。而して最後に「一切の知識階級は直ちに立つて一大決心を以て新生活運動に参加しなければならぬ。それには先づ自分から奮起し、自分の身を以て範を垂れ、部下を教導督勵し、親戚朋友一般國民に普及せよ」と喝破致してをるのであります。

私が先程申したことも要するにこれでありませう。我々が先づ率先して範を垂れ、さうして我々

の手近に在る家族より朋友隣人へと段々一般に及ぼして國民を指導して行くことに努めなければ相成らぬと存するのであります。誠に今日のこの振興運動は朝鮮の將來を卜する一つの試金石であると存じますが、而もこの運動たるや、決して失敗はないのであります。お互が努力するならば努力するだけの効果が必ず現はれて來る。十分なる効果が現れなかつたならば、それは即ち取りも直さず我々の努力が足りない結果であります。斯の如き一つの運動にして、決して失敗することは無い。努力すれば必ず成功し、努力するだけの効果は舉ると考へられますならば、我々は敢然として努力致し、効果を擧げなければならぬ。擧げざれば我々の罪である。効果が擧るならば我々が責務を全うしたものであり、又この運動の功勞者たる名譽を擔うものであると確信致すのであります。而してこの運動は必ず成功するといふ信念を以て努力して行きます時に、この運動が恒久性を持つて來る。恒久性を持つて來るならば、この運動が習性となり、國民性となつて、遂に堅實な確乎不拔な基礎がそこに出來上ると思ふのであります。

振興運動の基本的概念

而して次に私はこの運動を進めて行くに付きまして、お互が、又一般民衆が固く保持しなければならぬ基本的觀念に付て一言申上げて見たいと存じます。總て先程申しましたやうに、道は近

きより、た易きより入ると申しますが、而も尙且つ斯様な國民的大運動には、その前途に掲ぐる非常に大きな理想がなくてはならないのであります。理想がない時にその運動は遂に墮落する、到底十分なる目的を達することは出来ない。總て我々個人は生活の理想を持つてゐなければならぬと同じやうに、その運動に對しても一つの大きな理想を考へなければならぬ。併しながらその理想はむつかしいものではない。所謂國家の興隆、民族の幸福であります。又日韓合併の御詔書にありましたやうに、東洋永遠の平和といふことが、この朝鮮に掛つて重大なる關係を持つてゐるのであります。而して國家の興隆、民族の幸福、東洋永遠の平和はこの運動に依つて初めて十分なる目的を達し得る。この運動の目的理想は即ちそこにあるのであります。要するに人類愛、所謂滿洲國に今日唱へられてゐる王道政治に依つて、東洋の平和は即ち世界各國の平和を導く。朝鮮民衆の幸福は、朝鮮民衆だけの幸福に非ずして、その隣邦、延いては世界に及ぶのであります。この運動は一面に於きましては高遠なる理想を持つてゐる。その理想を自覺して進む、而してこの運動は決して失敗するのではないといふ確信を持つて進むことが必要であります。これが先づお互の持つてゐなければならぬ基本的觀念の一つであります。次に、我々は勿論、一般民衆は人生に對する觀念、所謂確乎たる人生觀を持つてゐることが必要であります。哲學的に考へる時に、或は宗教的に考へる時に、人生觀は非常にむつかしいもので

ありませうが、併しながら人間はどうしなければならぬものである、どういふ風に進んで行くべきものであるといふ信念がなかつたならば、所謂醉生夢死に終るのであります。私は人生觀に付きましては、この前のこの會同に於てお話を致したのであります。即ち人の理想は平和と健康と努力とである。人生の最大の幸福は、お互が健康であり、十分働き、仲良くして行くこと、三つを出でないと申し得るのであります。詳しくは今日は申上げませぬが、斯様な人生觀、これ亦極めて平易な、何でもないものであります。少くとも斯の如き確乎たる人生觀に立脚して、總ての事柄を進めて行くのでなければ、迷ひが生じ、情氣が生じ、遂に成功することは出来ないことに相成るのであります。

次にはこの運動の對象である農山漁村の本質を十分に究めなければならぬのであります。この點に付きましては、或は山崎先生、或は八尋講師より十分なる御説明があつたと思ひますが、農村、山村、漁村の特質、本質を十分に見究めましてそれに合致して初めてその運動が所謂合理的になり、實際化し、具體的に生きて參るのであります。農村の本質に付きましては、私はこの前の講演に申上げたのであります。唯一點繰返して申上げたいことは、どうしても所謂自給自足を原則とせられなければ相成らぬ。これはアメリカの如き大農主義の國に於きましては、自給自足ではなくして、所謂市場に商品を送る、商品を生産するといふ意味で結構であります。朝鮮の如

き小農の地方に於きましては多角形の自給自足が原則でなければならぬ。農産物の價格が下落すれば、直ちに衣食住に窮するといふ状態であつたならば農村の安定は期し得られぬのであります。或はフランス、或はドイツ、或はスウェーデンの今日の農村の状況に見ましても、六部分を自給自足致して居ります地方は、今日世界的不景氣に遭遇致しましても何等生活の不安動搖を感じないのであります。朝鮮を夜汽車で通過致して見ますならば、殆ど家に電氣の光は見ることが出来ない。所謂農村は電化されてゐない。この状況を内地の或る人が見ましても、農村に燈を見ないので、これを農村の疲弊してゐる一つの現れとして擧げられたのであります。私はこれは非常に間違つてゐるといふことを申したのであります。フランスと言へば世界の文化の最も進んだ國、又現在に於ても文明國として見られてをりますが、フランスの農村には決して電氣は燈つてゐない、所謂農民は晨に星をいたゞいて夕に月を仰いで歸り夜は安息する、電氣を燈して電氣の料金を拂ふことは無駄である。總ては自給自足で行かなければならぬといふ見地から見ますれば、農村が電化することは何等必要ない。

これは一例であります。内地の農村が今日疲弊してゐるのは何故であるか、内地の農村には津々浦々にまで電氣が燈つてをりますが、非常に疲弊してゐる所以は、所謂貨幣經濟が農村の隅々まで入りまして、現金がなかつたならばその日の生活が出来ない状況になつてゐることが非常

に大なる原因と私は考へます。今日全然貨幣經濟から離脱することは困難であります。少くとも衣食住の大部分は農村に於きましては農村自體自らこれを供給し、自らこれを消費することとでなくては相成らぬと存するのであります。或は漁村に於きまして、或は山村に於きましては稍々事情を異にするのであります。漁村に於きまして單に漁獲を得これを販賣してこれに依て衣食の資を得るのみでなくして、半農半漁の形を取つて参りましたならば、漁村は今日非常に安定するものと考へるのであります。山村に於ても同様であります。要するに斯様に農村の實體を究め、その本質を明かにしその特色を發揮するやうに致さなければ相成らぬのであります。斯様な三つの點、先づこの運動の理想を十分に自覺し、又確乎たる人生觀に立脚し、而してその地方々々の實情に應じてこの運動を具體化したしする時に、この運動の生命が現はれて参るのであります。斯の如くにして初めてこの運動が生きて來て自分のものになつて來ると私は考へるのであります。

振興運動の目標

而してこの運動の目標を奈邊に置くかといふことではありますが、これは各位既に御承知の通り經濟的方面に於きまして所謂食糧の充實、現金收支の均衡、負債の整理、この比較的單純なる三つ

火は二分であります。即ち男子の犯罪に比して婦人の犯罪は放火、殺人が非常に多い。これは世界の各國にも見ない非常の特異な事實であります。斯様に壯年期に於て死亡率が非常に高く、婦人の犯罪、而も重大なる犯罪が多いことは何に原因するかと考へます時に、これは結婚制度の缺陷が重大なる原因であると思ふのであります。尙衣食住の關係もありますが、最も重大なる原因は結婚制度の缺陷、即ち早婚の弊が茲に現はれて斯様な重大なる結果を來たしてをるものと確信致してをるのであります。斯様に一つの習慣が民衆の生活の上に非常に重大な結果を來たすといふことよりして、竝に風俗習慣を先づ改善することが國民の興隆幸福の上に非常に必要であることに思ひ及ぶのであります。斯様な意味から考へまして生活の改善衣食住行各方面に向つての生活の改善が又最も必要である。どうしてもこれは致さなければならぬと存するのであります。

斯様な精神的方面、經濟的方面並に生活改善を致しますれば茲に初めて少くとも最少限度に於て一般民衆の生活の安定、精神的、物質的、生活の安定が得られるのであります。先づ最少限度の生活の安定を得て而して後漸次向上の途に進んで行くといふ順序で行かなくてはならぬ。今日の運動は先づ最少限度の生活の安定を得させたいことを目標として進んでをるのであります。

具體的實行方法

然らばその最少限度の生活の安定を得るこの運動の具體的の實行方法として如何にして行くべきや、その方法には三つあるのであります。第一は共同工作であります。各人が共同して共同の力に依つて實行して行くことであります。或は風俗習慣を改善する時は個々の力に俟つことは出来ないであります。部落、或は一郡、一道、全朝鮮が共同して風俗習慣を改善して行くことに努めなければならぬ。又生産販賣購買、或は信用其等の色々の施設に致しましても、共同の力に依つて致さなければならぬ。即ち法令の力に依つて、或は郷約の力に依つて或は申合せに依つてお互に共同して改善して行くといふ一つの方法であります。斯様な方法に依つてこの運動を具體化することが一つであります。もう一つは諸君が先年來努力致されてをります個々の農家の更生計畫であります。各戸々々の五箇年更生計畫を立てまして、その農家の更生を圖つて行くといふ個人本位に立つてこの運動を徹底せしむる方法であります。從來の行政に致しましても、或は教育に致しましても、總ての施設は多く共同の仕事であり、共同の指導獎勵に依つて行つたのであります。各戸に於ける農家更生施設が本運動の特色であり、又從來の行政と面目を異にした一大特色であります。行政の徹底化と申しますか、茲に至つて初めて行政

が臺所の隅まで徹底する。この運動が個々の細胞を先づ強くして而して社會全體の組織を鞏固にするといふ基本に觸れたものと私は考へてをるのであります。勿論これは非常に困難なことでありますが、又漸次數百萬の各農家に付きましたことを今日行ふことは非常に困難であります。次は所謂政府の助成であります。自力更生と申ししても自力で更生する力のない者、又更生する途を知らない者に對しましてはこれを助け、これを導かなければならぬ。それには總督府、各道郡面の方面に於ける助成指導が必要であります。各種の助成を致しましてこれを助けて行き、自力更生を容易ならしめる方法を我々は講じなければならぬのであります。

斯様に先づ政府が助成し、各地方で共同してやり、又個人は各個人で自力計畫を立て實行する、この三方面から進んで行きました。初めて茲にこの運動が全面的に效を奏して參るのであります。我々はこの運動を提唱致しまして以來既に相當の効果を收めてをりますが、特に各戸の更生計畫に非常なる困難を諸君は經驗せられたと思ひますが、この特色が加はつてこの計畫が初めて生きて行き、又健全なるものになつて來たものと考へますので、今年初頭各道知事を招集致しまして、この計畫の將來に於ける十箇年の全面的擴充計畫を樹立し、これが實行を各位に依頼した所以であります。これを行ひますのに今後非常なる困難を見ることは我々も覺悟致してをり

ますが、諸君に於きましても十分な覺悟決心を以て進んで貰ひたいのであります。

振興運動の機構

次は本運動の機構であります。本運動は斯かる目標を有つてをりますが、これが具體的の實行方法を如何にして行くやといふ一つの機構であります。即ちこの運動の組織、この運動の統制であります。これに付きましたは先程官吏の地位、官吏の組織に付て申しましたと同一なことに相成るのであります。即ち縦の統制に於きましては總督府より各面に至るまで一貫したる主義方針を以て進まなければならぬ。總督閣下の考が各戸の臺所の主婦の頭に迄傳はるといふ統制が付いてをらなければならぬ。又横に於きましては總督府で申しますれば各局、各課の間に十分なる連絡が出来、各道に於ては道廳各課の間に連絡が出来、府郡に於きましては各技術員及び係員の間に十分なる連絡が出来、農村に於きましては各戸の間に十分なる連絡、協調がとれ、所謂縦と横との組織が完備致さなければならぬ。その連絡が十分に出来、茲に一つの有機的の組織になりました。こゝ初めてこの運動に無駄を生ぜず、効果を十分に擧げること、相成るのであります。これは組織であります。併しながらその組織の中に於きまして活動するものは人間である。組織の妙もその人を得なければ十分に發揮することは出来ない、茲に於てか

先程申しました官吏が中心になり、中堅になるのであるが更に中堅人物が必要になるのであります。今日までに於きましては主として官吏が中心になつてをつた。併しながら今後全面的に擴充するに付きましては、少數の諸君、或は諸君の部下、或は面等の人ばかりでは到底全面的擴充計畫の實行は困難である。中堅人物を養成して、その中堅人物の力に依つてこれを全般に及ぼすといふことに致さなければならぬ。我々が今日以上にこの運動に對する信念と熱意を加ふると共に、又一面に於きましてはこれに當るべき人を養成してこれ等の人の力によつてこの運動を充實せしめて行くことに致さなければならぬのであります。

この場合に於きまして私は教育に付て一言申上げて置きますが、所謂中堅人物の養成、専門的人を養成することも必要であります。先程申しましたやうに各専門専門があり、その専門が統一歸一されて初めてこの運動の総合的效果があるのであります。所謂中堅人物は總ての方面に目を配る、所謂完成された人間でなければならぬのであります。その意味に於て私は教育は人物を完成することに主力を置いて行かなければならぬと思ふ。今日或は中學校を建て或は女學校を建て、機運が各方面に勃興して、向學熱が高まつてをりますが、これは非常に喜ぶべき現象と考へます。併しながら中學校を出て何をするか、女學校を出て何をするかと考へる時に中學校を出たならば、眞に中學校を出ただけの完全なる人間が出来なければならぬと思ふ。

これは獨り中學校のみならず、簡易學校、普通學校を出た時にも完成せられた人間が出来なければならぬ。然るに中學校を出るのは上の學校に行く準備である。小學校を出るのは中學校に行く準備である。總てが準備教育であると心得る所に、今日の教育の制度の缺陷があると思ふのであります。諸君は教育に付きましては斯の如き考を有つて、簡易學校に於きましても、普通學校に於きましてもその學校を出たならば、その人が農業に従事するといふならば農業に従事し得る完全なる人格を以てその學校を出て来るやうにしなければ相成らぬことと思ふのであります。殊に朝鮮の現状に於きましてはこの點が最も重要であります。中堅人物の養成に付きまして主としてこれをやつてをるのであります。中堅人物の養成をすれば、同じ考を有つて簡易學校に於きましても、普通學校に於きましても教育を致さなければならぬのであります。卒業生を指導してをりますが、卒業生指導の由來は、普通學校では準備教育だけやつてをるから、そこを卒業しただけでは亦十分でない、故に卒業生を指導して完全なる人間にするといふことであります。これより一步進んで小學校に於ても簡易學校に於ても完全なる人間にする。これも一般に實行することは容易ではありませんが、左様な氣持を以て教育を指導することに致さなければならぬ。中堅人物を我々が養成してをる。又諸君が養成する氣持を以て總ての教育を致して行くことが教育界の全般を通じて今日最も肝要なことと思ふのであります。内地

に教育の改善が今日叫ばれてをる。それは單に準備教育に主として主眼を置いて來たことが缺點であるといふのであります。この點は餘談であります。この點は餘談であります。この點は餘談であります。尙機構に付て一點申上げて置きたいことは各種の施設を致してをるその施設が農村振興農家の更生といふ一つの點に集中致さなければならぬことでもあります。養蠶の奨励或は養豚の奨励、棉の奨励色々の産業施設を致しその施設が單に蠶が澤山出來ればよい、棉が澤山出來ればよいといふのでなく、左様な産物を多くすることは要するに農家の更生を目途としたものである。總ての行政産業施設が農家更生といふ一點に目を置いてやらなければならぬ。これは先程も申しますやうに、從來は系統的の指導奨励だけやつた。従つて或種の事業が十分に成功すればそれで宜いといふ見地に立つて行政に與はる者が活動してをりましたが、今後に於きましてはそれを總て綜合致しましては農家更生の一點に集中して行くこととなければ相成らぬのであります。勿論各専門は必要であります。その専門が徹頭徹尾専門にならなくて、歸着する所は農家更生の點に着目致しまして、互に施設が連絡協調を保つ、端的に申しますれば一家の營農方法の中に織込まれて適當に按配せられることとなければ、この運動の效果は達せられないのであります。

斯様に各種の施設の目標を農家に集中し、歸一せしめ、それが農家の營農方法となつて現はれるやうに仕向けて行くのであります。往々にして自分の擔當する施設に熱中するの餘、これに背馳する事實が過去に於て相當あつたのであります。今後に於きましては是非斯ういふやうなことはないやうにしたいと思ふのであります。斯様な運動の組織統制が出來、従つてその中心となつて働く人物が出來、さうしてその活動が農家更生の一點に集中されるに至りまして、こゝに初めてこの運動が十分な作用をなすことに相成らうと存じますので、特に御注意を煩はしたいのであります。

尙この運動を實行致すに付きまして、各位は非常なる心勞を重ねておられる。經費も不十分であり、人手も不十分であり、非常に困難を感じてをられることは私共十分承知致してをるのであります。今年度以降に於きまして、或は人員の増加、或は經費の増加に付きましては、財政事情の許す限りに於きまして、出來るだけのことは致す積りであります。恐らく諸君の期待に十分副ふやうには出來兼ねるか、と存じますが、經費人員の不足の所は諸君の熱意努力に依りまして補はむことをこの機會に希望致して置きます。

過去に於ける実績

先づ大體この運動の必要目標、具體的の實行方法、機構等に付きまして申上げましたが、この場合

過去に於ける實績に付て一言費して御參考に供したいと存するのであります。所謂經濟的方面負債の整理、食糧の充實、現金收支の均衡に付きましては、昭和八年度の更生計畫實施部落の實績を統計に付て見まするに總てこの三つとも豫期以上の好成绩を収めてをるのであります。これに依りまして私は、この運動が未だ試験的時代でありましたに拘らず、非常なる成績を収めたことを見て、この運動が繼續され、更に熱意が加へられたならば、一層効果を擧げるといふ確信を持ち得るに至つたのであります。これは經濟的方面であります。但し、精神的方面に於きましては、先程も申しました勤勞好愛の精神が各方面に澎湃として起つて來た。或は生活改善、風俗習慣の改善が至る所で行はれてをるのであります。又官民が一體となり、官民融合し、内鮮が融和する點に於きましては、非常に面目を一新致して參つてをるのであります。皇國精神が段々と一般に普及して總督政治に對する正しき認識正しき批判をし得るに至つた。斯くの如く精神的方面に於きましては、この數年の間に非常なる進歩の跡を示してをるのであります。又犯罪に付きましては、その數が全道を通じまして至る所減少の傾向を呈してをるのであります。斯様に道徳的或は經濟的、政治的に見ましても、過去三箇年の運動の效果は十分な事績を示してをることが、我々がこの運動の效果を認め、將來の十年擴充計畫を立てた所以であります。即ちこゝに確信を得ましたが爲に、更に進んでこれを全面的に朝鮮全道に及ぼしたいと考へ、その實

行に着手した所以であります。これは過去の實績であります。然らばこの運動を助成し、容易ならしむる爲に、我々總督府は何を致したかに付きまして、項目だけを申上げて御參考に供したいと思ひます。

本運動助成諸施設

先程政府の助成が必要であると言ひましたが、本運動の主體は自力更生である。その自力更生を出來易いやうにしなければならぬ。自力更生に努めるならば、その効果が十分擧がるやうに仕向けることが、行政施設の根本でなくてはならぬ。どこ迄も依頼せずして自力を主にして更生するのであるが、働かんとすれば先づ働き得るやうにしなければならぬ。又働いたならば働いただけの結果が現れるやうにしなければならぬ。從來は働くに致しましても働くことが出來ない。働いても十分なる効果を收めることの出來ないといふやうな社會状態にあつたのであります。その社會状態を改めることが、我々政治行政の部門を擔當する者の任務であります。それに付て我々は如何なることを致しましたかと申しますならば、第一は、朝鮮に於ては土地が狭い、特に南鮮に於きましては十分なる耕地を得ることが出來ないのが一つの困難でありました。この困難を除去する爲に、十分ではありませぬが或は土地の改良擴張、干拓事業を着々と進

めて來たのであります。併しながら今日米穀政策の爲に一時新規事業を中止致しましたが、その代りなるべく人口過剰な地方から人を他の方面に送り出す、或は滿洲に移民をする、或は西北鮮に移動せしむることに依りまして、土地の緩和を圖り、又その他の方法に付きまして色々の施設を致し、今後も大規模な施設を致さんと考へてをるのであります。

次は農村負擔の軽減であります。これに付きましては御承知の通り地稅の減免を致したのであります。又小學校普通學校に於ける授業料を軽減する、或は學校費に對して補助金を増額致しまして、學校費の負擔を軽減する、或は今年度以降に於きまして水利組合の根本的救済をなす、或は低利資金を融通致しまして高利債を借替へ、高利の負擔を軽減する等、農村の負擔軽減に付きましても着々として實行致してをるのであります。又農家の經營を最も效果的にしたいといふことから、各種の産業の指導獎勵を致してをることは御承知の通りであります。尙又農地令を制定致しまして、小作權の確立に依りまして安心して營農に従事せしむるの素地を作り、或は自作農を創設し、或は農用林地を設け、或は小産業法人を設けて農村に於ける販賣、購買の合理化を圖るといふやうな色々の施設を致してをるのであります。特に農產物價に付きましては、所謂主要農產物たる米價對策、米穀の價格を適當に維持する點に於て：：これは獨り朝鮮の爲めのみではありませぬ。主として内地の爲めであります。中央政府に於ては、既に數億圓金を

費して、米穀を適當なる價格に維持し、これに依つて農村の疲弊を除去せんと努力致してをるのであります。

斯様に各農家の經營を最も效果的にするといふ施設も多々致してをるのであります。又農業教育に付きましても中堅人物の養成、或は教育の實際化に付きまして諸般の施設を致してをることは各位御承知の通りであります。風俗習慣の改善に付きましては豫て儀禮準則を制定致しまして冗費を省き、この點に各位の御努力を願つてをるのも御承知の通りであります。斯の如き農村疲弊の原因であります土地の少ないこと、或は小作の制度が適當でない點、或は高利債に苦しんでをる、或は營農法が完全でない、合理的でない、これ等色々の農山漁村更生の支障となるべきものを排除する、さうしてその効果を十分に擧げ得るやうに各般の施設を致して參つたのであります。尙今後に於きましてこの方面に施設致さなければならぬ事項が澤山あると存するのであります。それ等の點に付きましては鋭意本府に於きまして、或は各道に於きして、又諸君に於かれましても研究致されてをることゝ存じますが、この點に付きまして十分に諸君の意見を聽き、諸君と力を協せまして自力更生を提唱すると共に、助ける所は出来るだけ助けて行くといふ方面に付ても、諸君と共に今後十分なる施設を致して行きたいと存じてをる次第であります。

結 言

以上大體私の申し上げたいと思ふ點を申し上げたのであります。これを要しまするに既に本年は總督政治始つて以來二十五年になります。四半世紀を経過致したのであります。その二十年の間に於ける朝鮮統治の事績は申すまでもなく年々進歩致して參つてをりますが、併しながら今日までは漸くその準備工作が出来たといふ程度に過ぎないのであります。眞の朝鮮の躍進時代は來たるべき將來の二十五年に在り、その眞の本格的の躍進はこゝに第一步を印したものと考へるのであります。而してその第一步を印した所以のものは農山漁村振興の國民的大運動に依つて本格的に相成つたと確信致してをるのであります。併してこれ等の運動の試練は既に終つた、正に本格的の實行時代に入つたのであります。理論ではなくして實行である。而も實行の衝に當るべきは主として諸君であります。諸君の力に依つてこの民心涵養、國力充實の大運動の將來が卜されるのであります。どうか諸君はこの尊き運動の犠牲者として：：今日は尊き犠牲者であります。この運動が成功して後に於きましては光榮ある功勞者として、諸君がこの運動史上に、朝鮮の發達の歴史の上に足跡を印せられんことを切に希望して私の話を終ることに致します。

(昭和十年四月三十日 今井田政務總監)

農業補習學校及農民訓練所教育講習會に於ける總督訓示

私が總督南であります。親しく諸君の壯容に接して喜びに堪へませぬ。

今回農業補習學校校長農民訓練所長中には一名漁民訓練所長もお出でになり女子訓練所長も三名参加せられ、其の他の參列者を併せて百五十三名の多數の諸君と共に、一堂に會して茲に所懐の一端を述べますことは私の最も欣快とする所であります。

本府のへ考へてゐる所並に當事者の農村振興に對する希望等に就きましては、昨日來學務局長及農林局長より詳細に互つて適切なる指示がありました故に、諸君に於かれてはよく兩局長指示の趣旨を翫味して將來農村振興に對する實行上に十分織込まれんことを切望して置きます。農村振興計畫の擴充強化は地方青年の力に俟つ所頗る多いことは諸君の既に御承知の通りであります。従つて青年の教養擴充は最も大切な施設の急務であることを感ずるのであります。昭和十年以來十箇年を以て朝鮮七萬部落の各農家毎に更生計畫を樹てしめ且つ之を實行せし

め、多年に亙る窮乏と負債とより免れ一家經濟の收支を均衡せしめ以て民衆の生活を安定ならしむるは農村振興の根本目的であります。

抑も政治の要は精神生活の安定、物質生活の安定、此の二つの外にはありません。農村振興の出発點も亦此にある。農村の民心を常に克く緊張せしめ、克く勤勞せしめ、之を純正に導き以て物心兩方面の生活を安定せしむることが半島に於ける農村振興の根本趣旨であります。

本計畫は朝鮮に於ては曠古未曾有の劃期的大計畫でありまして、前任總督の卓越したる着意により其の心血を注いで努力せられたる事業でありますから、後任の私も亦深く此の趣旨に共鳴して有終の美を擧げること、に堅き決心を持ちました故に、曩に着任、勿々招集したる道知事會議に於ても此の趣旨を申述べ、朝鮮産業經濟調査會其他機會ある毎に私の趣旨の存する所を申述べて曠古未曾有の大切なる本施設の實行を半島民衆に要望しました次第であります。尙實行に際しては可成簡易なる方法により實際に則することを注意した次第であります。而して此の事業の根本精神は其の時々の都合に依つて彼此變更すべきに非ずして確乎不動の信念の下に久しきに亙り立てられたるものにして、其の實行は終始撓まず熱誠と努力とを以て最終の目的に向つて邁進し、遂には半島民衆に生活の安定を得せしめ、人心を平安ならしむるの彼岸に達せしめねばなりません。

本計畫の實行は今日まで未だ二年にならないのであります。其の結果に就き諸報告又は本府より親しく視察したる者の報告等を綜合して見ますと、善良なる素質、熱誠なる努力、周到なる注意を以て努力してゐる地方中堅青年の居る部落が振興の實績に於きまして、最も秀で、必ず良き成績を擧げてゐることを示してゐるのであります。従つて本事業の振否は地方中堅青年の資質の良否にありと申しても過言ではありません。かやうな次第でありますから、善良なる地方中堅青年を養成し、且つ之を擴充することは本事業振興の爲に、最も大切な事であり、又焦眉の急務であります。

本府に於ては此の優秀なる養成機關を擴大致すことに計畫を樹て、居ります。諸君に於かれては既に今日までの體驗に依つて優秀なる養成機關が有効なる成績を確實なしめる上に適切であることを十分御理解になつて居る次第であります。私も亦着任以來諸般の事項に照して諸君の倦まざる努力に依り逐次成績を擧げられつゝあることを確認し、諸君に對し其の勞を多とし、此の機會に感謝の意を表する次第であります。

朝鮮に於て最も大切なことは、其の大部分を占めて居ります所の農家各戸の自覺と之が素質の向上とに在ることは申すまでもないのであります。かゝるが故に歴代統理者及び各地に居られる諸君の先輩並に諸君は孰れも民衆の幸福を向上させる爲に最善の努力を盡されたの

であります。幾多の施設中農村振興政策ほど直接民衆の生活に即した政治はなかつたのであります。始政以來二十六年間幾多の善政が行はれましたが、本政策は最も特色を有する施設の一つであります。然れども此の事業は一年や二年の短時日で出来得べきものに非ずして十年でも如何かと思はれるが、先づ目標を十年後に置いて撓まず倦まず、常に勤勉努力せば遂には希望の域に達し得ることと思はれる。夫程困難なものであり、大切なものであります。故に、一時に熱したり、或は急に冷めたりするが如き人生の弱點に捉はれることなく、此の事業が聖業である——聖業とは最も尊き神聖なる事業といふ意味であります。嘗て滿洲事變の熱河戦争を聖戦と申しましたと同様の意味に於きまして、農山漁村振興政策が朝鮮の政治上に最も重要なものにして、諸君のなされる事業即ち最も尊き聖業であるといふことに關心を有たれて有終の美を擧げられんことを切望するのであります。

良き青年、良き指導者を養成することは一に諸君の力に期待するのであります。夫には諸君自身が其の心身を鍛錬し堅實なる意志を持つて青年を教育薫化して以て營農模範者たらしめ、更に進んで朝鮮半島の幸福を齎すといふ意氣込を持たしめたいのであります。

諸君が彼等中堅青年を教へるには種々なる方法に於て最善を盡されつゝありませうが、其の根本は、之を指導する所の諸君の實踐躬行が其の中樞をなすのであります。此の點につき諸

君自身が修養を積まれて諸君の人格に同化せしめたる優良なる青年を造り、其の青年が地方の中堅となつて、永い間舊慣に捉はれて來た、或は惰性に流れて居る所の一般農民を刺戟自覺せしめて勤勉力行の農道に導くやうにせられんことを切望するのであります。

今や時局は重大である。歐洲の天地は何時大亂を來すかも知れぬといふ狀況に在り、東洋に於ても亦同様の状態に在る。斯様な時代に於て東洋平和の基礎をなすべき我が帝國は、最も重要な使命を持つて居るのであります。諸君は青年を指導せられる上に於ても、世界の大勢及び現下時局の危険性と帝國使命の重要性とを徹底的に彼等に明示し、而して日々行はれて居る農村振興の聖業其のものが時局と使命とに適應すべき農村更生の基礎を爲すものであり、半島民衆の物心兩方面の生活の安定を得せしめる重要な事業であることを理解せしめられたいのであります。

甚だ畏れ多ことあります。仁徳天皇は、民の竈から上る煙を御覽になつて「朕已に富めりと仰せられた。其の御聖旨のある所、是れ實に我々臣民の深く肝銘すべき所でありまして、我等本府に在つて施政の局に當る者は、此の聖意の在る所を拳々服膺して、誠心誠意、半島に於ける農山漁村の振興を心から祈つて最善の施設を爲すことに心がけて居ります。故に、諸君は地方にあつて道の指示する所に準據し、各地の指導機關となりて中堅となるべき青年を訓育せ

られて、本府と、諸君と、諸君に指導せられた青年と、三者合體して此の聖事業をして光輝ある有終の美を濟さしめられんことを切望するのであります。

(昭和十二年二月二十二日 南總督)

雜